令和3年度入学生用 1年次(令和3年度) 開講

履修要項 (syllabus)

生活科学科

生活福祉專及食物栄養学專及

康児島女子短期大学 Kagoshima Women's College

令和3年度入学生 教育課程

別表 第2 生活科学科 生活福祉専攻教育課程表

授業科目名の前の数字はページ番号

13 15 17	授業科目 たしを知る・わたしを創る 心と思想の探求(人間の心日本語表現の基礎 に 理学★			位数 選択	1前	1公	0.24	0111	備考
13 15 17 19	心と思想の探求(人間の心日本語表現の基礎		火車	多、透外		工位	2月1	2後	
13 15 17 19	心と思想の探求(人間の心日本語表現の基礎								
15 17 19			間を知	aる)					
17 19	倫理学★	講義		2	2	2			
19		講義		2	2	2			介護福祉士選択必修(人間と社会領域)
	文 学	講義		2	2				
21	絵 本 論	講義		2		2			
	心 理 学	講義		2	2	2			
	健康の探求(健康な心と体	をつくる			ı				
	体 育 講 義	講義		1				1	
	体育実技	実 技		1				1	
社会	会を知る・社会につながる								
	社会の探求(社会に目を向		1		1				
23	社 会 学	講義		2	2	2			
25		講義		2	2	2			介護福祉士選択必修(人間と社会領域)
27	歴 史 学	講義		2	2	2			
_	WE LOVE 鹿児島!	演習	1					1	
	総合教養 I	講義		2	2				
般 31	総合教養Ⅱ	講義		2		2			
	キャリアの探求(職業を考え	1	设計す	る)					
教 33	インターンシップ	演習		2	2				
	キャリアガイダンス [演習	1			1			
養	キャリアガイダンスⅡ	演習	1				1		
世	界を知る・世界を広げる 思文化の概念(海母に日本	- 宀 (ユ フ \							
科 20	異文化の探求(海外に目を 海 外 事 情			2		0			海外研修
		演習				2			1年21年11日 -
Ħ	英語演習I	演習			2				
45	フランス語演習 I	演習			2				
47	中国語演習 I	演習	2		2				
49	韓国語演習I	演習			2				
53	日本語演習 I	演習			2				英 語・フランス語・中国語・韓国語・日本語
55	英語演習Ⅱ	演習				2			演習のいずれかの I・Ⅱを連続選択履修
59	フランス語演習 Ⅱ	演 習				2			*日本語演習は留学生対象科目 参照:別表5 留学生特別科目教育課程表
61	中国語演習Ⅱ	演習	2			2			シ がいがえる 田 1 エロが打日 数日 断住女
63	韓国語演習Ⅱ	演習	1			2			
67	日本語演習Ⅱ	演習	1			2			Ц
	自然界の探求(いろいろな		を向り	ナる)	<u>. </u>				
69	数学基礎★	講義		2	2	2			介護福祉士選択必修(人間と社会領域)
71	理科基礎	講義		2	2	2			
73	分子からみた生物	講義	1	2	2	2			
75	人間と環境 ★		2	2	2			介護福祉士選択必修(人間と社会領域)	
	最低修得単位数	1	7	7					
	卒業最低修得単位数	14		1	V	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	1

注:★の科目から4単位以上選択必修「人間と社会領域」

区门						履修	方法		l l	目 誰	学其	泪	
		拉 华 70 口	授	業	卒業	履修	介護福	届祉士			立、娄		/##: + / *.
	ジ 番	授業科目	形		単位	立 数	履修卓	単位数	1 24	1 60	0.34	0/4	備考
F	号				必修	選択	必修	選択	I 用リ	1俊	2前	2俊	
		【人間と社会】			-								
7	79	人間の尊厳と自立◆	講	義	2		2			2			
		人間関係とコミュニケーション▲	講	義		2	2					2	医事実務士必修
		チームマネジメント	講	義		2	2					2	
8	31	社会学概論	講	義		2	2		2				
8	33	社会と制度の理解◆	講	義	2		2		2				
		社会保障論	講	義	2		2				2		
		住環境と福祉 ★	講	義		2		2			2		- - - 介護福祉士選択必修(人間と社会領域)
8	35	レクリエーション概論 ★	講	義		1		1	1				レクリエーションインストラクター資格必修
		【介 護】			=								
8	37	介護の基本 I ◆	講	義	2		2		2				
8	39	介護の基本Ⅱ◆	演	習	1		1		1				
		介護の基本Ⅲ◆	講	義	2		2				2		
		介護の基本IV	講	義	2		2					2	介護保険実務士選択科目
専 9	91	社会福祉援助技術▲	講	義		2	2			2			
		リハビリテーション論	講	義		2	2				2		
	93	コミュニケーションの基礎▲◆	講	義	2		2			2			
門		コミュニケーション演習	演	習		1	1				1		
9	95	生活支援技術A◆	演	習	2		2		2				
科 9	97	生活支援技術B	演	習		2	2			2			
		生活支援技術C	演	習		2	2				2		
		生活支援技術D	演	習		1	1					1	
目 9	99	生活支援技術(住)	講	義		2	2		2				
		生活支援技術(食・衣)	演	習		2	2				4	2	
10	01	介護過程Ⅰ	講	義		2	2		2				
10	03	介護過程Ⅱ	講	義		2	2			2			
		介護過程Ⅲ	演	習		1	1				1		
		介護過程Ⅳ	演	習		1	1					1	
		ケアマネジメント	演	習		1	1				1		<u>L</u>
10	05	介護総合演習 I・Ⅱ	演	習		1	1			1			
		介護総合演習Ⅲ	演	習		1	1				1		→ 介護保険実務士2科目選択必修
		介護総合演習IV	演	習		1	1					1	月 皮外灰大伤工4件日 基价处形
		事例研究(ゼミナール)	演	習		1	1					1	
10	07	介護実習 I	実	習		3	3			3			尸
10	09	介護実習Ⅱ	実	習		2	2			2			
		介護実習Ⅲ	実	習		2	2				2		
		介護実習IV O科目から4単位以上選択必修	実			3	3					3	

注: ★の科目から4単位以上選択必修「人間と社会領域」 ▲印=ピアヘルパー認定試験受験資格2科目4単位選択必修 ◆印は介護職員初任者研修読み替え可能科目

区	z - z		授業	卒業		方法			見 講 色 位						
分	ジ番号	授業科目	形態		1	履修 ¹ 必修		1前	1後	2前	2後	備 考			
		<u>************************************</u>	講義	2		2		2							
		高齢者の介護◆	演習	1		1			1						
		認知症の理解	講義	2		2			2						
		認知症者の介護	演習		1	1				1					
		障害の理解 [◆	講義	2		2			2						
		障害の理解Ⅱ	講義		2	2				2					
	119	 こころとからだのしくみ I (医学一般)◆	講義	2		2			2			医事実務士必修科目			
		こころとからだのしくみⅡ(精神)▲	講義		2	2					2	- 介護保険実務士1科目選択必修			
	121	介護技術の基礎 ◆	講義	2		2		2							
		ターミナルケア	講義		2	2					2				
		【医療的ケア】		1						1					
	123 医療的ケア 講義 2 2 2 2 125 経管栄養 講義 2 2 2 2														
	125	経管栄養			2										
		喀痰吸引	講義		2	2				2					
専		経管栄養演習	演習		2	2				2					
		喀痰吸引演習	演 習		2	2					2				
門		医事実務士													
T)		基礎医学関連科目													
科	127	薬理の基礎	講義		2		2		2			- 医重宝数+以收			
н		人類学	講義		2		2				2	┣ 医事実務士必修			
目		医事·実務関係科目													
	129	医療事務総論	講義		2		2		2			- - 医事実務士必修			
	131	医療事務演習	演習		2		2		2						
		介護保険実務士													
		介護事務総論	講義		2		2			2		¬ 一 介護保険実務士必修			
		介護事務演習	演習		1		1				1	】			
		関連科目													
	133	情報処理	演 習		1		1		1			一 医事/介護保険実務士必修			
	135	レクリエーション活動援助法 I	演習		1		1	1							
	137	レクリエーション活動援助法Ⅱ	演習		1		1		1			レクソエーションインストソクター資格必修			
		レクリエーションワーク	演習		1		1				1				
	139	介護ホスピタリティ	演 習		1		1	1							
	最低修得单位数 28 20 86														
-			選択 20	100		計 4	·8								
24-		修得単位数総計 卒業 62 [介護 『=ピアヘルパー認定試験受験資格2科	福祉士	100	(タ										

注: ▲印=ピアヘルパー認定試験受験資格2科目4単位選択必修

◆印は介護職員初任者研修読み替え可能科目

別表 第2の2 [介護保険実務士]養成科目 (〇印は専門科目と重なる)

	712 712 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								(Other than The Care of
~~		松米	履	<u>方法</u> 修		開 講 単 位			
ジェ	授 業 科 目	授業 形態		立数	1	1後	の鉛	の後	備 考
番号			必修	選択	1 111	110	4月1	乙仅	
(83)	○社会と制度の理解	講義	2		2				
(87)	○介護の基本 I	講 義			2				
(89)	○介護の基本Ⅱ	演 習	2		1				
	○介護の基本Ⅲ	講 義					2		
	○介護の基本IV	講 義						2	
(119)	○こころとからだのしくみ I (医学一般)	講 義	2			2			
	○こころとからだのしくみ II (精神)	講 義						2	
(111)	○発達と老化の理解	講 義	2		2				
(95)	○生活支援技術A	演 習			2				
(97)	○生活支援技術B	演 習	1			2			
	○生活支援技術C	演 習	1				2		
	○生活支援技術D	演 習						1	
(133)	○情報処理	演 習	1			1			
(107)	○介護実習 I	実 習				3			h
	○ケアマネジメント	演習		2			1		- 2科目 選択必修
(105)	○介護総合演習 I・II	演習				1		,	
	○介護事務総論	講 義	2				2		
	○介護事務演習	演習	1					1	
	最低単位修得数総計 [15]		13	2					

別表 第2の3 [医事実務士]養成科目

(○印は専門科目と重なる)

	= , , , , , , ,		•		
ページ番号	授業科目	授業形態	履修方法 履 修 単位数 必修 選択	開講学期 位 数 1前 1後 2前 24	備考
	基礎医学関係科目				
(119)	○こころとからだのしくみ I (医学一般)	講 義	2	2	
(127)	○薬理の基礎	講 義	2	2	
	○人類学	講 義	2	2	
	医療事務実務関係科目				
(129)	○医療事務総論	講 義	2	2	
(131)	○医療事務演習	演 習	2	2	
(133)	○情報処理	演 習	1	1	
	○人間関係とコミュニケーション	講 義	2	2	
	最低修得単位数 [13]		13		

別表 第2の4 レクリエーション・インストラクター養成科目

(○印は専門科目と重なる)

ページ番号	授業科目	授業形態	履	方法 修数 選択	月 1前	单 位	学 其 立 2前	攵	備 考
(85) (135)	○レクリエーション概論○レクリエーション活動援助法 I○レクリエーション活動援助法 II	講義演習演習	1 1 1	Z.IX	1	1			
(101)	現場実習(学外) 最低単位修得数総計 [3 +(1)]	実 習	(1)			(1)			- 2日間(9時間以上)

※介護職員初任者研修の修得方法については、学生便覧にて別に定める。 (春季・夏季集中講義計画中:130時間以上)

令和3年度入学生 教育課程

授業科目名の前の数字はページ番号 別表 第3 生活科学科 食物栄養学専攻教育課程表 開講学期 履修方法 X 单 位 数 卒業履修 授業 授業科目 備 考 単位数 形能 分 1前 1後 2前 必修 選択 わたしを知る・わたしを創る 心と思想の探求(人間の心に迫り人間を知る) 13 日本語表現の基礎 2 講義 2 2 15 倫 理 学 講 義 2 2 2 文 17 講義 2 2 19 絵 本 論 講義 2 2 21 心 理 学 講義 2 2 2 健康の探求(健康な心と体をつくる) 体育講義 1 講義 - 栄教免必修 体育実技 実 技 1 1 社会を知る・社会につながる 社会の探求(社会に目を向ける) 23 社 会 学 講義 2 2 25 日本国憲法 2 2 栄教免必修 講義 2 27 歴 史 学 講義 2 2 2 WE LOVE 鹿児島! 演 習 1 1 29 総合教養 I 講義 2 2 般 31 総合教養Ⅱ 2 講義 2 キャリアの探求(職業を考え人生を設計する) 教 33 インターンシップ 演 習 2 2 37 キャリアガイダンス I 演 習 1 養 キャリアガイダンスⅡ 演 習 1 1 世界を知る・世界を広げる 異文化の探求(海外に目を向ける) 科 演 習 海外研修 39 海外事情 2 2 41 英語演習 I 演 習 2 目 45 フランス語演習 I 演 習 2 47 中国語演習 I 演 習 2 2 韓国語演習I 演 習 2 49 英 語・フランス語・中国語・韓国語・日本語 - 演習のいずれかの I・II を連続選択履修 53 日本語演習 I 演 習 2 *日本語演習は留学生対象科目 英語演習Ⅱ 2 55 演習 参照:別表5 留学生特別科目教育課程表 59 フランス語演習 Ⅱ 演 習 2 61 中国語演習Ⅱ 演習 2 2 2 63 韓国語演習Ⅱ 演 習 67 日本語演習Ⅱ 2 演 習 自然界の探求(いろいろな世界に目を向ける) 69 数学基礎 講義 2 2 2 71 理科基礎 2 2 講 義 2 73 分子からみた生物 講義 2 2 2 75 人間と環境 講 義 2 2 2 最低修得単位数 7 7 卒業最低修得単位数 14

	~			履修方法 卒業履修 栄養土履修 栄教免修得							用講	学事	期	
区		拉 类 70 口	授業	卒業	履修	栄養	上履修	栄教気	色修得	Ē	单 在	立 娄	文	/ //: // .
分	ジ 番	授業科目	形態				立数			1 24:	1.6%	0 34:	044	備 考
	号			必修	選択	必修	選択	必修	選択	T 目1	1後	乙則	21安	
		社会生活と健康												
	143	公衆衛生学 I	講義		1	1		1			1			
		公衆衛生学Ⅱ	講義		1	1		1				1		
		社会福祉概論	講義	2		2		2					2	児童福祉を含む
		人体の構造と機能												
	145	解剖生理学 I	講義		1	1		1		1				
	147	解剖生理学Ⅱ	講義		2	2		2			2			
		解剖生理学実験	実 験		1	1		1				1		
		運動生理学	講義		1	1		1					1	
	149	栄養生化学 I	講義	2		2		2		2				
	151	栄養生化学Ⅱ	講義		2	2		2			2			
		病態生化学 ☆	講義		1		1		1			1		栄養士・栄教免選択必修(☆)
		生化学実験A	実 験		1	1		1					1	· 栄養士·栄教免選択必修
専		生化学実験B	実 験		1	-		_					1	THE THE PROPERTY OF THE PROPER
		食品と衛生	1		1		1		1			П		
門	153	食品学総論	講義	2		2		2		2				
	155	食品学各論	講義	2		2		2			2			食品加工学を含む
科	157	食品学実験	実 験		1	1		1		1				
	159	食品衛生学	講義		2	2		2		2				
目	161	食品衛生学実験	実 験		1	1		1			1			
		栄養と健康												
	163	栄養学総論	講義	2		2		2		2				
	165	応用栄養学	講義	2		2		2			2			
		応用栄養学実習	実 習		1	1		1			1			
	169	食事摂取基準•献立論	講義	2		2		2		2				
		臨床栄養学概論	講義		2	2		2				2		
		臨床栄養学実習	実 習		1	1		1				1		
		栄養の指導	T			1		1		1		ı		
	171	栄養指導論 I	講義	2		2		2		2				栄養カウンセリング論含む
		栄養指導論Ⅱ	講義		2	2		2			2			
	175	栄養指導実習 I	実 習		1	1		1			1			
		栄養指導実習Ⅱ	実 習		1	1		1					1	
	177	公衆栄養学	講 義	2		2		2			2			

分 授業科目 学業履修 栄養主履修 栄養生履修 栄養生履修 単位数 単位数 1前 1後 2前 2後 分 給食の運営 179 給食管理 講義 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1	~^			履修方法								学		
予	区分		授業科目												
179 給食 管 理)3	号			必修	選択	必修	選択	必修	選択	1前	1後	2前	2後	
議食実務演習 演習 1 1 1 1 1 1 1 1 1			給食の運営	1.									11		
接食実務領署日		179	給 食 管 理	講義	2		2		2			2			
計画			給食実務演習 I	演習		1	1		1				1		
学外実習 I・II 指導 演 習			給食実務演習Ⅱ	演習		1	1		1					1	
総会管理実習(学外1) 失 習 2 2 2 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			給食管理実習 I	実 習		1	1		1				1		
お食管理実習(学外Ⅱ) 集 智 2 2 2 2 1 1 1 1			学外実習 I·Ⅱ指導	演習		1	1		1				1		
接食管理実習 [字外 I) 実 習			給食管理実習(学外 I)	実 習		2	0		0				2		*学外実習(保育所、施設、給食センター)
Provide 管理実習(学外 I) 実 習			給食管理実習(学外Ⅱ)	実 習		2	2		2				2		
181 調理学実習基礎			給食管理実習Ⅱ	実 習		1	1		1					1	
日			学校給食管理実習(学外 I)	実 習		1			1				1		
問		181	調 理 学	講義	2		2		2		2				
185 調理学実習 I	亩	専													
門 関連科目	4	185	調理学実習 I	実 習		1	1		1			1			
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			調理学実習Ⅱ	実 習		1	1		1				1		
日 187 化学 講義 2 2 2 2 2 2 2 2 2	門		調理学実習Ⅲ	実 習		1	1		1					1	
189 学校栄養教育論 講 義 2 2 2 2 2 1 2			関連科目	1											
日 食品評価・鑑別実験 実験 1 1 1 1 1															
日 食品加工学実習 ★ 実 習 1 1 1 1 1 第															
食品加工学実習 ★ 実 習 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		食品評価・鑑別実験 実験 1 1 1													
消費経済論 講 義 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	目		食品加工学実習 ☆	実 習		1		1					1		栄養士·栄教免選択必修(☆)
フードスペシャリスト論 講義 2 2 フードコーディネート論 講義 2 2 フードコーディネート演習 演習 1 1 191 くらしとお茶A 講義 2 2 くらしとお茶B 講義 2 2 2 193 教育心理学▲ 講義 2 2 2 195 教職概論 講義 2 2 2 2 教育相談▲ 講義 2 2 2 2 2 197 情報機器演習 演習 2 2 2 2 2 最低修得单位数 必修 22 26 55 1 66 1 本業最低修得单位数 必修 22 選択 26 合計 48			食料経済 ☆	講義		1		1		1				1	栄養士・栄教免選択必修(☆)
フードコーディネート論 講 義 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			消費経済論	講義		1		1						1	
フードコーディネート演習 演 習			フードスペシャリスト論	講義		2		2						2	
191 くらしとお茶A 講義 2 2 2 2 2 1 日本茶アドバイザー資格選択必修 193 教育心理学▲ 講義 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			フードコーディネート論	講義		2		2						2	
193 教育心理学▲			フードコーディネート演習	演習		1		1						1	
大らしとお茶B 講義 2 2 2 2 2 3 3 3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5		191	くらしとお茶A	講義		2		2			2				ロナサマトジンボー次を思わりか
195 教職概論 講義 2 2 2 2 教育相談▲ 講義 2 2 2 2 197 情報機器演習 演習 2 2 2 2 最低修得单位数 22 26 55 1 66 1 卒業最低修得单位数 必修 22 選択 26 合計 48			くらしとお茶B	講義		2		2					2		日本糸/トハイザー賞格選択必修
教育相談▲ 講義 2 2 2 197 情報機器演習 演習 2 2 2 最低修得单位数 2 2 2 2 卒業最低修得単位数 必修 22 選択 26 合計 48		193	教育心理学▲	講義		2		2	2		2				
197 情報機器演習 演習 2 2 2 2 最低修得单位数 22 26 55 1 66 1 卒業最低修得单位数 必修 22 選択 26 合計 48		195	教職概論	講義		2		2	2		2				
最低修得単位数 22 26 55 1 66 1 卒業最低修得単位数 必修 22 選択 26 合計 48			教育相談▲	講義		2		2	2				2		
卒業最低修得単位数 必修 22 選択 26 合計 48															
		最低修得单位数 22 26 55 1 66 1													
最低修得単位数総計 卒業 62 [栄養士 70]	2	卒業最低修得単位数 必修 22 選択 26 合計 48													
	ł	最低修	得単位数総計 卒業 62	2 [栄養	士	70]							

注: ▲印=ピアヘルパー認定試験受験資格2科目4単位必修

☆の科目から1単位以上選択必修(栄養士・栄教免)

別表 第3の2 栄養教諭関連科目 (栄養に係る教育に関する科目及び教職に関する科目) (○印は専門科目と重なる

~				履修履			見 講 単 - 位	学 其		
ジ	授 業 科 目				修数数					備考
番号		/12 /	E.	必修		1前	1後	2前	2後	
(189)	○学校栄養教育論	講	義	2		2				
199	教育原理	講	義	2			2			
(195)	○教職概論	講	義	2		2				
201	教育制度論	講	義	2		2				
(193)	○教育心理学▲	講	義	2		2				
203	特別支援教育	講	義	2			2			
	教育課程	講	義	1				1		
	道徳教育の指導法	講	義	1					1	
	総合的な学習の時間の指導法	講	義	2					2	
	特別活動の指導法	講	義	1					1	
205	教育の方法・技術	講	義	1			1			
207	生徒指導	講	義	1			1			
(197)	○情報機器演習	演	習	2		2				
	○教育相談▲	講	義	2				2		
	栄養教育実習指導	講	義	1				1		
	栄養教育実習	実	習	1				1		学外実習
	教職実践演習(栄養教諭)		習	2					2	
	最 低 修 得 単 位 数			27						
	最低修得単位数総計 [栄教免	98]							

注:▲印=ピアヘルパー認定試験受験資格2科目4単位必修

別表 第3の3 フードスペシャリスト養成科目 (○印は専門科目と重なる)

~ - 		授業	履	方法 修			学 其 立		un -1-
ジ番号	授業科目	形態		上数 選択	1前	1後	2前	2後	備 考
号		* ×		迭扒	0				
	○食品学総論	講義	2		2				
	○食品学各論	講義	2			2			食品加工学を含む
	○食品学実験	実 験	1		1				— 講義15時間を含む
	○食品衛生学	講 義	2		2				
	○栄養学総論	講義	2		2				
	○調 理 学	講義	2		2				
	○調理学実習 I	実 習	1			1			
	○調理学実習Ⅱ	実 習	1				1		
	○食品評価・鑑別実験	実 験	1				1		— 講義15時間を含む
	○食品加工学実習	実 習	1				1		
	○食料経済	講義	1					1	
	○消費経済論	講義	1					1	
	○フードスペシャリスト論	講義	2					2	
	○フードコーディネート論	講義	2					2	
	○フードコーディネート演習	演 習	1					1	
	最低修得単位数		22			/			
	最低修得単位数総計 [フート	ベスペシャリ	スト:	22単	位 (+専	26+	一般	14=卒業)]

一般教養科目

生活福祉専攻食物栄養学専攻

		1		Ţ					
科目名		日本語表現の基礎	?	科目ナンバー					
担当者		藤川 和也							
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	2				
配当年次	7	1		科目群	一般教養	科目			
開講期		前期・後期		卒業の選択・必修	選択				
単位数		2		担当形態	単独				
免許・資	格情報								
授業の概	是要		情報の正確な読み取り	吾、手紙文のきまりな リ、レポートのきまり					
授業の到	達目標	2. 失礼なのない形	」・漢字力を身につい ジ式の整った手紙文で いた説得力のあるレス	を作成できる					
授業計画	Ī						担	当者	
第1回	ガイダン	ス 自己紹介文の作	作成と交流				藤川		
第2回	字の丁寧	な書き方					藤川		
第3回	語彙と文	法					藤川		
第4回	手紙文(御礼状・案内文)の	の書き方				藤川		
第5回	敬語の基	礎(尊敬語・謙譲詞	吾・丁寧語)				藤川		
第6回	小レポー	ト① (語彙、敬語、	手紙文の復習)				藤川		
第7回	縮約の作	り方					藤川		
第8回	履歴書の	書き方					藤川		
第9回	グラフの	種類と特徴					藤川		
第10回	図や表を	用いた文章理解					藤川		
第11回	小レポー	ト②(縮約と資料の	の分析)				藤川		
第12回	プレゼン	テーションの基本的	勺知識				藤川		
第13回	意見文の	分かりやすい文の書	書き方				藤川		
第14回	意見文の	吟味と完成					藤川		
第15回	総括(最	終レポートの作成)					藤川		
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討		プレゼンテーション・発表		険・実技)・ ・ドワーク	※ICT教	もの活動 育等を含む	
			0				(<u> </u>	
担当教員のと授業の関									
事前学習		新聞、雑誌、ネット ておく。	・記事などで、自分の)興味関心に沿う情報	る る を集め	学習合計	時間(h)	3 0 時間	
事後学習		授業内容の振り返り	りと作成した文章の打	 単敲をする。		学習合計	時間(h)	3 0 時間	

課題に対する フィードバックの 方法	課した課題について、求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	講義終了後及びオフィスアワー等で対応する
オフィスアワー	月曜日 15:00~16:00 研究室(西館405号室)
テキスト	プリントを適宜配布します。
参考文献等	『大学生のためのレポート・論文術』 小笠原善康 講談社 2009 ¥740 (ISBN-10: 4062880210)
成績評価基準	最終レポートにおいて、根拠を明確にした説得力のあるレポート、失礼なのない形式の整った手紙 文を作成できること。
成績評価の方法	課題ミニレポート(20%)、小レポート①、②(30%)、最終レポート(50%)
GPA基準	
備考	学内他学科・他専攻開設科目 60名までの受講制限を設けます。

<u> </u>		T.,		T	Ī			
科目名		倫理学		科目ナンバー				
担当者		村若修		T	ī			
授業形式	,	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次		1		科目群	一般教養	科目		
開講期		前期・後期		卒業の選択・必修	選択			
単位数		2		担当形態 単独				
免許・資	格情報							
「倫理学」とは、人の生き方や人と人との関係のあり方、社会のあり方について、善/悪、という視点で考えていく学問です。「道徳」ないし「倫理」はすでに皆さんに身についていてすが、それについて倫理学は反省を加え、吟味する学問だと考えてください。本講義では倫理」と呼ばれる領域の諸問題、主として医療に関する倫理問題について考えていきます。					いるものは「生命			
1. 倫理学的な思考を身につける 授業の到達目標 2. 「生命倫理」の基礎を理解する 3. 身近な生命倫理の問題を知り、それについて自分の考えを表現できる								
授業計画	İ						担当者	
第1回	倫理学と	「生命倫理」					村若	
第2回	生命倫理	の成立(1)患者の	D権利				村若	
第3回	生命倫理	の成立(2)インフ	フォームド・コンセ	ントの歴史			村若	
第4回	生命倫理	の成立(3)生命倫	命理の基本原則				村若	
第5回	尊厳死(1) 日本及び世界の	D状況				村若	
第6回	尊厳死(2) 倫理学的考察					村若	
第7回	安楽死(1) 日本及び世界の	D状況				村若	
第8回	安楽死(2) 倫理学的考察					村若	
第9回	人工妊娠	中絶					村若	
第10回	生殖補助	医療技術の利用(1	l)日本及び世界の	状況			村若	
第11回	生殖補助	医療技術の利用 (2	2)倫理学的考察				村若	
第12回	出生前診	断(1)日本及び世	世界の状況				村若	
第13回	出生前診	断(2)倫理学的者	5察				村若	
第14回	脳死と臓	器移植(1)日本及	及び世界の状況				村若	
第15回	脳死と臓	器移植(2)倫理学	学的考察				村若	
授業に含ま	授業に含まれる活動 「イスカッション・討!」 グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク				2の活動 育等を含む			
担当教員のと授業の関								
事前学習	事前学習 配付資料を事前によく読んでくる 学習合計			学習合計	時間(h)	3 0 時間		
事後学習 映像教材について感想文を課す 学習合調			学習合計	空習合計時間(h) 3 0 時				

課題に対する フィードバックの 方法	ミニッツペーパーや課題については、提出した次の授業で要点に触れ、フィードバックする。個別にコメントすることもある。
質問・相談方法	次のいずれかの方法による。(1)授業時のミニッツペーパーに質問事項を記入する。(2)授業後に質問をする。(3)オフィスアワーを利用する。
オフィスアワー	火曜日 15:00~17:00 研究室(西館410号室)
テキスト	適宜資料を配付する。
参考文献等	『現代世界の思想的課題』 中山愈編 弘文堂 1998年 (ISBN4-335-15041-5) 『はじめて出会う生命倫理』 玉井真理子・大谷いづみ編 有斐閣アルマ 2011年 (ISBN978-4-641-12420-2)
成績評価基準	到達目標が十分に達成されること
成績評価の方法	期末試験(80%)、授業内容に関する小レポート・感想文(20%)
GPA基準	
備考	

科目名		文学		科目ナンバー				
担当者		松下 紗耶						
授業形式	<u>.</u> ,	講義		関連するDPの番号	4			
配当年次	,	1		科目群	一般教養	科目		
開講期		前期		卒業の選択・必修	選択			
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	資格情報							
この授業では女性が主人公であり、テーマのひとつとなっているアメリカの有名な短編(Ka Chopin "Desiree's Baby" Ernest Hemingway "Cat in the Rain")を2つ取り上げます。また、に作品を鑑賞することで、文学の楽しみ方を学び、テーマである女性について自分の意見をもらいます。					た、実際			
1. アメリカの分化や社会背景を理解できる 授業の到達目標 2. 作品を読み、自分の意見や作品の解釈を述べることができる 3. 作品について学生同士でディスカッションできる								
授業計画	Ī						担	当者
第1回	イントロ	ダクション					松下	
第2回	ケイト・	ショパン「デジレの	の赤ちゃん」① ケ	イト・ショパンと	は		松下	
第3回	ケイト・	ショパン「デジレの	ショパン「デジレの赤ちゃん」② アメリカ南部			松下		
第4回	ケイト・	ショパン「デジレの	の赤ちゃん」③ ニ	-ュー・オーリンズ			松下	
第5回	ケイト・	7 7				松下		
第6回	ケイト・	ショパン「デジレの	の赤ちゃん」⑤ ア	'メリカの女性(1))		松下	
第7回	ケイト・	ショパン「デジレの	の赤ちゃん」⑥ ア	′メリカの女性(2))		松下	
第8回	ケイト・	ショパン「デジレの	の赤ちゃん」⑦ ア	'メリカにおける人を	種(1)		松下	
第9回	ケイト・	ショパン「デジレの	の赤ちゃん」⑧ ア	'メリカにおける人物	種(2)		松下	
第10回	アーネス	ト・ヘミングウェイ	イ「雨の中の猫」①) アーネスト・ヘ	ミングウ	ェイとは	松下	
第11回	アーネス	ト・ヘミングウェイ	イ「雨の中の猫」②) ヘミングウェイ	とヨーロ・	ッパ	松下	
第12回	アーネス	ト・ヘミングウェイ	イ「雨の中の猫」③) ヘミングウェイ(の文体		松下	
第13回	アーネス	ト・ヘミングウェイ	イ「雨の中の猫」④) アメリカの女性	(3)		松下	
第14回	アーネス	ト・ヘミングウェイ	イ「雨の中の猫」⑤) アメリカの女性	(4)		松下	
第15回	総括						松下	
授業に含む	まれる活動	ディスカッション・討	グループワーク	プレゼンテーション・発表		検·実技)・ ·ドワーク		也の活動 育等を含む
担当教員のと授業の関								
事前学習		授業で扱う作品を前もって読んでおく 学習合計			時間(h)	3 0 時間		
事後学習		講義で聞いたことを踏まえ、作品を再読する 学習合計			時間(h)	3 0 時間		

課題に対する フィードバックの 方法	授業内で感想カードへのコメントを行う
質問・相談方法	オフィスアワー、授業前後の時間、及び感想カードへのコメント
オフィスアワー	金曜日 12:05~12:50 研究室(西館309号室)
テキスト	特になし
参考文献等	
成績評価基準	講義を聞き、作品への理解を深めること。また、それを踏まえた自分の意見が述べられること。
成績評価の方法	各回の感想カード 50% 期末レポート 50%
GPA基準	
備考	

科目名		絵本論		科目ナンバー				
担当者		藤川和也		1111177				
授業形式		講義		関連するDPの番号	(2)			
配当年次	-	1		科目群	一般教養	············ 科目		
開講期	-	後期		卒業の選択・必修				
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報				1 324			
絵本には読み手を引き込む様々なしかけがあります。そうした絵本のしかけについて、『絵本の みつ』や鹿児島メルヘン館の見学などの講義や体験活動を通して理解することを目指します。ま 同じ作品で媒体による違い、訳し方による違いなどから絵本作品の楽しさを味わうことを目指し						す。また、		
す。								
授業計画	Ī						担	 当者
第1回	ガイダン	⁄スお気に入りの絵	 本を振り返る					
第2回	子どもの	絵本の読み方					藤川	
第3回	絵本の歴	史と種類					藤川	
第4回	絵本のひ	みつ①‐まるい大	きな正面顔・主人名	公の立ち位置			藤川	
第5回	絵本のひ	みつ②-色彩					藤川	
第6回	絵本のひ	みつ③ – モンター	ジュ				藤川	
第7回	絵本のひ	みつ④-やなせた	かし『それ行け!	アンパンマン』の	紹介		藤川	
第8回	絵本のひ	みつ⑤-島田ゆか	『バムとケロの~	』シリーズ作品の	紹介		藤川	
第9回	絵本のひ	みつ⑥-加古里子	『だるまちゃんと	~』シリーズ作品	の紹介		藤川	
第10回	絵本のひ	みつ⑦-内田麟太	郎『ともだちや』	シリーズ作品の紹	<u></u> 介		藤川	
第11回	『あらし	のよるに』木村裕	一の作品鑑賞				藤川	
第12回	『あらし	のよるに』木村裕	一の関連作品との	比較			藤川	
第13回	体験学習	『(かごしまメルヘン	⁄館の見学)				藤川	
第14回	体験学習	『(読み聞かせの方法	と実践の紹介)				藤川	
第15回	絵本の読	み聞かせ					藤川	
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討訳	グループワーク	プレゼンテーション・発表		験・実技)・ √ドワーク	※ICT教	の活動 育等を含む
担当教員のと授業の関								<u> </u>
事前学習	事前学習 図書館やEテレ「テレビ絵本」(月〜金:午前8時50分〜 午前8時55 分)などで日頃から絵本に触れる機会をもつ 学習合計時			 時間(h)	3 0 時間			
事後学習 講義を参考に関連する絵本を図香館などで探して読むこと 学習合計 学習合計 で					3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	課した課題について、求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	講義終了後及びオフィスアワー等で対応する
オフィスアワー	月曜日 15:00~16:00 研究室(西館405号室)⇒時間割変更により変えることがあります。
テキスト	プリントを適宜配布します。 『絵本のひみつⅡ』 余郷裕次 南日本新聞社 2020 1,000円 (ISBN:978-4-86074-279-9)
参考文献等	『絵本のひみつ』 余郷裕次 徳島新聞社 2010 1,000円 (ISBN:978-4-88606-127-0) 『認定絵本士養成講座テキスト』 絵本専門士委員会 中央法規出版 1,800円 (ISBN:978-4-8058- 8225-2)
成績評価基準	作品のもつ絵本の特性を分析した上で、作品の特性を生かした紹介文を作成できること。
成績評価の方法	授業レポート(50%)、体験学習レポート(20%)、最終レポート(30%)
GPA基準	
備考	授業計画13、14の体験学習と振り返りは、日程調整をして土曜日の2~3時間を使い実施します。 (300円程度の費用がかかります。) 80名の受講制限を設けます。 学内他学科・他専攻開設科目

科目名		心理学		科目ナンバー			
担当者		園田 美保		170777			
授業形式		講義		関連するDPの番号	2		
配当年次	<u></u>	1					
開講期	•	<u>・</u> 前期・後期		卒業の選択・必修			
単位数		2		担当形態	<u>~</u>		
免許・資	格情報	_		3—47078	1 3-4		
心理学の主な領域を網羅する。より深い人間理解のために心理学のキーワードと考 こでの人間とは、受講者自身を含み、その点では受講者にとって自己を探る手がかり 時に、身近な他者を理解する手がかりやきっかけとなるよう、受講者が心理学の各領 びながら、考える力も身に付けられるよう、授業を構成する。 講義形式だが、受講 らの日常生活や身近な他者を想定し、内容の理解を行い、自らの考えを表現してもら に即したレポートを毎回求める。				りを提供する 頂域や方法に 構者には、種	ら。また同 に触れ、学 責極的に自		
授業の到	達目標	2. 自己理解のため		。 :当てはめ、説明でき :当てはめ、理解でき			
授業計画	i					担当者	
第1回	「心理学」	オリエンテーション	授業の形式、内容と	:計画、心理学イント	口「心理学とは?」	園田	
第2回	心理学の歴	≛史と多様な考え方 朮	心理学の始まり、当初	からあって今でも影響	力の強い考え方3種	園田	
第3回	心理学の研	研究方法と領域 心理	学の方法論と人が人を	を見るまなざし、心	理学の領域いろいろ	園田	
第4回	動機づけ	動機づけ説の各種	[紹介、動機のヒエ	ラルキー、動機づけ	けを高める方法	園田	
第5回	情動 情	動の発達、情動の種	類、情動と表出、	表情コントロール、	気分障害	園田	
第6回	認知 私	たちは環境をどのよ	こうに知るのか?	感覚、知覚、認知の)特性	園田	
第7回	学習 人	間の行動が作られる	しくみとは? 試	行錯誤と洞察、条件	トづけによる学習	園田	
第8回	知能 知	能の構造、知能の発	巻達曲線、遺伝か環	境か?、創造性を発	巻揮する思考法	園田	
第9回	パーソナ	リティ 特徴の捉え	方:類型論と特性	論、人格の形成要因	は、性格の測定法	園田	
第10回	適応 人	間を環境との関わり	で考えてみると?	不適応反応、スト	・レス、防衛機制	園田	
第11回	社会と人	間1 集団とは、集	団から個人への影	郷		園田	
第12回	社会と人	間2 個人や少数者だ	が集団に与える影響:	少数意見が通る時/	/リーダーシップ論	園田	
第13回	臨床の心	理学1 心理的問題	[、心の傷と心の病、	5つのレベルの異	常反応の症状理解	園田	
第14回	臨床の心理	学2 心理療法のアプロ	1ーチ四者四様;精神分	析/行動療法/クライアン	・ト中心療法/家族療法	園田	
第15回	総括・補	足、振り返り	「心理学」全体の振	り返り		園田	
授業に含ま	ミれる活動	ディスカッション・討訳	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実験・実技)・ フィールドワーク	※ICT教育	の活動 育等を含む
担当教員の							
指定された方法(Microsoft Formsなど)で授業内容と関連する質問 に回答する 学習合計時間(h)				時間(h)	15時間		
・各回の授業からキーワードになる言葉や概念を5語程ピックアップし、説明できる程度に理解を深める ・身近な例を取り上げ、それらを上記のキーワードを使用して説明する・今後の日常生活にどのように授業内容を活かせるか、考える				時間(h)	4 5 時間		

課題に対する フィードバックの 方法	毎回の授業の最初に、前回の小レポートから複数例紹介し、解説を加える。
質問・相談方法	各回の授業後、もしくは小レポートで受け付ける。 授業後やメールで時間調整できた場合も対応可能。
オフィスアワー	水曜日 16:30~17:30 研究室(西館310号室) 金曜以外で事前調整できた日時にも対応可能。
テキスト	特になし。 毎回、資料を配布する。
参考文献等	『心理学 新版 (New Liberal Arts Selection)』 無藤隆ら(編著) 有斐閣 2018年 4200円(税抜き) (ISBN-10: 9784641053861) 『誠信 心理学辞典[新版]』 下山晴彦ら(編著) 誠信書房 2014年 5800円(税抜き) (ISBN-10: 4414305071) 他、各回ごとに配布資料で提示
成績評価基準	心理学の領域ごとに、各回のキーワードと内容を理解し、自分や他者、日常生活と関連させ考えられるものを合格とする。
成績評価の方法	毎回の小レポートと受講態度(70%)と最終レポート(30%)で評価する。
GPA基準	
備考	全学科合わせて80名の受講制限を設ける。(受講登録者が80名を超えた場合は、抽選を行う。)後期は例年、抽選もなく少人数で開講している。第15回目の授業にはそれまでの配布資料・自筆ノートを全て持参すること。第2回目以降は少なくとも前回の資料は持参すること。

科目名		4. 本本		科目ナンバー				
		社会学		科日ナンハー				
担当者	<u>.</u>	倉重 加代		間はよるDDの乗り				
授業形式		講義 1		関連するDPの番号	_	: 1\ \		
配当年次				科目群	一般教養	10000000000000000000000000000000000000		
開講期		前期・後期		卒業の選択・必修				
単位数	, +42 *= ±12	2		担当形態	単独			
免許・資	[恰有報							
自分の視点から離れて世の中を見ることや想像力を働かせることを意識しながら、日常生行為や社会で起こっている出来事を題材に、日常生活や社会の仕組みを説明する。まず、自分と直接接する他者との関係を題材に身近な人間関係の間で繰り広げられる行為を、初れの範囲を広げ社会の大きな変化と個々人の行為の関係について学ぶ。					きず、自分日	自身のこと		
1. 人々の行為や社会で起こっている出来事を、自分から離れて見る視点を身につり 授業の到達目標 2. 自分の関心事と社会で起こっている出来事を結びつける能力を身につける 3. 人びとの間に(社会的に)共有される意味や形式の相対性について理解を深める。								
授業計画	Ī						担	当者
第1回	「社会学	すること」の視点を	と理解する				倉重	
第2回	人々をつ	なぐ言葉の特徴を学	≛ .ડે`				倉重	
第3回	行為の意	味を学ぶ					倉重	
第4回	自分探し	について考える					倉重	
第5回	アイデン	ティティの確立を社	上会学的に捉える				倉重	
第6回	主体的に	生きることと自由に	こついて考える				倉重	
第7回	社会と個	人の関係について請	議論し、発表する				倉重	
第8回	健康と病	気の境界は?――物	勿事の相対性につい	て学ぶ			倉重	
第9回	正常と異	常を判断する背景に	こついて学ぶ				倉重	
第10回	社会構築	主義の視点を学ぶ					倉重	
第11回	水俣病を	めぐる社会関係につ	ついて学ぶ				倉重	
第12回	国家の性	質について学ぶ					倉重	
第13回	国民とは	何かについて学ぶ					倉重	
第14回	大きな政	府と小さな政府につ	ついて理解する				倉重	
第15回	授業のま	とめ					倉重	
授業に含ま	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・ 授業に含まれる活動				也の活動 育等を含む			
世当教員の実務経験 と授業の関連								
新聞を読んだりニュースを見たりして、世の中の出来事に関心を持つ。また、自分が生活してきた地域社会の状況を把握しておく。 学習合計			学習合計	├時間(h) 3 0 時間				
事後学習 定期試験のために授業内容の復習をしておくこと。 学習合語			学習合計	十時間(h) 3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	火曜日16:30~18:30 研究室(西館312号室)
テキスト	『社会学のエッセンス――世の中のしくみを見ぬく』 友枝敏雄・竹沢尚一郎・正村俊之 ・坂本佳 鶴恵著 2017年 2,000円 (ISBN 978-4-641-22098-0)
参考文献等	『自由からの逃走』フロム, E.著 日高六郎訳 東京創元社 1951年 1,870円 (ISBN:978-4-488-00651-8) 『定本 想像の共同体』ベネディクト・アンダーソン著 白石隆・白石さや訳 書籍工房早山 2007年 2,200円 〈978-4-904701-08-9〉 総務省統計局ホームページ ほか授業中に紹介
成績評価基準	到達目標の1.~3.は相互に関連し、1.や2.を身につけることにより、3.に掲げている事項の理解を深めることができることから、到達目標の3.「人々の間に共有される意味や形式の相対性」を理解することを成績評価基準とする。
成績評価の方法	期末試験(90%)と毎時間のコメントシート(10%)で評価する。
GPA基準	
備考	

科目名		日本国憲法	科目ナンバー			
担当者		池田 哲之				
授業形式	<u>`</u>	講義	関連するDPの番号	4		
配当年次	7	1	科目群	一般教養科目		
開講期		前期・後期	卒業の選択・必修	選択		
単位数	位数 担当形態 単独					
免許・資	資格情報 選択必修:介護福祉士(★6単位) 必修:栄養教諭					
・「統治機構」、「人権」という憲法学の2大領域における須要事項を、日本ゆく。 ・日本国憲法の各条項が、わたしたちの日々の暮らしにどのように関わり合っと おし考察する。						
1. 日本国憲法に関する基本知識を身につけている。 授業の到達目標 2. 立憲主義理念に依拠する現代憲法の意義・役割を日々の生活との関連において 3. 社会における諸課題解決のための方策を、憲法を軸に構想することができる。					-	
授業計画	Ī				担当者	
第1回	鴎州憲政		池田			
第2回	人権の諸	相-自由権・社会権・参政権・請求	権-		池田	
第3回	日本国憲	法の構造			池田	
第4回	立法府((国会)の権能			池田	
第5回	行政府((内閣) の権能と内閣総理大臣の権限			池田	
第6回	司法府(裁判所)の権能と違憲立法審査制			池田	
第7回	中間まと	め			池田	
第8回	人権の享	有主体			池田	
第9回	私人間に	おける憲法効-3つの判例より-			池田	
第10回	精神的自	由権-表現の自由・信教の自由-			池田	
第11回	幸福追求	権-憲法13条の可能性-			池田	
第12回	経済的自		池田			
第13回	生存権と		池田			
第14回 子どもの発達と教育権 池田						
第15回	第15回 憲法改正の論点 池田					
授業に含む	まれる活動	ディスカッション・討! グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実験・実技)・ フィールドワーク	その他の活動 ※ICT教育等を含む	

授業に含まれる活動	『ィスカッション・討詞	ンョン・討! グループワーク プレゼンテーション·発表 フィール		・ドワーク	≫ICT	教育等を含む	
	\circ						
担当教員の実務経験 と授業の関連							
事前学習	テキストの授業予定箇所を読み込み、不明部分は資料等を検索し調べておく。				学習合計時	間(h)	3 0 時間
事後学習	授業中・後に提示さ	れた課題研究に取	り組む		学習合計時	間(h)	3 0 時間

課題に対する フィードバックの 方法	課題または確認問題(公務員試験対策も兼ねる)にたいする解答例の配布または解説をとおし、知識・ 理解の整理を図る。
質問・相談方法	原則として授業時間の前後またはオフィスアワーに受付ける。
オフィスアワー	原則として 水曜日曜 16:30~17:30 研究室(研究室414号室)
テキスト	『教職のための憲法』 斎藤一久ほか編著 ミネルヴァ書房 2020年 2000円 (ISBN:978‐4‐623-08935-2)
参考文献等	特になし
成績評価基準	立憲主義と憲法の関係性を踏まえ、日本国憲法の重要条文の内容・意義を理解している。
成績評価の方法	定期試験(90%)、受講意欲・態度等(10%)。なお再試は1回にかぎり実施する。
GPA基準	
備考	上記記載の各内容は、受講生数・受講生の理解度により変更となる場合があります。 学生証不携帯の出席確認未了者は欠席扱いとします。

科目名		歴史学		科目ナンバー				
担当者		松﨑康弘		111117				
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号 ④				
配当年次		1		科目群	一般教養	·············· 科目		
開講期	開講期 前期・後期 卒業の選択・必修選択							
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報							
いわゆる「自分たちからは遠い存在の出来事の暗記」ではない、本来の歴史学の在り方を具体的な事例に づいて学ぶ。民俗学や地理学などとの連携を視野に、柔軟で多角的な歴史の見方を学ぶ。また、現在そして 接業の概要 来の人の生き方や社会の在り方を考えるために歴史研究がどのように生かせるかについても学ぶ。「自分での身近に展開した歴史」という視点から、具体的には「地名」「妖怪」「人生儀礼」などのテーマを取りる。					在そして未			
授業の到	達目標	1. 民俗学等との連携も視野に、歴史学の方法を理解する						
授業計画	Ī						担:	当者
第1回	地名研究	と歴史①(地名研究	この動向)				松﨑	
第2回	地名研究	と歴史②(鹿児島に	おける地名と歴史)			松﨑	
第3回	地名研究	究と歴史③(沖縄等における地名と歴史) 松崎						
第4回	歌から読	であれる地域の歴史 松崎						
第5回	テレビ番	M組から読み取る地域の歴史 松﨑						
第6回	妖怪研究	と歴史①(研究の視点) 松崎						
第7回	妖怪研究	と歴史②(映画から	読み取る歴史)				松﨑	
第8回	妖怪研究	と歴史③(妖怪から	読み取る社会史)				松﨑	
第9回	妖怪研究	と歴史④(妖怪研究	ことこれからの社会)			松﨑	
第10回	生活研究	と歴史①(死をめぐ	ざる文化①:葬儀の	文化)			松﨑	
第11回	生活研究	と歴史②(死をめぐ	`る文化②:「メメ	ント・モリ」)			松﨑	
第12回	生活研究	と歴史③(恋愛・絹	5婚をめぐる文化)				松﨑	
第13回	生活研究	と歴史④(伝統芸能	<u>(</u>)				松﨑	
第14回	生活研究	と歴史⑤(食の歴史	2)				松﨑	
第15回	まとめ(自らの生活と結びつく歴史) 松崎					松﨑		
授業に含ま	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク			その他の活動 ※ICT教育等を含む				
	担当教員の実務経験 と授業の関連							
事前学習 (持っていれば中学校・高校の歴史・日本史教科書を使って)基礎 的な日本史の知識を確認しておく。 学習合計時間(h)			3 0 時間					
事後学習 定期試験のために復習するとともに、授業で紹介した以外の(自分 の居住地域に即した)素材を探す。 学習合計時間(h)				3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	月曜日 14:30~16:20 研究室 (西館411号室)
テキスト	特になし
参考文献等	『地名の魅力』 谷川彰英 白水社 2002年 『妖怪文化入門』 小松和彦 せりか書房 2006年 ほか
成績評価基準	・授業内容に即して歴史学の方法を理解していること。 ・授業をもとに自己や社会の在り方を自分なりに考えていること。
成績評価の方法	定期試験(100%) レポートで代替する場合がある
GPA基準	
備考	

科目名		総合教養		科目ナンバー					
担当者		有松 しづよ(ARI	IMATSU, Shizuyo))					
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	4				
配当年次	,	1		科目群	一般教養	科目			
開講期 卒業の選択・必修選択									
単位数	4位数								
免許・資	格情報								
大学生に求められる世界の諸地域に係る基礎的な情報や歴史、日本の歴史の基礎的な 授業の概要 投業の概要 採用試験等においても求められる内容も含む。									
授業の到	達目標	(1)世界の諸地域の地理・政治経済に関する基礎的な知識を習得している。 (2)日本を含む近代世界の歴史を理解できている。 (3)世界の時事に関する基礎情報について理解できている。 (4)数的処理&判断推理について基礎的な内容を理解できている。							
授業計画	Ī						担当者		
第1回	オリエン	/テーション					有松		
第2回	世界の諸	地域I(基礎的な情	青報)				有松		
第3回	世界の諸	ば地域 II (アングロ&ラテンアメリカ) 有松							
第4回	世界の諸						有松		
第5回	世界の諸	地域IV(アジア)					有松		
第6回	日本の近	現代史Ι(開国と明	月治維新)				有松		
第7回	日本の近	現代史Ⅱ(明治維新	新前後の周辺諸国の	様相)			有松		
第8回	日本の近	現代史Ⅲ(日清戦争	争)				有松		
第9回	日本の近	現代史IV(日露戦争	争)				有松		
第10回	日本の近	現代史V(第一次廿	世界大戦への道)				有松		
第11回	日本の近	現代史VI(第一次t	世界大戦)				有松		
第12回	日本の近	現代史Ⅷ(第二次廿	世界大戦への道)				有松		
第13回	日本の近	現代史Ⅷ(第二次廿	世界大戦)				有松		
第14回	第二次世	界大戦敗戦後におり	ナる日本の変容				有松		
第15回	数的処理	 !&判断推理					有松		
授業に含ま	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク			ドワーク	その他の活動 ※ICT教育等を含む				
	0 0)		0		
担当教員の									
新聞やニュース番組を毎日みる。 (7.5時間) WORKBOOKに取り組む (22.5時間)		学習合計	合計時間(h) 30時						
			時間(h)	3 0 時間					

課題に対する フィードバックの 方法	授業の終わりに確認テストを実施する。
質問・相談方法	授業の終わりに質疑応答の時間を設ける。
オフィスアワー	
テキスト	『短期大学生のための必修教養WORKBOOK』NO.1~NO.3(大学書籍 2020年)
参考文献等	随時紹介する
成績評価基準	世界の諸地域について基礎的な情報や歴史を理解ができているとともに、日本の近現代史の基礎的な流れを理解している。
成績評価の方法	授業参加度60点 定期試験40点
GPA基準	
備考	

科目名		総合教養		科目ナンバー					
担当者		有松 しづよ(ARI	MATSU, Shizuvo)						
授業形式	<u> </u>	講義	, , ,		(4)				
配当年次	7	1		科目群	一般教養	 [科目			
開講期	うな								
単位数		2 担当形態 単独							
免許・資	格情報								
大学生に求められる日本および世界の政治・経済活動に係る基礎的な教養を身につけると 授業の概要 事についての広い視野と合理的な思考力を養う。就職試験や公務員採用試験、教員採用試 いて求められる基礎教養基礎も含む。						-			
授業の到	達目標	(1)日本および世界の政治・経済活動についての基礎的な知識が習得できている。 票 (2)世界の時事に関する基礎情報について理解できている。 (3)数的処理&判断推理について基礎的な内容を理解できている。							
授業計画	Ī						担	当者	
第1回	オリエン	テーション					有松		
第2回	数的推理	&判断推理 II					有松		
第3回	数的推理	住理&判断推理Ⅲ 有松							
第4回	数的推理	里&判断推理IV 有松							
第5回		&判断推理V					有松		
第6回	世界の政	治体制					有松		
第7回	日本国憲	法					有松		
第8回	基本的人	権					有松		
第9回	国会と内						有松		
第10回	裁判所と	司法制度					有松		
第11回	地方自治	と選挙制度					有松		
第12回	資本主義	経済の変遷					有松		
第13回	経済活動	の仕組み					有松		
第14回	第二次世	界大戦後の日本経済	筝の変遷				有松		
第15回	15回 第二次世界大戦後の日本経済の変遷 有松								
授業に含ま	** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **			ドワーク	その他の活動 ※ICT教育等を含む				
	0 0						0		
	担当教員の実務経験と授業の関連								
事前学習	新聞やニュース番組を毎日みる。 (7.5時間) WORKBOOKに取り組む (22.5時間) 学習名			学習合計	合計時間(h) 30 B				
歌受講内容について復習する。(7.5時間) WORKBOOKに取り組む(22.5時間) 学習合計時間				3 0 時間					

課題に対する フィードバックの 方法	授業の終わりに確認テストを実施する。
	授業の終わりに質疑応答の時間を設ける。
オフィスアワー	
テキスト	『短期大学生のための必修教養WORKBOOK』NO.4~NO.5(大学書籍 2020年)
参考文献等	随時紹介する
成績評価基準	日本および世界の政治・経済活動についての基礎的な知識が習得できている。
成績評価の方法	授業参加度60点 定期試験40点
GPA基準	
備考	

科目名		インターンシップ	•	科目ナンバー				
担当者		インダーンシップ 石田 もとな		1140 / / / / /				
授業形式	<u>.</u>	演習		関連するDPの番号	(3)			
配当年次	-	<u> </u>		科目群	一般教養	<u></u> 科目		
開講期				£114 LJ				
単位数								
	土地 上当が窓 免許・資格情報							
九川 貝	本科目の目的は、今後参画して行く「地域社会」を実践的に体験することで、これまで得てきた知識					きた知識わ		
スキルがどの様に関連しているかを、地元企業での職業体験を通して考える機会を与えるこの 授業の概要 前研修として、研修先企業研究、地域貢献、職業意識・ビジネスマナー研修等の指導を、本学 3名の学外講師で実施する。講義後、夏季休業中に1~2週間インターンシップを体験。事後 報告書の作成に基づき体験発表会を行い職業体験の共有を図る。			 テえること ⁻ 享を、本学	である。事 教員と2~				
授業の到	1. 地元企業体験を短大での学習にフィードバックさせ、以後の学生生活に役立て、社会人として 到達目標 の 自覚 を持つ 2. 職業に関する興味、関心、適性がどこにあるかを自ら考えられる					入として		
授業計画	Ī						担	当者
第1回	ガイダン	ス-インターンシッ	/プとは何か				石田	
第2回	研修先地	元企業概要・エント	、リーシート登録方	法説明			石田	
第3回	エントリ	ントリーシート・自己PRの書き方 石田						
第4回	一次マッ	チング説明・仕事の)基本的心得				石田	
第5回	県内雇用	用環境の説明・働く意義 石田						
第6回	研修企業	の研修内容説明					石田	
第7回	来客対応	の基本・二次マッチ	ゲング参加登録				石田	
第8回	職場の人	間関係・二次マッチ	シグ調整				石田	
第9回	職場のマ	ナー研修					石田	
第10回	企業のし	くみとコンプライア	アンス				石田	
第11回	インター	ンシップ地元企業の)業界研究・地域貢	献活動			石田	
第12回	外部講師	講演(県内企業の現	見状と課題等)				石田·A	
第13回	お礼状の	書き方					石田	
第14回	インター	ンシップによる職業	美体験(1~2週間科	呈度)			石田	
第15回	研修日誌	・研修報告書等作成	戈・提出				石田	
授業に含ま	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク (その他の活動 ※ICT教育等を含む				
						指導等に		
事前学習 関心ある企業について企業研究・調査を行う 学習合計時間(h)			時間(h)	3 0 時間				
事後学習 インターンシップ後、得られた成果を自分の進路決定に活かせるよ うに努める 学習合計時間(h)			時間(h)	3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	個別業界研究・企業研究など課題を課す場合、口頭もしくは文書でその報告を求めるなど個別に対 応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	金曜日 16:30~17:30 研究室(西館404号室)*要事前連絡
テキスト	特になし
参考文献等	1. 講師作成プリント 2. 『インターンシップ-キャリア教育としての就業体験』 古閑博美 学文社 2011年 1,800円 (ISBN978-4-7620-2139-8)
成績評価基準	インターンシップ参加の報告書・プレゼンテーションの内容でシラバスに示す到達目標が達成され たものは合格とする。
成績評価の方法	研修報告書等提出物(70%) 参加報告プレゼンテーション(30%)で総合的に判断する。
GPA基準	
備考	外部講師:A 理事長 COC関連科目 「一般教養科目『インターンシップ』実施要領」(学生便覧参照)によりインターンシップ参加要 件あり

科目名		キャリアガイダンス	I(生活福祉専攻)	科日ナンバー					
担当者		福永 宏子							
授業形式		講義		関連するDPの番号	(4)				
配当年次		1		科目群	_				
開講期	•	<u>·</u> 後期		<u> </u>					
単位数		1 担当形態 複数							
免許・資格	 各情報	•	1三-17/15						
授業の概要 有意義な短大生活を過ごすために、卒業後の進路に関して多方面から学び、自己理解を深め、 どのような生き方をしたいのかを考える。)、自分が				
授業の到	達目標	1. 自己理解を深める 2. 自分の生き方を考える							
授業計画	Ī						担	 当者	
第1回	キャリア						В		
第2回	就職活動	o流れ・自己PRの	大切さ				Α		
第3回	社会人と	して働く意味と職業	 観を学ぶ				В		
第4回	多彩な職	種や業種を学ぶ					С		
第5回	社会人と	して必要なマナーを	 学ぶ				С		
第6回	コミュニク	ーション能力を身に	 :付ける				Α		
第7回	履歴書の	まとめ方について					Α		
第8回	キャリア	デザインの構築(進路	客を考える)				В		
第9回									
第10回									
第11回									
第12回									
第13回									
第14回									
第15回									
授業に含ま	€れる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表		検·実技)· ドワーク		也の活動 育等を含む	
	0								
担当教員の実務経験と授業の関連									
事前学習	事前学習 キャリアセンター等で求人情報等の見方を調べておく 学習合			学習合計	幸習合計時間(h) 158				
事後学習	後学習 自分に適した就職先について調べる 学習合計時間(h)				——— 時間(h)	15時間			

課題に対するフィー ドバックの方法	自分の長所と短所について、理解しながらアピールシート等に書かせる。
質問·相談方法	アピールシートなどを参考に、最適な書き方についてのやり取りを行う。
オフィスアワー	木曜日 13:00~16:30 浜崎研究室(西館315号室)
テキスト	特になし
参考文献等	『ビジネスマナーの基本講座』 ANA ラーニング 成美堂出版 2011年 1,000円(税抜き) (ISBN-13: 978-4415035734)
成績評価基準	到達目標に掲げた項目をおおよそ理解すること。
成績評価の方法	授業への参加態度(60%)とレポート等(40%)で総合的に評価する。
GPA基準	
備考	COC科目 A:生活福祉専攻教員(竹中・浜崎・福永・久留須) B:就職ガイダンス(学生支援課職員) C:外部講師等(福祉施設関係者や生活福祉の卒業生等)

科目名		キャリアガイダンス I	(食物栄養学専攻)	科目ナンバー				
担当者		山﨑 歌織						
授業形式	<u>.</u>	演習		関連するDPの番号	5号 (4)			
配当年次		1		科目群	一般教養	 科目		
開講期		前期 卒業の選択・必修必修						
単位数		1		担当形態	複数			
免許・資	格情報	1		J	12.35			
7011 9	AI GILDI							
有意義な短大生活を過ごすための指導や講話を行う。また、卒 授業の概要 び、自己理解を深め、自分がどの様な生き方をしたいのかを考え 研修による生産者との交流や各種課外活動への参加により学習を				を考える機	後会とする			
1. 自己理解を深める 授業の到達目標 2. 自分の生き方を考える								
授業計画	Ī						担	 当者
第1回	短大生活	の送り方①資料検	索方法・レポート	のまとめ方等			Α·C	
第2回	情報の取	り扱い方について					渡邉	
第3回	コミュニ	-ケーションの方法	 を学ぶ				松元	
第4回	多彩な職	通い業種を系統的	に学ぶ				D	
第5回		して必要なマナー					石田	
第6回	短大生活	の送り方②安全に	生活するために				A·Β	
第7回	心身の発		する				D	
		と地域の活性化に					Α·D	
)関わりについて考					A · D	
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回							 	
第15回								
					実習(実!	験・実技)・	その作	也の活動
授業に含る	まれる活動	ディスカッション・討詞	グループワーク	プレゼンテーション・発表		・ドワーク		育等を含む
			\circ		(\supset		
担当教員の実務経験と授業の関連								
日常的に求人情報を把握し企業研究を行う 事前学習 進学希望者は進学先の研究を行う				学習合計時間(h) 1 C		10時間		
事後学習	事後学習 課外活動やボランティア活動を通して地域との関わりを持つ 学習合計時間(h)				2 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	レポート等の課題に対する質問があった場合、オフィスアワーを活用し個別に対応する
質問・相談方法	オフィスアワーを活用し、個別に対応する
オフィスアワー	木曜日 14:40~16:20 (各講義室)
テキスト	特になし
参考文献等	『ビジネスマナーの基本講座』 ANA ラーニング 成美堂出版 2011年 1,000円(税抜き) (ISBN-13: 978-4415035734)
成績評価基準	各講義に出席し、自己理解を深め、自分の生き方について考えることができた場合に合格とする。
成績評価の方法	受講態度(60%)、レポート等の提出状況(40%)により、総合的に評価する。
GPA基準	
備考	A:専攻教員(山﨑、住澤、山元、寺師、改元、児玉、木戸) B:学生支援課 C:図書館 D:外部講師

科目名		海外事情 科目ナンバー						
担当者		黒川、太郎、藤川、和也						
授業形式	<u> </u>	演習	, ,,, C	関連するDPの番号	<u>(4)</u>			
配当年次								
開講期後期卒業の選択・必修選択								
単位数		2			複数			
免許・資	格情報			J1//&	12.90			
授業の概				里解を深め、国際感覚 したのち、研修実施国				
			り特性に見合った研修 					
1. 異文化に接し、異文化への理解を深める 授業の到達目標 2. 体験的に国際感覚を養う 3. 自らの専門分野について国際比較の観点から理解を深める								
授業計画	Ī						担:	 当者
第1回	事前説明	海外研修の流れと	と実施国の国情(5)	月・6月)			黒川・藤	JI
第2回	実施国の	 文化					黒川・藤	JI
第3回	実施国の	 歴史					引率教員	
第4回	実施国の	 言葉					引率教員	
第5回	実施国の						引率教員	
第6回	実施国の	伝統文化					引率教員	
第7回	実施国の	教育事情					引率教員	
第8回	実施国の	観光施設訪問					引率教員	
第9回	実施国の	文化施設訪問					引率教員	
第10回	実施国の	教育機関訪問					引率教員	
第11回	実施国の	現地料理実習					引率教員	
第12回	実施国の	言語学習					引率教員	
第13回	実施国の	交流					引率教員	
第14回	日本軍化	の紹介					引率教員	
第15回	研修成果	の発表					黒川・藤	JI
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討	グループワーク	プレゼンテーション・発表		験・実技)・ <i>・</i> ドワーク	·	の活動 育等を含む
			0	\circ				
担当教員の実務経験 と授業の関連 在外公館での勤務経験を活かし、外国でのトラブルを事前指導に盛り込む								
事前学習 インターネットやニュース、書籍を通し、実施国に関する情報を収 集し、文化や人に対する関心を深める 学習合計時間(h)				時間(h)	3 0 時間			
事後学習	学習 学習した内容をまとめ、発表する 学習合計時間(h) :				3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	適宜、個人個人に直接コメントしてフィードバックする
質問・相談方法	オフィスアワーに研究室にて対応
オフィスアワー	木曜日 10:50~12:20 研究室(西館307号室)
テキスト	特になし
参考文献等	『地球の歩き方 ガイドブック D 1 0 台湾 2019年〜2020年版』 ダイアモンド社 2019年 1700円(税抜き) (ISBN:978-4-478-82314-9)
成績評価基準	国際交流に関する視野の広がり 国際理解に関する知見
成績評価の方法	研修中の活動(60%) 研修の発表(20%) レポート(20%)
GPA基準	
備考	最小催行人数:6名 1. 参加学生数や台湾の情勢により、本授業が開講されない可能性もある 2. 本科目に興味を持つ学生は、初回の履修登録時に履修登録をする(後日取消可能) 3. 初回の履修登録期間中に登録しない者は、原則として追加登録を認めない 4. 説明会2回(5・6月)および中国語講座(7月)、事前説明会(8月)を実施予定5. 参加学生は後日研修成果を発表することが求められる 5. 参加にはパスポートが必要であるため、未取得者はパスポートの取得が求められる

科目名		英語演習Ⅰ 科目ナンバー							
担当者		生田和也							
授業形式		演習 関連するDPの番号 ②							
配当年次		1 科目群 一般教養科目							
開講期	前期 卒業の選択・必修選択必修								
単位数		2		担当形態	クラスタ	分け			
免許・資格情	青報								
英語で聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力や、発音・アクセントな 児教育や初等教育でも活用できる英語の基礎的知識を習得する。また英語を学習を通して、異文化 を深める。英語の絵本、歌、ゲームなども、適時紹介する。授業内容への理解を深めるために、授 課題も課される。					、異文化への理解				
授業の到達目	目標	1. 英語での基礎的なコミュニケーション能力を習得する。 雲 2. 幼児教育や初等教育で活用できる英語の基礎的知識を習得する。 3. 英語の学習を通して異文化に触れる。							
授業計画								担当者	
第1回 オリ	リエン	テーション:語学	を学ぶに当たって				生田		
第2回 "He	ello!" a	and "How are you	?":リスニングと	コミュニケーショ	ン		生田		
第3回 "Ho	w ma	ny?" and "I like bl	ue":リスニング	とコミュニケーショ	ョン		生田		
第4回 "Wh	nat do	you like?" and Al	phabet (Capital I	etters):リスニン	グとコミ	ュニケー	生田		
第5回 "Th	is is f	or you" and "Wha	t's this?":リスニ	ングとコミュニケ	ーション		生田		
第6回 "Wh	ho are	you":リスニング	ブとコミュニケー ジ	ション			生田		
第7回 Intro	oduce	e Yourself:自分に	ついて発表				生田		
第8回 "He	ello, w	orld!" and "let's p	lay cards":リス:	ニングとコミュニケ	ァーション	/	生田		
第9回 "I lil	ke Mo	ondays" and "Wha	t time is it?":リ	スニングとコミュニ	ニケーシ	ョン	生田		
第10回 "Do	you l	have a pen?" :リ	スニングとコミュ	ニケーション			生田		
第11回 Alph	habet	(small letters):	リスニングとコミ	ュニケーション			生田		
第12回 "Wh	hat do	you want?":リス	スニングとコミュニ	ニケーション			生田		
第13回 "Th	is is r	my favorite place"	:リスニングとコ	ミュニケーション			生田		
第14回 "Th	is is r	my day":リスニン	<i>゚</i> グとコミュニケー	-ション			生田		
第15回 Intro	回 Introduce your day:自分の一日について発表 生田								
ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・ 授業に含まれる活動				の他の活動 T教育等を含む					
担当教員の実務経験と授業の関連									
事前学習	事前学習 教員の指示に従い、授業に必要な英語表現や道具を準備する。 学習合語			学習合計	-時間(h) 3 0 時間				
接業で学んだ英語表現を、配布プリントを用いて細かく復習する。 復習内容について小テストや課題提出を行う。 学習合計			時間(h) 3 0 時間						

課題に対する フィードバックの 方法	小テストやコメントシートへのフィードバックを授業内で適時実施する。
	授業前後の教室、あるいはオフィスアワーに研究室にて質問・相談に応じる。また事前に希望があればオフィスアワー以外にも対応する。
オフィスアワー	金曜日 14:40~16:10 研究室(西館408号室)
テキスト	授業中に資料を配布する
参考文献等	
成績評価基準	英語の基礎的なコミュニケーション能力や知識を習得し、異文化について理解すること。
成績評価の方法	小テスト・提出物(50%)、定期試験(50%)
GPA基準	
備考	

科目名		英語演習Ⅰ 科目ナンバー							
担当者		松下 紗耶							
授業形式		演習		関連するDPの番号	1 2				
配当年次	,	1		科目群	一般教養	 科目			
開講期		前期		卒業の選択・必修	選択必修	5			
単位数		2		担当形態	クラスタ	<u></u> テけ			
免許・資	格情報			<u>I</u>					
この授業では、TED Talksを題材にした教科書を用い、リーディング、リスコ授業の概要 ピーキングの四技能の修得を目指します。英語のプレゼンテーションを見て、分の考えを述べるアクティビティも行います。また、基礎的な文法を学習しま					を見て、そ	その内容を			
授業の到	1. 英語の文章を読んだりプレゼンテーションを聞いたりして、その意味を理解できる。 授業の到達目標 2. 自分の意見を英語で伝えることができる。 3. 基礎的な英文法を理解できる。								
授業計画							担当者		
第1回	イントロ	ダクション					松下		
第2回	Unit 1 Pa	it 1 Passions 松下					松下		
第3回	Unit 1 Pa	assions					松下		
第4回	Unit 2 Sp	ending Habits					松下		
第5回	Unit 2 Sp	ending Habits					松下		
第6回	Unit 3 Ca	areer Paths					松下		
第7回	Unit 3 Ca	areer Paths					松下		
第8回	Presenta	tion 1 Introducing	someone you knov	V			松下		
第9回	Unit 4 Ta	alents					松下		
第10回	Unit 4 Ta	lents					松下		
第11回	Unit 5 Te	echnology					松下		
第12回	Unit 5 Te	echnology					松下		
第13回	Unit 6 Cł	nallenges					松下		
第14回	Unit 6 Cł	nallenges					松下		
第15回	Presenta	tion 2 Presenting a	favorite piece of	technology			松下		
授業に含ま	***				の他の活動 IT教育等を含む				
担当教員の実務経験と授業の関連									
接業で使用する教科書の範囲を予習し、わからない単語等を調べて くる。 学習合計時間(h)			3 0 時間						
学習した語彙、文法をもう一度確認する。また、授業内で使用した 映像をもう一度見て、聞き取りを行う。 学習合計時間(h)				3 0 時間					

課題に対する フィードバックの 方法	課題を回収し、クラス全体、もしくは個人に対してフィードバックを行う。
質問・相談方法	授業の前後、またはオフィスアワーに対応する。
オフィスアワー	金曜日 12:05~12:50 研究室(西館309号室)
テキスト	Keynote, American English Level 1, Student Book with My Keynote Online, David Bohlke, Cengage Larning (ISBN978-1-337-10410-4)
参考文献等	
成績評価基準	学習した語彙、文法を理解し、読解や聞き取りができること。 自分の意見を英語で表現できること。
成績評価の方法	定期試験(50%) 小テスト(20%) 個人・グループ課題(30%)
GPA基準	
備考	

科目名		フランス語演習 科目ナンバー							
担当者		杉山 朱実							
授業形式	<u>.</u>	演習		関連するDPの番号	1				
配当年次	,	1		科目群	一般教養	科目			
開講期		前期		卒業の選択・必修	選択必修	5			
単位数		2		担当形態	単独				
免許・資	格情報			•	•				
授業の概	各課は、「挨拶する」「紹介する」「尋ねる」といった、現実のコミュニケーするテーマに 沿った短い会話文が中心となる。これら各課のテーマを表現する項も学び、フランス語表現の習得と共に、聞く・書く・読むといった、総合的な能力を習得していく。				るのに必要	な文法事			
1. 現実のコミュニケーションの場で使える生きたフランス語の習得を目指す 授業の到達目標 2. 一回の授業の中で、毎回受講生が、必ず、フランス語で会話ができることを目標とする 3. アクティヴラーニングの実施をめざす					3				
授業計画	Ī						担当者		
第1回	オリエン	テーション:語学を	と学ぶに当たって -	フランスとフランス	語に親し	む-	杉山		
第2回	フランス	語のアルファベット	- に親しむ				杉山		
第3回	フランス	語で挨拶をする					杉山		
第4回	フランス	語で名前を言う					杉山		
第5回	フランス	語で国籍を言う					杉山		
第6回	フランス	語で職業を言う					杉山		
第7回	フランス	語で年齢を言う					杉山		
第8回	フランス	語で家族を語る					杉山		
第9回	フランス	語で好きなものを言	言う				杉山		
第10回	フランス	語で友達について話	ます しゅうしゅう				杉山		
第11回	フランス	語で持ち物をいう					杉山		
第12回	フランス	語で尋ねてみる					杉山		
第13回	フランス	語で近い未来、近し	い過去を言う				杉山		
第14回	フランス	語で時間を言う					杉山		
第15回	15回 フランス語で天気を言う 杉山								
授業に含ま	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション·発表 実習(実験・実技)・ 文ィールドワーク フィールドワーク					2の活動 育等を含む			
担当教員のと授業の関									
事前学習 意味のわからない用語は辞書等で調べておくこと。 学習合計時間(ド			時間(h)	3 0 時間					
事後学習 小テストでロールプレイ等をして復習する。 学習合計時間(h)				3 0 時間					

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合、毎回チェックのうえ返却し、求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	月曜日 10:25~10:35、12:05~12:15 講義室(本館308号室)
テキスト	『パリのクール・ジャパン』 藤田裕二 朝日出版社 2018年 2500円 (ISBN:978-4-255- 35211-4)
参考文献等	辞書の説明など、講義の中で説明していく。
成績評価基準	聞く・書く・読むといった運用能力を習得し、フランス語で会話ができること。
成績評価の方法	各講義中の毎回の小テスト(50%)、授業中の平常点(50%)での総合評価
GPA基準	
備考	

					_				
科目名		中国語演習 科目ナンバー							
担当者		黒川 太郎							
授業形式		演習		関連するDPの番号	2				
配当年次	7	1		科目群	一般教養	科目			
開講期	開講期 卒業の選択・必修選択必修			ξ					
単位数	単位数 2 担当形態 単独								
免許・資格情報									
授業の概	漫	常生活で必要な語彙 日本語との発音の遠	中国語初学者対象の授業です。簡単な挨拶表現、基本的な発音および文型を中心に教えます。日 常生活で必要な語彙を身に付けることを目的に会話を中心とした授業を行います。毎回の授業では 日本語との発音の違いに注意し、正確な発音の練習に時間を割き、授業の終わりには、受講者が中 国語で自己紹介できることを目標とします。						
1. 中国語の発音に慣れ、ローマ字ピンインで書ける。 授業の到達目標 2. 中国語で自己紹介し、1~10の数を正確に言える。 3. 簡単な挨拶表現ができる。									
授業計画	Ī						担当者		
第1回	オリエン	テーション:語学を	を学ぶにあたって				黒川		
第2回	第1課 拮	矣拶(1)発音(声	調・短母音)・ピン	ンイン表記 「こん	にちは」		黒川		
第3回	第2課 排	送拶(2)発音(子音・複合母音・鼻母音) 「お変わりありませんか」 黒川							
第4回	第3課 抽	矣拶(3)発音と簡	単な挨拶表現	「お仕事は忙しいで	すか」		黒川		
第5回	発音の矯	正 自分の名前の中	中国語音の確認				黒川		
第6回	第4課 袖	切めて会う (1) 疑	問文「お名前り	まなんとおっしゃい	ますか」		黒川		
第7回	第5課 袖	切めて会う (2) 動詞	詞述語文 「ちょ	っとご紹介します」			黒川		
第8回	第1課~第	第5課復習(自己紹介	介)				黒川		
第9回	第6課 -	尋ねる(1)名詞述	語文 「誕生日」	は何月何日ですか」			黒川		
第10回	第7課	尋ねる(2)「有」	文 「ご家族は	何人ですか」			黒川		
第11回	第8課	尋ねる (3) 時間の	読み方 「今何日	寺ですか」			黒川		
第12回	発音の矯	正 疑問文の作り方	<u> </u>				黒川		
第13回	第9課	尋ねる (4) 連動	動文 「お住まいは	どちらですか」			黒川		
第14回	第10課	尋ねる(5) 方位	立詞 「郵便局はど	`こですか」			黒川		
第15回	第6課~第	第10課復習(数を表	す表現)				黒川		
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・ その れる活動 フィールドワーク ※ICT教						の活動 育等を含む	
担当教員のと授業の関									
事前学習 教科書付属のCDを聞き、中国語独特の発音とリズムを習得する。 新出単語の学習をする。			時間(h) 30時						
事後学習 新出単語の学習をする。 学習合計時間(h)				3 0 時間					

課題に対する フィードバックの 方法	希望があれば個別に対応する。また、授業内で言及する場合もある。
質問・相談方法	オフィスアワー内で対応
オフィスアワー	月曜日 13:00~17:00 研究室(西館307号室)
テキスト	『新訳第3版 中国語会話301(上)』 康玉華・来思平 語文研究社 2006年 1300円(税抜き) (ISBN-10: 493131550X)
参考文献等	特になし
成績評価基準	ローマ字ピンインを正確に発音できること。自己紹介・簡単な挨拶表現ができること。
成績評価の方法	定期試験(50%)、受講態度を総合的に評価(30%)、授業内で行う会話試験(20%)
GPA基準	
備考	

科目名		韓国語演習		科目ナンバー					
担当者		李 賢雄							
授業形式		演習		関連するDPの番	号 ②				
配当年次		1		科目群	一般教養				
開講期		前期		卒業の選択・必	修選択必修	多			
単位数		2		担当形態	クラス:	分け			
免許・資	格情報				•				
授業の概要		韓国語の文字(ハングル) 練習、作文練習、対話練習 とにより学習内容を授業時 1. 韓国語の文字(ハング 2. 自己紹介や簡単な日常	習をする。授調 特にしっかり がいと発音を	業の最後に目標会記 身につけることを目 表すことができる。	舌を暗記し発 目指す。				
		3. 言語を通じて韓国への	理解を深める	ることができる。					
授業計画							担	当者	
第1回	オリエン	テーション:語学を学ぶり	こ当たって				李(イ)		
第2回	韓国語の	文字(ハングル)と発音1(母音)				李(イ)		
第3回	韓国語の	文字(ハングル)と発音 2 (子音)				李(イ)		
第4回	韓国語の	文字(ハングル)と発音3(パッチム)				李(イ)		
第5回	日本語の	ハングル表記方法					李(イ)		
第6回	物事の名	称についての表現1(文注	去)				李(イ)		
第7回	物事の名	称についての表現2(応月	用)				李(イ)		
第8回	出身地に	ついて尋ねる1(文法)					李(イ)		
第9回	出身地に	ついて尋ねる2(応用)					李(イ)	<u></u> 李(イ)	
第10回	家族の呼	び名及び紹介1(文法)					李(イ)		
第11回	家族の呼	び名及び紹介 2 (応用)					李(イ)		
第12回	存在の有	無を表す1(文法)					李(イ)		
第13回	存在の有	無を表す2(応用)					李(イ)		
第14回	場所を尋	ねる表現1(漢数字1/:	文法)				李(イ)		
第15回	場所を尋	ねる表現2(漢数字2/『	芯用)				李(イ)		
授業に含まれる活動 ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 フィールドワーク			その他の活動 ※ICT教育等を含む						
担当教員のと授業の関									
事前学習		テキストを事前に読んでお 各課に出てくる新しい単語		書等で調べておくる	 د ک	学習合計		3 0 時間	

学習合計時間(h)

3 0 時間

各課ごとに小テストを行うので復習をすること。

事後学習

課題に対する フィードバックの 方法	課題を果たした場合求めに応じて個別に指導、授業内で提出された課題の要点に触れる。						
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。						
オフィスアワー	月曜日 8:40~8:50、10:20~10:30 講義室(本館306号室)						
テキスト	『これで話せる韓国語STEP1』 入佐信宏・金孝珍 共著 白帝社 2015年 2,300円(税抜き) (ISBN:978-4-86398-181-2C3087)						
参考文献等	『「あいうえお」から始める書き込み式ハングルBOOK』 栗原景著 成美堂出版 2012年 1,000円(税抜き) (ISBN: 978-4-415-03030-2)						
成績評価基準	ハングルの母音と子音を正確に区別でき、決まり文句としての挨拶や簡単な質問ができ、またそう いった質問に答えることができたものは合格とする。						
成績評価の方法	定期試験(50%)、小テスト(30%)、課題(20%)						
GPA基準							
備考	・受講希望者が5名以下の場合開講されません。 ・韓国語を初めて学習する人が望ましい。						

AL		+6 C7 -T \+ 32 ·		lare i	1				
科目名		韓国語演習Ⅰ 科目ナンバー							
担当者		姜美貞		I	I ~				
授業形式		演習	関連するDPの番号						
配当年次	, 	1		科目群	一般教養				
開講期		前期		卒業の選択・必修					
単位数		2		担当形態	クラスケ	分け			
免許・資	免許・資格情報								
授業の概	要	韓国語の文字(ハングル)の読み書きを身につけ、簡単な挨拶表現及び基礎文法を説明した後、音読練習、作文練習、対話練習をする。授業の最後に目標会話を暗記し発表や小テスト時間を設けることにより学習内容を授業時にしっかり身につけることを目指す。							
1. 韓国語の文字(ハングル)と発音を表すことがで 授業の到達目標 2. 自己紹介や簡単な日常会話ができる。 3. 言語を通じて韓国への理解を深めることができ			5 。						
授業計画	Ī						担当者		
第1回	オリエン	テーション:語学を	を学ぶに当たって				姜		
第2回	韓国語の	文字(ハングル)と発	Ě音1(母音)				姜		
第3回	韓国語の	文字(ハングル)と発	養音 2 (子音)				姜		
第4回	韓国語の	文字(ハングル)と発	巻音3(パッチム)				姜		
第5回	日本語の	ハングル表記方法					姜		
第6回	物事の名	称についての表現:	1 (文法)				姜		
第7回	物事の名	称についての表現?	2 (応用)				姜		
第8回	出身地に	ついて尋ねる1(ス	文法)				姜		
第9回	出身地に	ついて尋ねる2(ハ	芯用)				姜		
第10回	家族の呼	び名及び紹介1(ス	文法)				姜		
第11回	家族の呼	び名及び紹介2(原	芯用)				姜		
第12回	存在の有	無を表す1 (文法)					姜		
第13回	存在の有	無を表す2 (応用)					姜		
第14回	場所を尋	ねる表現1(漢数号	字1/文法)				姜		
第15回	場所を尋	ねる表現2(漢数号	字2/応用)				姜		
授業に含る	まれる活動	^デ ィスカッション・討		プレゼンテーション・発表	実習(実態 フィール			也の活動 育等を含む	
担当教員の									
事前学習		テキストを事前に読んでおくこと。 各課に出てくる新しい単語や用語は辞書等で調べておくこと。 学習合計				時間(h) 3 0 時間			
事後学習 5回おきに小テストを行うので復習をすること。			 けること。		学習合計時間(h) 30 B				

課題に対する フィードバックの 方法	課題を果たした場合求めに応じて個別に指導、授業内で提出された課題の要点に触れる。						
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。						
オフィスアワー	月曜日 8:40~8:50、10:20~10:30 講義室(本館307号室)						
テキスト	『これで話せる韓国語STEP1』 入佐信宏・金孝珍 共著 白帝社 2015年 2,300円(税抜き) (ISBN:978-4-86398-181-2C3087)						
参考文献等	『「あいうえお」から始める書き込み式ハングルBOOK』 栗原景著 成美堂出版 2012年 1,000円(税抜き) (ISBN:978-4-415-03030-2)						
成績評価基準	ハングルの母音と子音を正確に区別でき、決まり文句としての挨拶や簡単な質問ができ、またそう いった質問に答えることができたものは合格とする。						
成績評価の方法	定期試験(50%)、小テスト(30%)、課題(20%)						
GPA基準							
備考	・受講希望者が5名以下の場合開講されません。 ・韓国語を初めて学習する人が望ましい。						

科目名		日本語演習I		科目ナンバー					
担当者		村本 茜							
授業形式演習			関連するDPの番号	2					
配当年次	7	1		科目群	一般教養	一般教養科目[留学生特別科目]			
開講期		前期		卒業の選択・必修	選択必修	5			
単位数	単位数 担当形態 単独								
免許・資	免許・資格情報								
授業の概	この授業では、日本語学校で勉強したN2レベルの日本語の文型をもう一度勉強 るようにします。そのあと、N1レベルの文型も勉強します。短期大学の授業では 習ったことがない語いもたくさん覚えなければなりません。ですから、語いの勉 た、漢字は書くことより読むことの方が大切ですから、読める漢字の量をふやし				は、日本語 边強もしま	学校で			
1. JLPTのN1~N2レベルの日本語の文型をおぼえ、使えるようになる 授業の到達目標 2. 短期大学の授業で使われる語いをおぼえ、理解できるようになる 3. 読める漢字の量をふやす									
授業計画	Ī						担当者		
第1回	テストを	ストをして、みなさんの日本語の能力を調べます 村本							
第2回	行為の対	象 文型:~にこたえて・~をめぐって・~にかかわる 語いと漢字① 村本							
第3回	目的・手	段・媒介 文型:~上で・~べく・~をもって 語いと漢字② 村本							
第4回	起点・終	点・限界・範囲(文	型:~をはじめ・~	からして・~を限り	に 語い	と漢字③	村本		
第5回	時間的同時	時性・時間的前後関係	文型:~とともに	·~と思ったら·~>	欠第 語い	と漢字④	村本		
第6回	進行・相	関関係(文型:~つ	つある・~ようと	している・~ばかり	だ 語い	と漢字⑤	村本		
第7回	付帯・非	付帯 文型:~つつ)・~ぬきで・~を	ぬきにして 語いと	:漢字⑥		村本		
第8回	中間テス	<u> </u>					村本		
第9回	限定文	型:~に限り・~か	いぎり (は) ・~かる	ぎりでは・ただ~の	み 語い	と漢字⑦	村本		
第10回	非限定・	付加 文型:~に降	艮らず・~のみなら	ず・~にとどまらす	ド 語いと	漢字⑧	村本		
第11回	比較・程	度・対比 文型:~	くらいなら・~にも	まして・~ないまて	ぎも 語い	と漢字⑨	村本		
第12回	基準 文	型:~に沿って・~	~に基づいて・~を	踏まえて 語いと漢	漢字⑩		村本		
第13回	関連・対	応 文型:~次第で	では・~に応じて・	~を契機に(して)	語いと	漢字⑪	村本		
第14回	無関係・無	無視・例外 文型:~に	こかかわらず・~はと	もかく・~いかんによ	らず 語い	と漢字⑫	村本		
第15回	日本の映	画を見て「日本文化	と」について考えま	す			村本		
授業に含ま	*** ***						の活動 育等を含む		
	担当教員の実務経験と授業の関連								
事前学習	事前学習 授業の前に配ったプリントを見ておいてください 学習合計時			時間(h) 30時					
事後学習 授業で教わったことを、その日に家でもう一度勉強してください 学習合計時間(——— 時間(h)	3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	中間テストなどで確認します					
質問・相談方法	何かあれば、授業中や授業の前後に相談・質問してください					
オフィスアワー						
テキスト	特になし(プリントを配ります)					
参考文献等	『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』 友松悦子ほか 株式会社アルク 2013年 2500円 (ISBN:978-4757418905)					
成績評価基準	勉強した文型や語いが使えるようになったかどうかを評価の基準にします					
成績評価の方法	授業態度(20%)、 中間テスト(40%)、 課題レポート(40%)					
GPA基準						
備考	受講対象者 留学生のみ					

科目名		英語演習Ⅱ 科目ナンバー							
担当者		生田 和也		77 17 7 7 7 7					
授業形式	<u>.</u>	演習 関連するDPの番号 ②							
配当年次		<u> </u>		科目群	一般教建	<u> </u>			
開講期	`	<u>・</u> 後期		卒業の選択・必修					
単位数		2		担当形態	クラス				
免許・資	松信報			15日1718	<i>)) / /</i> .)J V)			
九川 貝	(10 IFI +IX								
授業の概	要	などの基礎的知識を	習得する。また英語	i 基礎的なコミュニク 哲学習を通して、異爻 □ た課題も課される。					
1. 英語での基礎的なコミュニケーション能力を習得する。 授業の到達目標 2. 発音・アクセント・音の変化など英語の基礎的知識を習得する。 3. 英語学習を通して異文化に触れる。									
授業計画	Ī							担当者	
第1回	"Summe	Vacations in the V	World":リスニンク	デ とコミュニケーシ	ョン		生田		
第2回	"Hello, fr	iends":リスニンク	^で とコミュニケーシ	ョン			生田		
第3回	"When is	your birthday?":	リスニングとコミュ	ュニケーション			生田		
第4回	"He can	bake bread well.":	リスニングとコミ	ュニケーション			生田		
第5回	"What wo	ould you like?":リ	スニングとコミュニ	ニケーション			生田		
第6回	"Welcom	e to Japan":リスニ	ニングとコミュニケ	ーション			生田		
第7回	"Who is y	/our hero?":リスニ	ニングとコミュニケ	ーション			生田		
第8回	"Let's sir	ng songs!":リスニ	ングとコミュニケ-	ーション			生田		
第9回	"This is r	ne!":リスニングと	コミュニケーショ	ン			生田		
第10回	"How is y	our school life?":	リスニングとコミ	ュニケーション			生田		
第11回	"Let's go	to Italy":リスニングとコミュニケーション					生田		
第12回	"We all li						生田		
第13回	"Let's thi	nk about our food.	":リスニングとコ	ミュニケーション			生田		
第14回	"My Best	Memory":リスニ	ングとコミュニケ-	ーション			生田		
第15回	"My Futu	re, My Dream":リ	スニングとコミュ	ニケーション			生田		
授業に含む	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク				その他の活動 ※ICT教育等を含む				
担当教員の実務経験と授業の関連									
事前学習		教員の指示に従い、授業に必要な英語表現や道具を準備する。 学習合計					3 0 時間		
事後学習		授業で学んだ英語表現を、配布プリントを用いて細かく復習する。 復習内容について小テストや課題提出を行う。 学習合				学習合計	十時間(h) 3 0 時間		

課題に対する フィードバックの 方法	小テストやコメントシートへのフィードバックを授業内で適時実施する。
質問・相談方法	授業前後の教室、あるいはオフィスアワーに研究室にて質問・相談に応じる。また事前に希望があればオフィスアワー以外にも対応する。
オフィスアワー	金曜日 14:40~16:10 研究室(西館408号室)
テキスト	授業中に資料を配布する
参考文献等	英語辞書
成績評価基準	英語の基礎的なコミュニケーション能力や知識を習得し、異文化について理解すること。
成績評価の方法	小テスト・提出物(50%)、定期試験(50%)
GPA基準	
備考	アンケートやコメントシートで受講するみなさんの意見や要望にも応えつつ授業をします。そのため、授業 で扱う項目については、授業内で予告の上で若干の変更の可能性もあります。

科目名		英語演習Ⅱ 科目ナンバー								
担当者		松下》			l					
授業形式	<u>.</u>	演習		関連するDPの番号	2					
配当年次	7	1		科目群	一般教養	·				
開講期	開講期 後期 卒業の選択・必修選択必修			<u> </u>						
単位数		2		担当形態	クラスタ	 分け				
免許・資	午・資格情報									
授業の概	この授業では前期に引き続き、TED Talksを題材にした教科書を用い、リーディング、リスニング、ラ 受業の概要 ティング、スピーキングの四技能の修得を目指します。英語のプレゼンテーションを見て、その内容を理 した後で、自分の考えを述べるアクティビティも行います。また、基礎的な文法を学習します。						、その内容を理解			
授業の到	1. 英語の文章を読んだりプレゼンテーションを聞いたりして、その意味を理解できる。 の到達目標 2. 自分の意見を英語で伝えることができる。 3. 基礎的な英文法を理解できる。									
授業計画	Ī						担当者			
第1回	イントロ	ダクション					松下			
第2回	Unit 7 C	onfidence					松下			
第3回	Unit 7 C	onfidence					松下			
第4回	Unit 8 W	/ild Places					松下			
第5回	Unit 8 W	/ild Places					松下			
第6回	Unit 9 A	cheivements					松下			
第7回	Unit 9 A	cheivements					松下			
第8回	Presenta	ation 1 Describing	an amazing place	e you visited			松下			
第9回	Unit 10	Creative Cities					松下			
第10回	Unit 10	Creative Cities					松下			
第11回	Unit 11 I	Picture Perfect					松下			
第12回	Unit 11 I	Picture Perfect					松下			
第13回	Unit 12 I	Healthy Habits					松下			
第14回	Unit 12 I	Healthy Habits					松下			
第15回	回 Presentation 2 Describing an issue or challenge in your community 松下									
授業に含ま	** ** ** ** ** ** ** **					の他の活動 IT教育等を含む				
	担当教員の実務経験と授業の関連									
要前学習 授業で使用 くる。			教科書の範囲を予習し、わからない単語等を調べて 学習合計			学習合計	時間(h) 3 0 時間			
事後学習		学習した語彙、文法をもう一度確認する。また、授業内で使用した 映像をもう一度見て、聞き取りを行う。 学習合計				時間(h) 3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	課題を回収し、クラス全体、もしくは個人に対してフィードバックを行う。
質問・相談方法	授業の前後、またはオフィスアワーに対応する。
オフィスアワー	金曜日 12:05~12:50 研究室 (西館309号室)

テキスト	Keynote, American English Level 1, Student Book with My Keynote Online, David Bohlke, Cengage Larning (ISBN978-1-337-10410-4)
参考文献等	
成績評価基準	学習した語彙、文法を理解し、読解や聞き取りができること。 自分の意見を英語で表現できること。
成績評価の方法	定期試験(50%) 小テスト(20%) 個人・グループ課題(30%)
GPA基準	
備考	

11 0 0		コニンコ語学図Ⅱ		N ㅁ ㅗ ヽ					
科目名		フランス語演習Ⅱ		科目ナンバー					
担当者	<u>.</u>	杉山 朱実		即はよってして近日	1				
授業形式	-	演習 1		関連するDPの番号					
配当年次									
開講期		後期							
単位数	, +42 *= ±12	2		担当形態	単独				
免許・資	俗情報								
文化(フランスの映画や歌)や、フランス人の一日の行動等も含め、よ 授業の概要 を学んでいく。文法的に、少し難しく思えても、フランス人が日常会話の ので、毎回の授業の中で繰り返すことで、習得していけるので、継続した				話の中で、	使ってい	る表現な			
1. フランス語演習 に引き続き、現実のコミュニケーションの場で体験するテーマに沿ったんでいく 授業の到達目標 2. 特にフランス語演習 Iでは、話すためのきく能力、フランス語を理解できる力を受講生くことを目指していく 3. アクティヴラーニングの実施を目指す									
授業計画	Ī						担当者		
第1回	フランス	人の食事について考	誇いてみる				杉山		
第2回	数量表現	(フランス語で独特	寺な表現方法を知る)			杉山		
第3回	紹介する	(フランス語で友達	達・家族等)				杉山		
第4回	一日を語	る(フランス語動詞	同の代名動詞を使う)			杉山		
第5回	頼む・命	令する(フランス語	唇にある3つの命令	法の会話での使いた	分けを知る	,)	杉山		
第6回	未来のこと	とを語る(前期での近	接未来との言い方の	違いにより、語尾活用	用の未来形	を知る)	杉山		
第7回	過去のこ	とを語る (過	過去に完了した行為	の表現を複合過去が	ぃら学ぶ)		杉山		
第8回	過去のこ	とを語るII (過	過去の状態や習慣を	半過去の表現から学	ર્વ-ડેઃ)		杉山		
第9回	関係代名	詞を使った言い方を	と学び、フランス語	表現での会話力を増	当す		杉山		
第10回	強調構文や	や対立構文を学ぶ(買	い物等で、どちらに	するか迷った時に使え	える会話文	となる)	杉山		
第11回	比較級を	学ぶ(買い物や、人	、物比較等で、使え	るフランス語表現の)比較級を	:知る)	杉山		
第12回	最上級を	学ぶ(フランス語会詞	舌表現の中で「もっ。	とも。。。だ。」とい	ヽった表現	を学ぶ)	杉山		
第13回	受け身表現	現・ジェロンディフ <i>0</i>	の表現を学び、フラン	ノス語表現の同時性・	対立・条	件を学ぶ	杉山		
第14回	仮定表現?	を学ぶ(現実に不可能	能な願望を仮定する	 表現方法がフランス語	唇にあるの	を知る)	杉山		
第15回	感情を表	現する(感情・願望	型・義務等のフラン	ス独特の表現方法を	と学ぶ)		杉山		
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討	グループワーク	プレゼンテーション・発表		険・実技)・ ·ドワーク		2の活動 育等を含む	
	0								
	担当教員の実務経験と授業の関連								
事前学習		意味のわからない用語は辞書等で調べておくこと。 学習合計				時間(h)	3 0 時間		
事後学習 ホテストでロールプレイ等をして復習する。				学習合計	学習合計時間(h) 30時				

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合、毎回チェックのうえ返却し、求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	月曜日 14:30~14:40、16:10~16:20 講義室(本館308号室)
テキスト	『パリのクール・ジャパン』 藤田裕二 朝日出版社 2018年 2500円 (ISBN:978-4-255- 35211-4)
参考文献等	辞書の説明など、講義の中で説明していく。
成績評価基準	話すためのきく能力を習得し、フランス語で会話ができること。
成績評価の方法	各講義中の毎回の小テスト(50%)、授業中の平常点(50%)での総合評価
GPA基準	
備考	

科目名		中国語演習Ⅱ		科目ナンバー				
担当者		黒川 太郎		111111111111111111111111111111111111111				
授業形式	<u>.</u>	演習		関連するDPの番号	2			
配当年次	-	1		科目群	一般教養	新日		
開講期		後期		卒業の選択・必修				
単位数				<u> </u>				
免許・資	松佳起			担当形態	半烛			
光叶:貝	【竹用取) - +/ 1/ -	<u> </u>	×1. ±	
授業の概	要	学び、引き続き正確 表現を中心に教える	優修者が受講する科目 選な発音練習を授業内 らと同時に配布資料を □国語母語者を相手に	oで行います。また、 通じて新たな語彙の	日常生活)習得を目	や旅行で行 指します。	设立つよう この授	な簡単な 業の終わ
授業の到	達目標	1. 本文を正確に読2. 基本的な文型を	もむことできる。 と使った表現ができる 厚な単語を覚え、正確					
授業計画	Ī						担	当者
第1回	前期の復	習(1課~10課)					黒川	
第2回	第11課	必要(1)語気助詞	詞「了」 「みかん	を買いたいです」			黒川	
第3回	第12課	必要(2)主述述記	語文 「セーター	を買いたいです」			黒川	
第4回	第13課	必要(3)能願助記	詞「会」 「乗り換	えが必要です」			黒川	
第5回	旅行時の	会話表現					黒川	
第6回	第14課	必要(4)兼語文	「両替に行きたいて	ゔす」			黒川	
第7回	第15課	必要(5)「是」	文 「写真を撮りた	いです」			黒川	
第8回	復習第11	課~第15課					黒川	
第9回	第16課	約束(1)動態助詞	詞「?」 「京劇をり	見たことがあります	か亅		黒川	
第10回	第17課	約束(2)選択疑問	問文 「動物園に行	きます」			黒川	
第11回	買い物で	の表現、お金の言い	^方				黒川	
第12回	第18課	迎える(1)文型	「要~了」 「道中	お疲れさまでした」			黒川	
第13回	第19課	迎える(2)動量補	浦語 「歓迎いたし	ます」			黒川	
第14回	第20課	程度補語 「私たっ	ちの友情のために乾	杯」			黒川	
第15回	復習第16	i課~第20課					黒川	
授業に含る	まれる活動	『ィスカッション・討	グループワーク	プレゼンテーション・発表		験・実技)・ ・ドワーク		也の活動 育等を含む
担当教員の								
事前学習		教科書付属のCD を聞いて声調等の発音を身につける 学習合計師				時間(h)	3 0 時間	
事後学習 教科書の本文とローマ字ピンインを書き写し、覚える 学習合計時間(h)				—— 時間(h)	3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	希望があれば個別に対応する。また、授業内で言及する場合もある。
質問・相談方法	オフィスアワー内で対応。
オフィスアワー	水曜日 10:35~12:05 研究室(西館307号室)
テキスト	『新訳第3版 中国語会話301(上)』 康玉華・来思平 語文研究社 2006年 1300円(税抜き) (ISBN-10: 493131550X)
参考文献等	特になし
成績評価基準	教科書内の文章を正確に読むことできる。基本的な文型を応用した表現ができる。
成績評価の方法	定期試験(50%)、受講態度を総合的に評価(30%)、授業内で行う会話試験(20%)
GPA基準	
備考	

科目名		韓国語演習Ⅱ		科目ナンバー					
担当者		李 賢雄							
授業形式	<u>`</u>	演習		関連するDPの番号 ②					
配当年次	7	1		科目群	一般教養	養科目			
開講期		後期		卒業の選択・必修	選択必修				
単位数		2		担当形態	クラスタ	分け			
免許・資	格情報								
韓国語演習 に引き続き、より発展した表現を学習し会話能力を高めていく。各課の: 授業の概要 文法を説明した後、音読練習、作文練習、対話練習をする。授業の最後に目標会話を暗った。 ホテスト時間を設けることにより学習内容を授業時にしっかり身につけることを目指す。					会話を暗記				
1. 韓国語の基礎文法を応用することができる。 授業の到達目標 2. 日常会話のより発展した表現を話すことができる。 3. 会話練習を通じてコミュニケーション能力を高めることができる。									
授業計画	Ī						担	当者	
第1回	習慣につ	いて尋ねる(動詞編	[1/文法]				李(イ)		
第2回	習慣につ	いて尋ねる(動詞編	幕2/応用)				李(イ)		
第3回	予定につ	いて尋ねる(動詞編	[3/文法]				李(イ)		
第4回	予定につ	いて尋ねる(動詞編	幕4/応用)				李(イ)		
第5回	時間を表	す (固有数字)					李(イ)		
第6回	位置を表	す(方向)					李(イ)		
第7回	過去の行	動について表す(動	カ詞の過去形1/文	法)			李(イ)		
第8回	過去の行	動について表す(動	カ詞の過去形2/応	(用)			李(イ)		
第9回	電話番号	を尋ねる					李(イ)		
第10回	状態や気	持ちを表す(形容詞	月編1)				李(イ)		
第11回	相手の気	持ちを尋ねる(形容	F詞編 2)				李(イ)		
第12回	不規則形	容詞と否定形(形容	Ŗ詞編3)				李(イ)		
第13回	過去に感	じたことについて表	表現(形容詞の過去	形1/文法)			李(イ)		
第14回	過去に感	じたことについて表	表現(形容詞の過去	形2/応用)			李(イ)		
第15回	過去に感	じたことについて表	長現(形容詞の過去	形3/練習)			李(イ)		
授業に含む	まれる活動	ディスカッション・討		プレゼンテーション・発表		験・実技)・ ・ドワーク		2の活動 育等を含む	
			0						
担当教員の									
事前学習 テキストを事前に読んでおくこと。・各課に出てくる新しい単語や 用語は辞書等で調べておくこと。			時間(h)	3 0 時間					
事後学習 各課ごとに小テストを行うので復習をすること。 学習合計時間				時間(h)	3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	課題を果たした場合求めに応じて個別に指導、授業内で提出された課題の要点に触れる。						
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。						
オフィスアワー	曜日 14:30~14:40、16:10~16:20 講義室(本館306号室)						
テキスト	『これで話せる韓国語STEP1』 入佐信宏・金孝珍 共著 白帝社 2015年 2,300円(税抜き) (ISBN:978-4-86398-181-2C3087)						
参考文献等	『改訂版ハングル能力検定試験5級合格をめざして』 李昌烈著 白帝社 2012年 (ISBN:978- 4-89174-812-8)						
成績評価基準	自分や家族の名前、物事の特徴や好き嫌いなどの私的な話題、日課や予定、食べ物などの身近なことについて表現することができたものは合格とする。						
成績評価の方法	定期試験(50%)、小テスト(30%)、課題(20%)						
GPA基準							
備考	「韓国語演習I」の単位を修得しておくことが望ましい。						

科目名		韓国語演習Ⅱ		科目ナンバー				
担当者		等 美 美		14 E J J / N				
授業形式	<u> </u>	演習		関連するDPの番号	(2)			
配当年次	-	1			_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
開講期		<u>+</u> 後期		科目群一般教養科目卒業の選択・必修選択必修				
単位数		2		世当形態	選が必じ			
免許・資	北夕桂却			担ヨル悠	9 7 8 9	D. ()		
光計・貝	【俗用靴							
韓国語演習 に引き続き、より発展した表現を学習し会話能力を高めていく。各課の本文の 授業の概要 文法を説明した後、音読練習、作文練習、対話練習をする。授業の最後に目標会話を暗記し発 小テスト時間を設けることにより学習内容を授業時にしっかり身につけることを目指す。								
1. 韓国語の基礎文法を応用することができる。 授業の到達目標 2. 日常会話のより発展した表現を話すことができる。 3. 会話練習を通じてコミュニケーション能力を高めることができる。								
授業計画	Ī						担当者	
第1回	習慣につ	いて尋ねる(動詞網	編1/文法)				姜	
第2回	習慣につ	いて尋ねる(動詞線	編2/応用)				姜	
第3回	予定につ	いて尋ねる(動詞約	編3/文法)				姜	
第4回	予定につ	いて尋ねる(動詞網	編4/応用)				姜	
第5回	時間を表	す(固有数字)					姜	
第6回	位置を表	:す (方向)					姜	
第7回	過去の行	動について表す(動	動詞の過去形1/文	法)			姜	
第8回	過去の行	動について表す(動	動詞の過去形2/応	用)			姜	
第9回	電話番号	を尋ねる					姜	
第10回	状態や気	持ちを表す(形容詞	詞編 1)				姜	
第11回	相手の気	持ちを尋ねる(形容	容詞編2)				姜	
第12回	不規則形	容詞と否定形(形名	容詞編3)				姜	
第13回	過去に感	じたことについて	表現(形容詞の過去	·形 1 / 文法)			姜	
第14回	過去に感	じたことについて	表現(形容詞の過去	形 2 /応用)			姜	
第15回	過去に感	じたことについて	表現(形容詞の過去	形3/練習)			姜	
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討		プレゼンテーション・発表		験・実技)・ ・ドワーク		也の活動 育等を含む
担当教員の実務経験 と授業の関連								
事前学習		テキストを事前に読んでおくこと。・各課に出てくる新しい単語や 用語は辞書等で調べておくこと。 学習合計時				時間(h)	3 0 時間	
事後学習 5回おきに小テストを行うので復習をすること。 学習合計時間(h)				時間(h)	3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	課題を果たした場合求めに応じて個別に指導、授業内で提出された課題の要点に触れる。						
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。						
オフィスアワー	曜日 14:30~14:40、16:10~16:20 講義室(本館307号室)						
テキスト	『これで話せる韓国語STEP1』 入佐信宏・金孝珍 共著 白帝社 2015年 2,300円(税抜き) (ISBN:978-4-86398-181-2C3087)						
参考文献等	『改訂版ハングル能力検定試験5級合格をめざして』 李昌烈著 白帝社 2012年 (ISBN:978-4-89174-812-8)						
成績評価基準	自分や家族の名前、物事の特徴や好き嫌いなどの私的な話題、日課や予定、食べ物などの身近なことについて表現することができたものは合格とする。						
成績評価の方法	定期試験(50%)、小テスト(30%)、課題(20%)						
GPA基準							
備考	「韓国語演習I」の単位を修得しておくことが望ましい。						

					-				
科目名		日本語演習Ⅱ		科目ナンバー					
担当者		村本 茜							
授業形式	<u>.</u>	演習		関連するDPの番号	2				
配当年次	,	1		科目群	一般教養	科目			
開講期		後期		卒業の選択・必修	選択必修				
単位数		2		担当形態	単独				
免許・資	格情報								
授業の概	この授業では、前期の「日本語演習 I 」で勉強した文型よりも、少し難しい文 授業の概要 1 レベルの文型もたくさん勉強します。また、それぞれの学科で必要な語いに分 漢字もさらにたくさん読めるようにします。						· -		
授業の到	1. N1~N2レベルの日本語の文型をさらに勉強し、使えるようになる 授業の到達目標 2. 短期大学の授業で使われる語いをさらにおぼえ、理解できるようになる 3. 読める漢字の量をさらにふやす								
授業計画	Ī						担当者		
第1回	夏休みに	したことについて、	発表します				村本		
第2回	例示 文	型:~といった・~	~にせよ~にせよ・	~であれ~であれ	語いと	漢字①	村本		
第3回	程度の強	調 文型:~てこそ	そ・~までして・~	すら・~極まる 語	吾いと漢字	12	村本		
第4回	話題 文	型:~といえば・~	~といったら・~の	こととなると 語い	、と漢字③)	村本		
第5回	逆接・譲	歩 文型:~つつも	・~にもかかわらず	・~にせよ・~とはぃ	ヽえ 語い	と漢字④	村本		
第6回	原因・理	由 文型:~ものだ	ごから・~ばかりに	・~につき 語いと	:漢字⑤		村本		
第7回	仮定条件·	確定条件 文型:~5	ないことには・~ない	かぎり・~なくして((は) 語い	と漢字⑥	村本		
第8回	中間テス	F					村本		
第9回	逆接仮定象	条件 文型:~にしてす	も・~にせよ・~であ	ろうと・~ようが~ま	いが 語い	と漢字⑦	村本		
第10回	不可能・可	「能・困難・容易 文型	: ~がたい・~かねる	・~にたえる・~にたえ	えない 語し	、と漢字⑧	村本		
第11回	傾向・状態	態・様子 文型:~~	っぽい・~気味・~き	きらいがある・~まみ	なれ 語い	と漢字⑨	村本		
第12回	経過・結	末 文型:~あげく	(・~末 (に)・~	に至って(は) 語	吾いと漢字	10	村本		
第13回	否定・部	分否定 文型:~3	ことなく・~ことな	しに・~までもなく	:語いと	漢字⑪	村本		
第14回	伝聞・推	量 文型:~という	うことだ・~とのこ	とだ・~とか 語し	、と漢字⑫)	村本		
第15回	日本の映	画を見て「日本文化	と」について考えま	す			村本		
授業に含ま	まれる活動	- トイスカッション・討計 グルーフリーク アレゼンテーション·発表					色の活動 育等を含む		
担当教員のと授業の関									
事前学習 勉強した表現を、ほかの授業でたくさん使って		 使ってください		学習合計		3 0 時間			
事後学習	事後学習 授業で教わったことを、その日に家でもう一度勉強してください 学習合計時				時間(h)	3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	中間テストなどで確認します
質問・相談方法	何かあれば、授業中や授業の前後に相談・質問してください
オフィスアワー	
テキスト	特になし(プリントを配ります)
参考文献等	『改訂版 どんなときどう使う 日本語表現文型500』 友松悦子ほか 株式会社アルク 2013年 2500円 (ISBN: 978-4757418905)
成績評価基準	勉強した文型や語いが使えるようになったかどうかを評価の基準にします
成績評価の方法	授業態度(20%)、 中間テスト(40%)、 課題レポート(40%)
GPA基準	
備考	受講対象者 留学生のみ

		Sign Strate or		·				
科目名		数学基礎		科目ナンバー				
担当者		内田 豊海						
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次		1		科目群	一般教養	科目		
開講期		前期・後期		卒業の選択・必修	選択			
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報							
数学は、昔から様々な文化で多くの人々が創造してきた知の体系です。本講義では、多様を取り扱い、問題解決を通して、「数学すること」の楽しさを実感することを目的としていまた、先人の知に触れることで、文化としての数学を継承するとともに、数学的な考え方の体験し、自ら創意工夫し、問題解決を試みようという態度を培っていきます。					います。			
1. 数学的活動の楽しさを知り、問題解決をしようとする態度を培う 授業の到達目標 2. 数学の有用性を認識する 3. 習得した技能を日常に応用することができる								
授業計画	Ī						担	当者
第1回	数の歴史	いろいろな文化に	ある様々な数学				内田	
第2回	不思議な	数のパターン					内田	
第3回	微分と積	分 イメージすると	:計算できる				内田	
第4回	迷路 出	口を見つけるために	こはどうしたらいい	だろう			内田	
第5回	グラフを	読む 鹿児島の人口	1変動を探ろう				内田	
第6回	数値を読	み解く オリンピッ	, ク選手を選んでみ	よう			内田	
第7回	タングラ	ム 図形を組み合わ	つせてみると				内田	
第8回	面積 一	つの知識でどれだけ	けのことが考えられ	るか			内田	
第9回	確率 好	きな人の隣に座れる	6確率は				内田	
第10回	フィボナ	ッチ数 美しいデサ	ザインの中にある秘	 密			内田	
		数を選ぶことで、自					内田	
第12回	関数 変	化する先の予測					内田	
第13回	証明 ど	うしたら人に説明で	ごきるだろう				内田	
第14回	ベクトル	力を図示するとれ	つかること				内田	
第15回	不完全性	 定理 数学はどこま	で正しいのだろう	か			内田	
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討	グループワーク	プレゼンテーション・発表		険・実技)・ √ドワーク		也の活動 育等を含む
			\circ				(0
担当教員の								
事前学習 単元に関する高校までの既習事項を確認する 学習合計時間			 時間(h)	3 0 時間				
事後学習 授業内容に即した発展的問題を課題として提示する 学習合計時間(ト				時間(h)	3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	提出された課題の添削および返却
質問・相談方法	授業後およびオフィスアワーに直接尋ねる
オフィスアワー	月曜日 13:00~16:00 研究室(西館412号室)
テキスト	特になし
参考文献等	『偏愛的数学 驚異の数』 ポザマンティエ著 岩波書店 2200円 (ISBN:978-4000059817)
成績評価基準	各単元の数学的知識の理解および問題解決力の有無
成績評価の方法	定期試験(70%) 授業態度(30%)
GPA基準	
備考	

科目名		理科基礎		科目ナンバー					
担当者		内田・豊海							
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	1				
配当年次		1		科目群	一般教養科目				
開講期		前期・後期		卒業の選択・必修		\$117 III			
単位数		2		担当形態	単独				
免許・資	格情報			三三ル忠	+111				
7011 9	AT HI DI	<u>I</u>							
授業の概	要	出発して、その?を解 ことを目標としていま 果として、たくさんの	身近なものや出来事でも、よく考えてみると、不思議なことばかり。この授業では、様々な「なぜ?」から 出発して、その?を解き明かすことで、科学の楽しさを実感するとともに、科学的な考え方も身につけていく ことを目標としています。取り扱う内容は、広い科学の分野から、できるだけ多くの単元を選出しており、結 果として、たくさんのことに興味・関心をもち、最終的には、自分で科学についてももっと知りたい、考えた いと思えるような授業構成にしてあります。						
1. 理科・科学の楽しさを実感する 授業の到達目標 2. 様々なものごとに、興味関心をもつ視点を養う 3. 疑問や問題に、自分なりの考えをもてる科学的思考力を習得する									
授業計画	Ī						担当者		
第1回	ロウソク	の観察を通し、科学	学的な考え方を知ろ	う			内田		
第2回	五感で感	じられることは何?	? 視覚・聴覚・触	覚			内田		
第3回	五感で感	じられることは何?	? 嗅覚・味覚				内田		
第4回	最先端の	科学事情 今科学で	でできること				内田		
第5回	宇宙の誕	生と今、そして未来	K				内田		
第6回	星座物語	と地球誕生					内田		
第7回	生物 そ	の進化と多様性					内田		
第8回	遺伝する	もの、しないもの					内田		
第9回	病気って	なんだろう?					内田		
第10回	燃えるも	の、燃えないもの					内田		
第11回	化学反応	式はすごい こんた	なことまで説明でき	る			内田		
第12回	電化製品	はどんな仕組み?	イヤホンを作って	みよう			内田		
第13回	炎色反応	金属を使って花り	火を作ろう				内田		
第14回	時間の流	れは同じではない?	? 相対性理論と量子	力学			内田		
第15回 科学的ってなんだろう? 科学と疑似科学 内E				内田					
授業に含まれる活動		ディスカッション・討詞		プレゼンテーション・発表		験・実技)・ ѵドワーク	※ICT教	也の活動 育等を含む	
			0					0	
担当教員の									
事前学習 日常で不思議に思ったことをメモし、自分なりにその答えを考えるとともに、授業の前後で教員と話をしながら、その背景を探る			学習合計時間(h) 3 0 時		3 0 時間				
事後学習 学習した内容を現実世界と即しながら再確認する 学習合計時間(h)				時間(h)	3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	講義において教室全体に対してのコメントとしてフィードバックしていく
質問・相談方法	授業後およびオフィスアワーに直接尋ねる
オフィスアワー	月曜日 13:00~16:00 研究室(西館412号室)
テキスト	特になし 授業中に適宜資料を配布する
参考文献等	科学雑誌『ニュートン』
成績評価基準	基礎的な知識だけでなく、科学的思考力の定着度合い、さらに理科への興味関心の具合を基準とする
成績評価の方法	定期試験(70%) 授業態度(30%)
GPA基準	
備考	

科目名		分子からみた生物 科目ナンバー						
担当者		横峯 孝昭						
授業形式	,	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	,	1		科目群	一般教養	科目		
開講期	開講期 前期・後期 卒業の選択・必修選択							
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報				•			
授業の概	生物とは何か、このことについて一般常識としての生物と、最近の生物に関す び、自分のこととして考えられる教養を身につける。					≒る知見に	ついて学	
授業の到	1. 生物について基礎的な知識を習得する 2. 最近の生物における知見を学ぶ							
授業計画	l						担	当者
第1回	オリエン	テーション					横峯	
第2回	生物と細	胞					横峯	
第3回	生物の体	を作っているもの	(異化)				横峯	
第4回	生物の体	を作っているもの	(同化)				横峯	
第5回	細胞の増	え方、精子と卵ので	でき方				横峯	
第6回	メンデル	の遺伝(優性の法則	川、分離の法則につ	ついて)			横峯	
第7回	血液型で	遺伝を知ろう					横峯	
第8回	男の子、	女の子の生まれる確	[率(伴性遺伝)				横峯	
第9回	遺伝疾患	の分類					横峯	
第10回	クローン	動物					横峯	
第11回	臓器移植						横峯	
第12回	生物の進	化と地球環境①(生	三命の誕生)				横峯	
第13回	生物の進	化と地球環境②(全	全球凍結と生命)				横峯	
第14回	生命の進	化と地球環境③(大	(海からの離脱)				横峯	
第15回	第15回 生物の進化と地球環境④(大量絶滅) 横峯							
授業に含ま	授業に含まれる活動 「イスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 フィールドワーク			その他の活動 ※ICT教育等を含む				
世当教員の実務経験 と授業の関連								
事前学習	事前学習 小・中の頃に勉強した関連の内容について復習しておく 学習合計				3 0 時間			
事後学習 自ら作成した板書ノートを読み直し、次の講義へ備える 学習合計時間(h)				3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	課題に対しては求めに応じて個別に対応する
質問・相談方法	講義の前後、オフィスアワーで対応する
オフィスアワー	月曜日 16:30~18:00 研究室(西館401号室)
テキスト	特になし
参考文献等	『休みの時間の生物学』 朝倉幹晴 講談社サイエンティフィック 2376円 (ISBN:978-4061557017)
成績評価基準	本講義内において紹介・説明した生物学の一般常識を理解し、自分の言葉で説明できること
成績評価の方法	定期試験(100%)
GPA基準	
備考	

					•			
科目名		人間と環境		科目ナンバー				
担当者 岩切 朋彦								
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	7	1		科目群	一般教養	養科目		
開講期		前期・後期		卒業の選択・必修	選択			
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報			•	ı			
人間は、地球上のあらゆる場所にいます。長い歴史の中で、様々な自然環境に適応してきたの その適応は、牙を伸ばしたり毛を増やしたりといった身体的変化ではなく、自然環境に合わせて 境・技術環境・精神的環境を生み出すことによって行われてきました。人類学の一領域である環 人間と環境とのこうしたかかわりについて、多角的な視点から研究を行ってきた学問です。この 境人類学の基本的な理論を通して、人間と環境の様々な相互関係について概説していきます。					合わせて独 である環境 <i>。</i> す。この講	自の社会環 人類学は、		
授業の到	達目標	2. 人間と環境の複	基本的な理論について 夏雑な相互関係につい な環境について、学/		引すること	ができる		
授業計画	Ī						担	当者
第1回	文化人類	学と環境人類学に原	居ついてーイントロ	ダクションとして			岩切	
第2回	人間は「	文化」によって環境	竟に適応する一人間	と環境との生態学的	勺関係		岩切	
第3回	飢えない	ために人間が編みと	出してきたこと-環	境と生業経済			岩切	
第4回	住居も「	道具」のひとつでは	ある一諸民族の住居	と自然環境への適応	5		岩切	
第5回	人間は「	進化」しているのか	かー文化生態学と多	·系進化論			岩切	
第6回	環境は言	語によって創造され	れる一民族生態学と	タクソノミー研究			岩切	
第7回	シンボル	によって織りなされ	れた豊かな環境観ー	構造主義と「野生の	D思考」		岩切	
第8回	宗教は生	態系に影響を与える	るーホメオスタシス	としての儀礼			岩切	
第9回	文化によ	ってモノはさまざる	まな意味をおびる-	モノの意味と交換			岩切	
第10回	国家もま	た「環境」のひとつ	つであるー複合社会	の生態学			岩切	
第11回	金属は役	には立つが悩みも多	多い一鉱物開発に伴	4う種々の問題			岩切	
第12回	Г3.11]	以降の日本と原子力	力発電ーハザードと	リスク			岩切	
第13回	「人口爆	発」と環境破壊ー均	也球人口の増加と環	境への影響			岩切	
第14回	環境破壊	によって生み出され	れる新たな病ー環境	と健康			岩切	
第15回	第15回 グローバル化時代における人間と環境ーまとめとして			岩切				
				その代	也の活動			
授業に含る	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 フィールドワーク 受業に含まれる活動		※ICT教	育等を含む				
担当教員の								
事前学習 テレビや新聞、インターネットなどで、環境問題についてのニュー 学習合計時間(h)			時間(h)	3 0 時間				
その日の授業で学んだ内容について、自分の生活環境と関連付けな がら考え、復習すること。 学習合計時間(h)			3 0 時間					

課題に対する フィードバックの 方法	感想シートによる理解度チェックを行う
質問・相談方法	授業中の質問、研究室(西館407)での対応
オフィスアワー	金曜日 10:50~12:20 研究室(西館407号室)
テキスト	特になし(プリント配布)
参考文献等	『環境人類学を学ぶ人のために』パトリシア・K・タウンゼンド著 世界思想社 2004年 1870円 (税込) (ISBN-13: 978-4790710363) 『最新研究で読む地球環境と人類史』石弘之著 洋泉社 2016年 2420円(税込) (ISBN-13: 978-4800310002)
成績評価基準	①理論の理解度 ②人間と環境を巡る問題に対して自らの意見を言えるかどうか ③受講態度
成績評価の方法	定期試験 (80%) 受講態度 (20%)
GPA基準	
備考	

専 門 科 目

生活福祉専攻

科目名	日名 人間の尊厳と自立 科目ナンバー S11201								
担当者		久留須 直也		111177	011201				
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	(1)				
配当年次		1		科目群)	[人間と	:社会]		
開講期	•	後期		卒業の選択・必修	必修				
単位数		2		担当形態	単独				
免許・資	格情報	必修:介護福祉士			•				
授業の概要		「人間」の理解を基礎として、人間の尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について 理解し、介護場面における倫理的課題について対応できるための基礎となる能力を養うことを目標 とする。このために、本講義では「人間の尊厳と自立」に焦点をあて、介護における尊厳の保持・ 自立支援の在り方について理解を深める。							
授業の到	達目標	2. 介護における尊	:何か、人権宣言等を :厳の保持・自律支援 :える権利擁護制度を	の在り方を理解する	ò				
授業計画	Ī						担当者		
第1回	人間の尊	遠厳と利用者主体に	ついて学ぶ				久留須		
第2回	人権思想	の潮流とその具現	化について学ぶ				久留須		
第3回	人権や尊	遠に関する日本の	諸規定について学	-Si			久留須		
第4回	社会福祉	:領域での人権・福	祉理念の変遷につ	いて学ぶ			久留須		
第5回	戦後の新た	な福祉のあり方への模	索について学ぶ(世界	人権宣言・貧困・ノー	・マライゼー	ション)	久留須		
第6回	戦後の新	fたな福祉のあり方	への模索について	学ぶ(QOL・生命	倫理)		久留須		
第7回	人権尊重	立と権利擁護につい	て学ぶ(利用者の	人権と生活・利用	者の権利	侵害)	久留須		
第8回	人権尊重	立と権利擁護につい	て学ぶ(権利侵害	の背景・権利擁護	の視点)		久留須		
第9回	人間の尊	- ・厳と自立に関する	DVD視聴				久留須		
第10回	人間の尊	正厳と自立に関する	DVD視聴の振り返	Ŋ			久留須		
第11回	自立の概	そのでである。	する人々の自立支	援について学ぶ			久留須		
第12回	自立支援	が目指すもの、自	立への意欲と動機	付け、自立と依存	と選択に	ついて学、	久留須		
第13回	自立支援。	とICF、介護を必要と	する人の尊厳の保持	と自立、自立支援の関	関係性につ	いて学ぶ	久留須		
第14回	人間の尊		演習(KJ法を使っ	てまとめる)			久留須		
第15回	人間の尊	正厳と自立に関する	演習(KJ法を使っ	てプレゼンテーシ	ョンを行	う。)	久留須		
授業に含ま	まれる活動		グループワーク	プレゼンテーション・発表		険·実技)・ ·ドワーク		の活動 育等を含む	
		0	0	0					
担当教員の実務経験 と授業の関連 医療機関における医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)及び介護支援専門員としての実務 活かし、人間の尊厳や自立、権利擁護について教授する。				務経験を					
事前学習		次回の授業内容について,教科書等を熟読し、分からない用語は辞 書等で調べておく。					3 0 時間		
学習内容の復習をする中で、分からない箇所はテキストや授業資料 事後学習 を見直し、自主学習を行う。 学習合計 自主学習で不明な点があれば担当教員へ質問をする。			·時間(h) 3 0 時間						

課題に対するフィー ドバックの方法	授業終了前に学生コメント用紙を配布し,課題等の回答を促し、次回の授業で回答する。
質問・相談方法	授業中での質問時間を設定する。また気軽に質問し易いように、毎回配布する学生コメント用紙に 質問事項を自由に記入させ、コメントを添えて次回の授業時に返却する。
オフィスアワー	水曜日 13:10~14:40 久留須研究室(西館314号室)
テキスト	「最新・介護福祉士養成講座」 1 人間の理解 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2,200円(税別) ISBN 978-4-8058-5761-8 「介護用語辞典」 中央法規出版編集部編 中央法規出版 2018年 2,600円(税別) ISBN 978-4-8058-5094-7
参考文献等	特になし
成績評価基準	到達目標に掲げた項目を理解すること。
成績評価の方法	授業への参加態度(20%)とレポート1回(40%)とプレゼンテーション1回(40%)で総合的に評価する。
GPA基準	
備考	単位互換[KRICE]提供科目 ※介護職員初任者研修読み替え可能科目

科目名		社会学概論 科目ナンバー S11102						
担当者		倉重 加代						
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	配当年次 1 科目群 専門科目 [人間と			上社会]				
開講期		前期		卒業の選択・必修				
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:介護福祉士						
介護福祉士にとって必要 が理解できるようになるた 機能と役割について学ぶ。 該分野の理念や歴史等につ			なるために、生活の学ぶ。さらに、地域	の機能やライフスタ 或共生社会の実現に	イルの変化 向けた制度	ヒ、家族ヤ 度や施策σ	P組織、地)理解のた	域社会の
1. 生活の機能やライフスタイルの変化について理解する 授業の到達目標 2. 生活にかかわる家族や地域社会の機能と役割について理解する 3. 地域共生社会の実現に向けた制度や施策を理解する								
授業計画	j						担	当者
第1回	生活とは	(1)「生活」を捉え	る視点を学ぶ				倉重	
第2回	生活とは	(2)生活を捉える学	党説を理解する				倉重	
第3回	生活の基	本機能について理	解する				倉重	
第4回	家族の機	能と役割について	理解する				倉重	
第5回	家族の機	能の変化を学ぶ					倉重	
第6回	ライフス	タイルの変化を学	ιζ ϊ				倉重	
第7回	家族の機	能や人々のライフ	スタイルについて	議論し、発表する	1		倉重	
第8回	社会・組	1織の機能と役割に	ついて理解する				倉重	
第9回	地域・地	は域社会の概念や変	化、役割について	学ぶ			倉重	
第10回	地域社会	ミにおける生活支援	組織を学ぶ				倉重	
第11回	地域福祉	の理念や歴史的展	開について理解す	· る			倉重	
第12回	災害と地	対社会について学	~Šĩ				倉重	
第13回	地域共生	社会を目指す背景	や理念、取り組み	について学ぶ			倉重	
		ケアについて理解					倉重	
		·····································	<u> </u>				倉重	
授業に含む	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・ 受業に含まれる活動 フィールドワーク				1の活動 育等を含む			
		0		0				
	担当教員の実務経験と授業の関連							
事前学習 新聞を読んだりニュースを見たりして、世の中の出来事を知る 学習合計時間(h)			時間(h)	3 0 時間				
事後学習 定期試験のために授業内容の復習をしておく 学習合計時間(h)				3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	火曜日 16:30~18:30 研究室(西館312号室)
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 社会の理解』 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2,200円(ISBN978-4-8058-5762-5)
参考文献等	総務省統計局ホームページ ほか授業中に紹介
成績評価基準	到達目標1.~3.に記載してある事項を理解していること。
成績評価の方法	期末試験(60%)、提出物(30%)、毎時間のコメントシート(10%)で評価する。
GPA基準	
備考	学内他学科・他専攻開放科目

科目名		社会と制度の理解		科目ナンバー	S11101			
担当者		久留須 直也						
授業形式	授業形式 講義 関連するDPの番号 ①							
配当年次	,	1		科目群		[人間と	:社会]	
開講期		前期		卒業の選択・必修				
単位数 免許・資	枚售報	2 必修:介護福祉士		担当形態 険実務士・医療秘	単独			
九川 貝								
授業の概	要	個人が自立した生 人間を捉える視点を すすめ、変化の大き 的知識を習得させる	養い、人間の生活とい介護保険制度と随		自助から公	助に至る道	過程につい	て理解を
授業の到	達目標	1. 介護保険制度の概要を理解する。 主目標 2. 障害者総合支援法の概要を理解する。 3. 介護保険制度及び障害者総合支援法と介護福祉士との関係性を理解する。						
授業計画	Ī						担	当者
第1回	高齢者保	保健福祉の動向につ	いて学ぶ				久留須	
第2回	高齢者保	保健福祉に関連する	法体系と介護保険	制度の創設につい	て学ぶ		久留須	
第3回	介護保険	制度の概要につい	て学ぶ				久留須	
第4回	介護保険	制度の利用の流れ	について学ぶ				久留須	
第5回	介護保険	制度のサービス内	容(在宅サービス)について学ぶ			久留須	
第6回	介護保険	制度のサービス内	容(施設サービス)について学ぶ			久留須	
第7回	地域支援	事業について学ぶ					久留須	
第8回	地域包括	デアシステムにつ	いて学ぶ				久留須	
第9回	介護保険	制度における組織	・団体と介護支援	専門員の役割につ	いて学ぶ		久留須	
第10回	障害者保	保健福祉の動向につ	いて学ぶ				久留須	
第11回	障害者保	健福祉に関連する	法体系について学	ĮŠ.			久留須	
第12回	障害者総	合支援制度創設の	背景や目的,自治	体の役割について	学ぶ		久留須	
第13回	自立支援	給付と地域生活支	援事業について学	J.S.			久留須	
第14回	障害者福		- 者負担や利用手続	きについて学ぶ			久留須	
第15回	協議会と	基幹相談支援セン	ター,相談支援事	業等について学ぶ	`		久留須	
		プレゼンテーション・発素	₹	験・実技)・ ・ドワーク		也の活動 育等を含む		
担当教員の実務経験 と授業の関連 医療機関における医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)及び介護支援専門員としての実務経験 活かし、介護保険法や障害者総合支援法について教授する。				務経験を				
事前学習		次回の授業内容につ 書等で調べておく。	•			学習合計	——— 時間(h)	3 0 時間
		学習内容の復習をす	る中で、分からなし)箇所はテキストや拍	受業資料			

学習合計時間(h)

3 0 時間

事後学習

を見直し、自主学習を行う。

自主学習で不明な点があれば担当教員へ質問をする。

課題に対するフィー ドバックの方法	授業終了前に学生コメント用紙を配布し,課題等の回答を促し、次回の授業で回答する。
質問・相談方法	授業中での質問時間を設定する。また気軽に質問し易いように、毎回配布する学生コメント用紙に 質問事項を自由に記入させ、コメントを添えて次回の授業時に返却する。
オフィスアワー	水曜日 13:10~14:40 久留須研究室(西館314号室)
テキスト	「最新・介護福祉士養成講座」 2 社会の理解 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2,200円(税別) ISBN 978-4-8058-5762-5 「介護用語辞典」 中央法規出版編集部編 中央法規出版 2018年 2,600円(税別) ISBN 978- 4-8058-5094-7
参考文献等	「ミネルヴァ社会福祉六法2021[令和3年版]」 ミネルヴァ書房 2021年 2,500円(税別) ISBN 978-4-623-09042-6
成績評価基準	到達目標に掲げた項目をおおよそ理解すること。
成績評価の方法	授業への参加態度(20%)と期末試験(80%)で総合的に評価する。
GPA基準	
備考	単位互換 [KRICE] 提供科目 ※介護職員初任者研修読み替え可能科目

科目名		レクリエーション	概論	科目ナンバー	S11103			
担当者 大村 一光								
授業形式	<u> </u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	7	1		科目群	専門科目	[人間と	:社会]	
開講期		前期		卒業の選択・必修				
単位数	- 1.5 1.5 1.5	1		担当形態	単独			
免許・資	格情報	選択必修:介護福	i祉士 (★6単位)	必修:レクリ	エーショ	ン・イン	ストラク	ター
授業の概要		レクリエーションに関する基礎理論や支援の方法などを学ぶことで、レクリエーションインストラクターとしての基本的な理論と実践力を獲得し、職場や地域社会の活動に対して積極的に取り組んでいけるようにする。						
1. レクリエーションインストラクターの理解 授業の到達目標 2. 基本的手法の理解と獲得をめざす 3. 福祉への応用力をつける								
授業計画	Ī						担	当者
第1回	楽しさを	通した心の元気づ	くりと対象者のテ	c気			大村	
第2回	心の元気と地域のきずな					大村		
第3回	コミュニ	ケーションと信頼	[関係づくり				大村	
第4回	信頼関係	らづくりの方法 (ホ	スピタリティ)				大村	
第5回	良好な集	[団づくりの理論					大村	
第6回	良好な集	[団づくりの方法((アイスブレーキン	/グ)			大村	
第7回	自主的、	主体的に楽しむ力を	を高める方法				大村	
第8回	安全管理	₹の方法					大村	
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回								
第15回								
授業に含まれる活動		ディスカッション・討	討: グループワーク プレゼンテーション·発表 実習(実験・実技)・ フィールドワーク				也の活動 育等を含む	
							(\circ
担当教員の実務経験と授業の関連								
事前学習 これまでの様々なボランティア活動等の整理を行う 学習合			学習合計	合計時間(h) 15時				
現場での実習として2年間で2回の活動を行い、支援力の認識を行 う 学習合計時間(h)				時間(h)	15時間			

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合、必要に応じて個別に対応する
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する
オフィスアワー	水曜日~金曜日 12:20~13:10 研究室(体育館101号室)
テキスト	特になし(毎回、自作資料を配布する)
参考文献等	『楽しさをとおした心の元気づくり』、日本レクリエーション協会、 2017年
成績評価基準	レクリエーションインストラクターの理解と基本的手法の理解と獲得
成績評価の方法	定期試験(70%)、 受講態度(30%)
GPA基準	
備考	

科目名		介護の基本		科目ナンバー	S11104			
担当者		一 温永 宏子		14 H J J / N —	311104	•		
担当有授業形式	<u>`</u>	講義		関連するDPの番号	1			
	•	画我 1				□ 「人 = #1		
配当年次	<u> </u>			科目群		[介護]		
開講期 前期 卒業の選択・必修 必修								
単位数								
免許・資	格情報	必修:介護福祉士	選択必修:グ	ト護保険実務士・国	医療秘 書	美務士		
1.「尊厳の保持」「自立支援」の介護の考え方を生活の視点から捉え、在宅や施設でよび生活環境を観察、考察することにより、他の専門科目を学ぶ上で基本的な知識する。 2.介護の考え方を具体的に実践することができるように、「その人らしさ」援」について考え、自分たちを取り巻く環境と、介護を必要とする人の生活について、、介護福祉職としての自覚や意識を持つことができるような講義とする。				な知識・社 らしさ」	見点を講義 「生活支			
授業の到]達目標	1. 介護の場面を生		し、考え理解することは何か説明すること				
授業計画						担	 当者	
第1回					福永			
第2回	介護の定	養について理解す	- -る				福永	
第3回	障害の特	障害の特性を理解する(障害の種類) 福永						
第4回	障害の特	号の特性を理解する(障害ごとの特徴) 福永						
第5回	障害者の)生活について学ぶ	(家族との生活)				福永	
第6回	障害者の		(自立と自律)				福永	
第7回	障害者の)生活について学ぶ	: (生活の質)				福永	
第8回	障害者の)生活の場について	学ぶ (地域での	の生活と施設での名	生活)		福永	
第9回	障害者の)生活の場について	「学ぶ(発達段階に	<u></u> こ合わせた生活)			福永	
第10回	障害者を	:取り巻く制度につ	 いて理解する	(ノーマライゼー:	ションと	共生社会)	福永	
第11回	障害者を	:取り巻く制度につ	いて学ぶ (障害	害者基本法)			福永	
第12回	障害者を	:取り巻く制度につ	いて学ぶ (障害				福永	
第13回	障害者制		いて学ぶ				福永	
第14回	障害者の	生活の実際につい	て理解を深める				福永	
第15回	障害者σ	生活の実際②につ	いて理解を深める	 3			福永	
授業に含ま	*** **					也の活動 育等を含む		
15,7(1) 1 5,7(1)		0 0					(\circ
担当教員の実務経験 介護福祉の現場での経験を活かして、介護の基本について教授する。								
事前学習 授業の予習(テキストを読む。わからない語句を調べておく) 学習名		学習合計	計時間(h) 30時間					
事後学習		学習内容を振り返り る・質問をする等で	振り返りをする。わからない部分については、調べ する等で理解する 学習合計時間(h) 3				3 0 時間	

課題に対する フィードバックの 方法	・前回の学習内容についての小テストの実施。 課題は、求めに応じて個別に対応する。				
質問・相談方法	授業中、オフィスアワーで対応する。				
オフィスアワー	K曜日 10:20~12:40 研修室				
テキスト	『最新介護福祉士養成講座 3 「介護の基本 I 」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年(ISBN 978-4-8058-5763-2) 2,200円 『最新介護福祉士養成講座 4 「介護の基本 II」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年(ISBN 978-4-8058-5764-9) 2,200円				
参考文献等	『七訂 介護福祉用語辞典』 中央法規出版編集部編集 中央法規 2015年(ISBN 978-4-8058-5094-7) 2,600円(税別)				
成績評価基準	介護福祉専門職としての役割・資質を理解すること。 介護の場面を生活の視点から理解すること。				
成績評価の方法	定期試験(80%)、小テストと課題(20%)で総合的に判定する。				
GPA基準					
備考	単位互換 [KRICE] 提供科目 ※介護職員初任者研修読み替え可能科目				

科目名		介護の基本Ⅱ	科目ナンバー	S11105		
担当者		福永 宏子				
授業形式	<u>`</u>	演習				
配当年次	7	1	科目群	専門科目 [介護]		
開講期		前期	卒業の選択・必何	肇必修		
単位数		1	担当形態	単独		
免許・資格情報 必修:介護福祉士 選択必修:介護保険実務士・医療秘書実務士			医療秘書実務士			
授業の概要 などの演習・ 2、介護福祉		1、介護福祉士が活動する介護サーなどの演習で体験するとことで、介 2、介護福祉士の役割と特徴についる社会的役割、専門職としての資質	護サービスの特性、 て、歴史的変遷も踏	活躍する場について	説明する。	
授業の到達目標 2. 介護福祉士の役割について理解できる。						
授業計画	授業計画				担当者	
第1回	第1回 本科の目的 介護福祉士の役割と求められる介護福祉士像について知る 福:				福永	
第2回	第2回 介護サービスと介護福祉士の働く場について理解する			福永		
第3回				福永		
第4回					福永	
第5回	学外研修	③(県内の施設の入所者との交流)			福永	
第6回	学外研修	の事後指導 高齢者の特性の理解	を深める		福永	
第7回	高齢者の)生活について学ぶ (自立と自律	<u>‡</u>)		福永	
第8回	高齢者の)生活について学ぶ(介護予防)			福永	
第9回	高齢者の)生活について学ぶ(生活の質)			福永	
第10回	高齢者の)生活の場について学ぶ(地域での	生活と施設での生	活)	福永	
第11回	高齢者を	:取り巻く制度について学ぶ(老人	、福祉法と介護保険	法)	福永	
第12回	高齢者の)介護サービスの特性を理解する((居宅サービス)		福永	
第13回	高齢者の)介護サービスの特性を理解する((施設サービス)		福永	
第14回	高齢者の)介護サービスの特性を理解する((地域密着型サービ	(ス)	福永	
第15回	高齢者の)生活の実際について理解を深める)		福永	
		». ¬	21.18 3.20	」 実習(実験・実技)・	その他の活動	
授業に含ま	まれる活動		プレゼンテーション·発 	オーフィールドワーク	※ICT教育等を含む	
担当教員の実務経験 介護福祉の実務経験を活かして、介護サービス及び特性について教授する。						
事前学習		·	・キストを読む.わからない語句を調べておく)。学 「修施設の概要、特徴、地域について調べておく 学習合計時間(h) 15년			
事後学習		学習内容の復習をする。わからないところは、調べる。質問をす る。レポートを2題課す 学習合計時間(h) 15 F				

課題に対する フィードバックの 方法	・前回の学習内容についての小テストの実施。・課題レポートについては、個別に対応する。
質問・相談方法	授業中、オフィスアワーで対応する。
オフィスアワー	水曜日 10:20~12:40 研修室
テキスト	『最新介護福祉士養成講座3「介護の基本Ⅰ」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年(ISBN 978-4-8058-5763-2) 2,200円 『最新介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年(ISBN 978-4-8058-5764-9) 2,200円
参考文献等	『七訂介護福祉用語辞典』 中央法規出版編集部編集 中央法規 2015年(ISBN 978-4-8058-5094-7) 2,600円
成績評価基準	・介護サービスの特性を理解している。 ・介護福祉士としての役割、特徴を理解している。
成績評価の方法	定期試験(70 %) 、小テストと課題・レポート(30%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	COC関連科目 ※介護職員初任者研修読み替え可能科目

科目名		社会福祉援助技術	科目ナンバー	S11216			
担当者		久留須 直也	<u> </u>	l			
授業形式	<u>.</u>	講義	関連するDPの番号	<u>(1)</u>			
配当年次	-	1	科目群	専門科目[介護]			
開講期		後期	卒業の選択・必修	選択			
単位数		2	担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:介護福祉士 選択必修(▲	4単位):ピアへ	ルパー			
授業の概要		社会福祉援助技術とは、現代社会における生活上に課題を抱えている人々(疾病、障害、高齢、ひとり親家庭、貧困等)のよりよく生きたいと願う個々のニーズを把握し、それぞれに合った生活スタイルを的確に選択でき、社会生活の場で解決し自立を促す福祉の専門家による援助方法のことである。この援助技術を習得し、実践に役立つ福祉の専門家を目指す。					
1. 福祉・援助についてのとらえ方及び自己覚知の意義を理解する。 2. 社会福祉援助技術の体系について理解する。 3. バイスティックの7原則について理解する。 4. ソーシャルワークの実際について理解する。							
授業計画	Ī				担当者		
第1回	社会福祉援助技術を学ぶにあたって(福祉とは何か、援助とは何かを学ぶ) 久留須						
第2回	社会福祉援助技術を学ぶにあたって(もう一つの福祉を学ぶ) 久留須						
第3回	自己覚知について理解する 久留須						
第4回	社会福祉	社会福祉援助技術の定義と体系について学ぶ 久留					
第5回	個別援助技術の沿革と定義について学ぶ 久留須						
第6回	バイステ	ィックの7原則について学ぶ			久留須		
第7回	個別援助	技術の展開過程(開始期)について	Ž:ぶ		久留須		
第8回	個別援助	技術の展開過程(展開期~終結期)に	こついて学ぶ		久留須		
第9回	関連援助	技術について学ぶ			久留須		
第10回	スーパー	ビジョンの機能と役割について学ぶ			久留須		
第11回	ソーシャ	ルワーク演習(話しやすい位置関係、	反応について学ぶ	")	久留須		
第12回	ソーシャ	ルワーク演習(相手に情報を伝える)	5法を学ぶ)		久留須		
第13回	ソーシャ	ルワーク演習(コミュニケーションを	ととる際の視点を学	<u> </u>	久留須		
第14回	ソーシャ	ルワーク演習(面接における基本的原	: な答技法を学ぶ)		久留須		
第15回	ソーシャ	ルワーク演習(ドメスティック・バィ	イオレンスに関する	事例)	久留須		
授業に含む	「イスカッション・討 ! グループワーク レ レゼンテーション・発剥					也の活動 育等を含む	
	担当教員の実務経験 医療機関における医療ソーシャルワーカー (社会福祉士) 及び介護支援専門員としての実務経験 と授業の関連 を活かし、具体的な社会福祉援助技術について教授する。				実務経験		
次回の授業内容について、教科書等を熟読し、分からない用語は辞 書等で調べておく。				3 0 時間			

学習合計時間(h)

3 0 時間

学習内容の復習をする中で、分からない箇所はテキストや授業資料

自主学習で不明な点があれば担当教員へ質問をする。

を見直し、自主学習を行う。

事後学習

課題に対する フィードバックの 方法	授業終了前に学生コメント用紙を配布し,課題等の回答を促し、次回の授業で回答する。
質問・相談方法	授業中での質問時間を設定する。また気軽に質問し易いように、毎回配布する学生コメント用紙 に質問事項を自由に記入させ、コメントを添えて次回の授業時に返却する。
オフィスアワー	水曜日 13:10~14:40 久留須研究室(西館314号室)
テキスト	特になし
参考文献等	「改訂 新しいソーシャルワークー社会福祉援助技術入門」 杉本敏夫・住友雄資編著 中央法 規出版 2006年 2,500円(税別) ISBN 978-4-8058-2718-5
成績評価基準	到達目標に掲げた項目をおおよそ理解すること。
成績評価の方法	授業への参加態度(20%),レポート(10%)と期末試験(70%)で総合的に評価する。
GPA基準	
備考	

科目名		コミュニケーション	ミュニケーションの基礎 科目ナンバー S13201					
担当者		宮里 新之介	, , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	11117	010201			
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	(3)			
配当年次	-	1			専門科目] 「介護]	護	
開講期	`	後期		卒業の選択・必修		. [// #2]		
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:介護福祉士	選択必修(▲	4単位):ピアヘル	ルパー			
本科目では、介護現場におけるコミュニケーションの知識・技術・態度 授業の概要 学ぶため、言語コミュニケーションや非言語コミュニケーション等、コ る講義を行う。								
1. コミュニケーションという概念について理解する 授業の到達目標 2. 利用者とのコミュニケーションの意義を理解する 3. 自分のコミュニケーションパターンを認識し分析できる								
授業計画	Ī						担:	 当者
第1回	コミュニ	-ケーションとは何:	か				宮里	
第2回	リレーシ	ョン作りについて					宮里	
第3回	自己開示	京派について 宮里						
第4回	言語コミ	ミュニケーション①(受容、繰返し、明確化) 宮里						
第5回	言語コミ	ミュニケーション②(支持、質問) 宮里						
第6回	非言語=	ミュニケーション(①(視線、表情な	: ど)			宮里	
第7回	非言語=	ミュニケーション(②(姿勢、動作な	: Ł")			宮里	
第8回	コミュニ	ケーション上の諸門	問題(抵抗、沈黙	など)			宮里	
第9回	介護にお	sけるコミュニケー:	ションとは				宮里	
第10回	介護にお	sけるコミュニケー:	ションの対象				宮里	
第11回	援助関係	(とコミュニケーシ	ョン				宮里	
第12回	コミュニ	-ケーション態度に	関する基本技術				宮里	
第13回	言語・非	言語・準言語コミ	ュニケーションの	基本			宮里	
第14回	目的別σ)コミュニケーショ:	ン技術				宮里	
第15回	集団にお	sけるコミュニケー:	ション技術				宮里	
授業に含む	実習(実験・実技)・				その他の活動 ※ICT教育等を含む			
担当教員の実務経験 病院等での経験を活かし、高齢者や障がい者へのコミュニケーションの基本について と授業の関連 う。			- - - - - -	業を行				
事前学習 意味のわからない用語は辞書等で調べておく 学		学習合計時間(h) 3		3 0 時間				
事後学習 授業の復習を行う。				学習合計時間(h) 30時		3 0 時間		

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合(定期試験を含む)求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー、また毎授業で実施する質問・感想記入シートへの回答で対応す る。
オフィスアワー	木曜日 10:35~12:05 研究室(本館312号室)
テキスト	『コミュニケーション技術』 介護福祉士養成講座編集委員会(編集) 中央法規出版 2019年 2200円(税抜き) (ISBN978-4-8058-5765-6)
参考文献等	『ピアヘルパーハンドブック』 日本教育カウンセラー協会(編) 図書文化 2001年 1500円 (税別) (ISBN978-4-8100-1343-6)
成績評価基準	コミュニケーションという概念について理解し、自己理解を深めながら、被介護者とのコミュニ ケーションの意義を理解できること。
成績評価の方法	定期試験(80%)、毎時間の課題レポート(20%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	他学科開放科目 ※介護職員初任者研修読み替え可能科目

到日力		廾、禾士·捋·士/キテ Λ		科目ナンバー	C11100				
科目名		生活支援技術 A							
担当者		岡村 友美		BU+ L2000 TO					
授業形式配当年次	-	演習 1		関連するDPの番号 科目群	専門科目	1「人業]			
開講期		前期		本業の選択・必修		[川陵]			
単位数		2		担当形態	単独				
免許・資	格情報	必修:介護福祉士	選択必修:介	<u>□□□ル心</u> `護保険実務士	十五				
授業の概要		どのような心身状態であっても、 尊厳保持の観点からその人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出すための介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識を深めていける講義をする。 そのためには、「なぜ」そのような援助をするのかという根拠が大切であるので、具体的に説明							
		する。演習内容としては、「身支度の介護」「移動の介護」「食事の介護」「睡眠の介護」を中心にそれぞれの介護における意義や目的などについ教授する。							
1. 利用者の心身の状況に応じた身支度の介護ができる 授業の到達目標 2. 自立に向けた移乗・移動の援助が適切に実践できる 3. 睡眠が生活に及ぼす影響を理解し、安眠できる環境状況に配慮できる									
授業計画	授業計画				担	当者			
第1回	生活支援	その理解					岡村		
第2回	自立に向]けた身じたくの介	·護				岡村		
第3回	自立に向	立に向けた食事の介護、口腔ケア 岡村							
第4回	衣服の着)着脱の介護 岡村							
第5回	移動・移	・移乗の基本的理解、体位変換 岡村							
第6回	移動の介	`護 起き上がり→	·車椅子、車椅子-	→ ベッド			岡村		
第7回	着脱・移	多動・移乗のふり返	[1]				岡村		
第8回	小テスト	(実技)					岡村		
第9回	福祉用具	を使用した移乗の	介護				岡村		
第10回	車椅子、	杖歩行の移乗・移	動介助				岡村		
第11回	休息・睡	態眠の介護					岡村		
第12回	自立に向]けた移乗・移動の	手順作成				岡村		
第13回	自立に向]けた移乗・移動の	実践、評価				岡村		
第14回	総括						岡村		
第15回	実技試験	き・評価					岡村		
授業に含む	まれる活動	「ィスカッション・討	グループワーク	プレゼンテーション・発表	フィール	験・実技)・ √ドワーク -		もの活動 育等を含む	
担当教員の実務経験と授業の関連									
事前学習 授業の予習としてはテキストを読み、手技をイメージしておく 学習合計に			時間(h) 15時間						
事後学習 実技に関しては、繰り返し練習すること。レポート作成 学習合計時			時間(h)	15時間					

課題に対する フィードバックの 方法	介護技術は単独で実践されるものではないので、演習(それぞれの課題)のつど、フィードバックをしながら演習(技術修得)を進めていく。		
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーなどで対応する。		
オフィスアワー	水曜日 講義終了後12:20~12:30 講義室(南館301・西館204号室)		
テキスト	最新介護福祉士養成講座6生活支援技術 I 中央法規 2019 2200円 (ISBN:978-4-8058-5766-3)		
	最新介護福祉士養成講座7生活支援技術 II 中央法規 2019 2200円(ISBN:978-4-8058-		
参考文献等	配布プリント		
成績評価基準	実技試験において、到達目標の介護及び援助ができること。 定期試験(レポートを含む)で6割を超えること。		
成績評価の方法	定期試験(レポート)の成績(80%)と実技試験(20%)の成績を総合的に評価する。		
GPA基準			
備考	教育効果向上のため、2コマ(180分)×15回で実施する。 ※介護職員初任者研修読み替え可能科目		

科目名 生活支援技術 B				科目ナンバー	S11204	\$11204		
担当者		浜崎 眞美、福永	、 宏子					
授業形式								
配当年次	7	1		科目群		[介護]		
開講期		後期		卒業の選択・必修		¬		
	単位数2担当形態オムニバス免許・資格情報必修:介護福祉士選択必修:介護保険実務士							
九 一	付け用来				1051	カクナネ		
授業の概要		尊厳の保持の観点から、どのような状態であってもその人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることも含めた介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について明らかにする。 生活支援技術Bでは、入浴・清潔保持の介護、身支度の介護、バイタルサインの測定が主な内容となる。効果的な演習となるために、お互いに介護者役、利用者役を担いながら進める。心身の状況に応じた介護が実践できるために、「介護技術の基礎」で学んだことを深めることができるようにする。						
授業の到]達目標		寺の介護及び身支度 ノの意味を理解し、〕			実践できる	<i>,</i> ,	
授業計画	Į						担	当者
第1回	入浴の意	議・目的 入浴に	関連する知識				福永	
第2回	自立した						福永	
第3回	安全・的	全・的確な入浴介助の方法(洗身)						
第4回						** * -	福永	
第5回		・ 的確な入浴介助の方法(シャワー浴) 福永						
第6回		的確な入浴が助の方法(シャソー浴)						
第7回		可確な入浴介助の方 可確な入浴介助の方					福永	
第8回		、浴の方法					福永	
第9回		<u>~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~</u>		ついて			浜崎	
711							浜崎	
-								
-		介護(爪・軟膏塗					浜崎	
		可確な清潔保持技法 - 本 / 法 温 保 は は !) 			浜崎	
]確な清潔保持技法					浜崎	
]確な清潔保持技法					浜崎	
第15回	第15回 安全・的確な清潔保持技法(洗髪)			浜崎				
授業に含ま	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク			その他の活動 ※ICT教育等を含む				
		\mathcal{L}						
担当教員のと授業の関								
事前学習 「介護技術の基礎」 不明な点は質問する			支援技術A」で学んだことを復習し、 学習合計			時間(h)	3 0 時間	
事後学習実施した		実施した演習内容に	こついて、繰り返し	 練習を行う	学習合計時間(h) 3 C		3 0 時間	

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。
オフィスアワー	福永:水曜日 12:10~14:00 研究室 (西館315号室) 浜崎:水曜日 12:10~14:30 研究室 (西館314号室)
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術 I 』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円 (ISBN978-4-8058-5766-3) 『最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術 II 』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円 (ISBN978-4-8058-5767-0) 『最新・介護福祉士養成講座 生活支援技術 III 』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2200円 (ISBN978-4-8058-5768-7) 『最新・介護福祉士養成講座 医療的ケア』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2600円 (ISBN978-8058-5775-5)
参考文献等	『最新・介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集中央法規 2019年 2600円 『七訂 介護福祉用語辞典』 中央法規出版部編 中央法規 2015年 2600円
成績評価基準	入浴・清潔保持の介護及び身支度の介護について、利用者の心身の状況に応じた具体的援助内容 を理解すること。
成績評価の方法	実技試験とレポート(20%)、期末試験(80%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	

11 1 1 1		11	`	1	011107				
科目名		生活支援技術(住	.)	科目ナンバー	S11107				
担当者		福田 真樹子							
授業形式				. 7					
配当年次	<u>, </u>	1							
開講期 単位数		前期 2		卒業の選択・必修 担当形態	選択 単独				
免許・資	*								
授業の概要		鹿児島県は、高齢化率と高齢者の独居率が高い県である。過疎化の進展の中、在宅介護の施策 を住環境でどのように支えるか、また、住宅での介護予防策と地域での居住の継続の方策につい て講義する。							
1. 鹿児島県の高齢者の住宅事情について学び、住宅の課題を理解する。 2. 生活行動と生活空間の関係について学び、住宅における介護予防と住宅改修の要点 る。 3. 介護保険における住宅改修の要点について理解する。					3改修の要点	を理解す			
授業計画	Ī					担	当者		
第1回	鹿児島県	児島県の伝統的な住まいと高齢者 福田							
第2回	限界集落	集落と高齢過疎地域の今後福田							
第3回	住居の役	の役割と機能 – シェルター、生活の伝承 福田							
第4回	ライフサ	フサイクルと住居、生活時間と住行為、住要求 福田							
第5回	近隣との	この交流、まちづくり、バリアフリーの環境 福田							
第6回	ADL~0)対応、バリアフリー、ユニバーサルデザイン 福田							
第7回	モジュー	-ル、身体の変化と空間、起居様式 福田							
第8回	空間の配	別とゾーニング、	ライフスタイルと	間取り		福田			
第9回	集合住宅	この計画、近隣との	空間的つながり			福田			
第10回	空気環境	もの調節、光の調節	、温湿度の調節、	音の調整		福田			
第11回	住宅の性	能:安全性、快適	性、防犯性等			福田			
第12回	住居の維	持管理、衛生管理				福田	福田		
第13回	介護保険	と住宅改修				福田			
第14回	住居と施	設				福田			
第15回	認知症高	齢者への環境支援	指針			福田			
授業に含む	フィールドワーク フレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・ フィールドワーク フィールトローク フィーク フィー			その他の活動 ※ICT教育等を含む					
担当教員の実務経験		学生時代に日本国内の歴史的街並みをたくさん見て回りました。まちづくりのらし方、コミュニティのあり方などを話せればと思います。また現在、住宅や工事現場の監理を担当しています。設計監理の体験を通して、人が住む空間のと、必要となることを楽しく伝えていきたいと考えています。				らや病院など	`の設計や		
事前学習		意味のわからない用	語は調べておく		学習合	計時間(h) 3 0 時間			
事後学習 レポートを課す。中間試験(小テスト)を行う 学習合計時間(h)			3 0 時間						

課題に対する	
	個別指導を行う。講義で課題の要点を解説する。
質問・相談方法	授業の前後やオフイスアワー等で対応する。
オフィスアワー	火曜日 12:05~12:55 講義室(西館203号室)
テキスト	『生活支援技術 I 』 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 2019年 2200円 (ISBN: 978-4-8058-5766-3)
参考文献等	『大往生の島』 佐野眞一 文藝春秋 1997年 1,429円(税抜き) (ISBN-13:978-4167340063) 『クリッパンの老人たち-スウェーデンの高齢者ケア』 外山義 ドメス出版 1990年 1,800円 (税抜き) (ISBN-13:978-4810703054)
成績評価基準	生活行動と生活空間の関係を理解し、住宅における介護予防策を理解する。また、介護保険における住宅改修の要点について理解すること。
成績評価の方法	小テスト(20%)、期末試験(60%)、レポート(20%)を総合的に判定する。
GPA基準	
備考	

_									
科目名		介護過程 I 科目ナンバー S11108							
担当者		福永 宏子			_				
授業形式		講義 関連するDPの番号 ①							
配当年次	7	1		科目群	専門科目	[介護]			
開講期		前期		卒業の選択・必修	選択				
単位数		2		担当形態	単独				
免許・資	格情報	必修:介護福祉士	=						
授業の概要		・介護福祉士として介護を提供するには、専門的な思考を展開する必要がある。他の科目で学習した知識や技術を統合して、「尊厳の保持」「自立支援」を生活の視点から捉え専門的な思考展開を身に付けるための基礎的知識を講義する。 ・介護実習での課題に効果的に取り組むために、利用者の観察や情報収集に必要な知識や方法を講義する。							
授業の到]達目標	2. 介護過程の必要	可か理解することが 要性を理解し、介護 基づく生活機能の観	実習等の実践に活た					
授業計画	Į						担	当者	
第1回	本科目σ	意義と目的を学ぶ	;,				福永		
第2回	介護過程	€の目的を理解する	,)				福永		
第3回 介護過程の意義を理解する 福永					福永				
第4回	介護過程	≧の方法について∮	空ぶ(アセスメント	`)			福永	 電永	
第5回	介護過程	≧の方法について∮	色ぶ (計画の立案)				福永		
第6回	介護過程	≧の方法について∮	なぶ (実施・評価)				福永		
第7回	ICFの考	え方について学ぶ					福永		
第8回	ICFの考	え方について学ぶ					福永		
第9回	ICFの考	え方について理解	を深める				福永		
第10回	情報収集	と観察の方法につ	ついて学ぶ				福永		
第11回	情報収集	と観察の実際につ	ついて学ぶ				福永		
第12回	情報収集	と観察について 野	里解を深める				福永		
第13回	記録の方	法について学ぶ					福永		
第14回	記録の実	ミ際について学ぶ					福永		
第15回	第15回 記録の方法について理解を深める				福永				
授業に含まれる活動		「ィスカッション・計	グループワーク	プレゼンテーション・発乳	実習(実際	険・実技)・	その化	也の活動	
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	フィール	ドワーク		育等を含む	
								\cup	
担当教員の実務経験 と授業の関連		介護福祉の実務経験を活かし、介護のプロセス及びしくみについて教授する。							
事前学習		授業の予習(テキ)	ストを読む、わから	ない語句を調べてお	इ ८)	学習合計	時間(h)	3 0 時間	
事後学習 内容の復習、授業や介護実習で記載した書類の訂正等を行う。 学習合計時間(ト			時間(h)	3 0 時間					

課題に対する フィードバックの 方法	・前回の内容についての小テストを行う。・授業終了時に記録方法を活用した練習を行う。 ・求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業中、オフィスアワーで対応する。
オフィスアワー	金曜日 12:10~16:10 研究室
テキスト	『最新介護福祉士養成講座9「介護過程」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年(ISBN 978-4-8058-5769-4) 2,200円
参考文献等	『「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用』 大川弥生著 中央法規出版 2009年 (ISBN 978-4-8058-3206-6) 1,944円(税込み)
成績評価基準	・介護過程を理解し説明できる。 ・ICFの視点に基づく記録や観察ができる。
成績評価の方法	定期試験(80%)、小テストと提出物(20%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	

科目名		↑護過程Ⅱ 科目ナンバー S11205						
担当者		福永宏子		付日ナンバー	311203			
	<u> </u>							
授業形式		講義 関連するDPの番号①						
配当年次	<u> </u>	1		科目群		[介護]		
開講期		後期		卒業の選択・必修				
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:介護福祉士						
授業の概要		介護過程 学習した知識や技術を、実際に活用できるように演習やグループワークを通して身に付け、更に、介護の根拠に基づいて提供できるように講義する。 ・介護実習において介護過程の展開ができるように、根拠の理解と必要な知識、技術を講義する。						
1. 介護過程の展開について説明できる。 授業の到達目標 2. 根拠に基づた介護を提供するための情報を収集でき記録することがで 3. 介護過程のアセスメントについて理解することができる。				ことができ	る。			
授業計画	Ц						担当者	
第1回	利用者を	:観察する方法を学	±.3°				福永	
第2回	利用者を観察する方法を理解する 福永							
第3回	回 収集した情報を整理する意味を学ぶ 福				福永			
第4回	収集した情報を整理する方法を理解する 福永							
第5回	情報の意					福永	 届永	
第6回	情報の意	最の意味を考える 福永						
第7回	支援の方	う向性について学ぶ	**				福永	
第8回	支援の方	向性について理解	な な				福永	
第9回	課題を明]確にすることにつ	ついて学ぶ				福永	
第10回	課題を明]確にすることにつ	ついて理解する				福永	
第11回	利用者を	:観察する (ワー	-ク)				福永	
第12回	収集した	- 情報を整理する	(ワーク)				福永	
第13回	情報の意					福永		
第14回	支援の方				福永			
第15回	課題を明]確にする(ワーク	7)				福永	
************************************			その他の活動 ※ICT教育等を含む					
		0	0					0
担当教員の実務経験 介護福祉の実務経験を活かして、介護の専門性について教授する。								
事前学習		授業の予習(テキストを読む、わからない語句を調べておく) 学習合計!				十時間(h) 3 0 時間		
事後学習		内容の復習、授業や介護実習で記載した書類の訂正等を行う。 課題事例を仕上げる 学習合計			時間(h)	3 0 時間		

課題に対する フィードバックの 方法	・前回の内容の小テストを実施する。 ・使用した課題事例は完成をする。指導については、個別指導を行う。
質問・相談方法	授業中、オフィスアワーで対応する。
オフィスアワー	金曜日 10:20~12:40 研究室(西館315号室)
テキスト	『最新介護福祉士養成講座9「介護過程」』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2019年(ISBN 978-4-8058-5769-4) 2,200円
参考文献等	介護実習要項
成績評価基準	・介護過程の展開について理解している。 ・ICFの視点に基づいた記録ができている。 ・アセスメントについて理解し展開ができる。
成績評価の方法	定期試験(70%)、課題事例(30%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	

科目名	科目名 介護総合演習 I ・ II 科目ナンバー S1250			S12502			
担当者	担当者 浜崎 眞美、有馬 恵子、久留須 直也、宮園 真紀、松下 みゆき						
授業形式	策形式 演習 関連するDPの番号 ②						
	配当年次 1 科目群 専門科目 [介護]						
開講期							
単位数 1 担当形態 オムニバス							
免許・資	者格情報 │ 必修:介護福祉士 選択:介護保険実務士						
授業の概要		介護総合演習は、実習と組み合わせての学習とする。介護実習前の介護技術の確認や施設等の理解及びオリエンテーション、実習後の反省会等を通じて、介護福祉士に必要な知識や技術、介護過程の展開能力等を学内での学びと実習での学びとを総合することで深めることができるように授業を進める。また、学生個人の学習到達状況に応じた学習の機会であるように工夫する。前期に1回~9回、後期10回~15回の授業内容を実施する。					
授業の到	達目標	 介護実習の目的を理解し、実習に 実習後の振り返りを通じて、実習 様々な生活の場における個別ケア 	での学びをまとめる		きる。		
授業計画	Ī					担	当者
第1回	1回 介護総合演習の目的、実習の意義・目的・目標について 浜崎						
第2回	第2回 介護実習の種類、実習前後の学びの活かし方 浜崎						
第3回	事前学習	の内容と方法、実習記録について				浜崎	
第4回	実習の心	と習の心得、実習期間終了時の注意点、事前訪問について 久留須 (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田)					
第5回	実習先の	先の特徴と学ぶポイント (訪問介護・通所介護・介護老人福祉施設) 松下					
第6回	家族・近	選族・近隣・地域に目を向ける介護実習 松下					
第7回	実習先の	特徴と学ぶポイント(介護老人保領	 	ニーム・ケ	アハウス	宮園	
第8回	地域生活	を支援するとは、実習の心得				宮園	
第9回	実習反省	· 会				久留須・	浜崎
第10回	働くこと	の意識、心構え				有馬	
		められる資質及び能力				有馬	
		について				有馬	
		し方、言葉づかい、敬語について				有馬	
						久留須	
				人留須 久留須			
33 T O L					れの活動		
授業に含む	「マスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・ フィールドワーク フィールトワーク フィーク フィー			その他の活動 ※ICT教育等を含む			
担当教員の		•					
事前学習 テキストを用いた予習、これまでの事前訪問記録の確認をする 学			学習合計	合計時間(h) 15時間			
実習で学んだことを自身でまとめ、反省会に 事後学習 テキストやこれまでの配布資料を基に復習を				する	学習合計	時間(h)	15時間

TEMPERAL III I -	
課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。
オフィスアワー	浜崎:金曜日 13:00~16:20 研究室(西館315号室) 久留須:金曜日 18:00~18:15 研究室(西館314号室) 有馬(恵):火曜日 16:20~17:30 研究室(西館413号室) 松下・宮園(非常勤):金曜日 18:00~18:15 講義室
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 介護総合演習・介護実習』 介護福祉士養成講座編集委員会編集中央法規 2019年 2200円 (ISBN978-4-8058-5770-0)
参考文献等	・介護実習要項 ・『新生活教養-社会人としての基本マナー』 近喰晴子他 2015年
成績評価基準	・介護実習の目的を理解し、実習に必要な事前準備の必要性が理解できること。 ・実習後の振り返りにより、実習での学びをまとめることができること。
成績評価の方法	久留須・浜崎:期末試験(40%) 有馬・松下・宮園:講義内容に関連したレポート(各20%ず つとし、合計60%)
GPA基準	
備考	

科目名		介護実習I	科目ナンバー	S12202						
担当者		浜崎 眞美、福永	、 宏子、久留須	直也						
授業形式		実習		関連するDPの番号	関連するDPの番号 ②					
配当年次	7	1		科目群	専門科目 [介護]					
開講期		後期		卒業の選択・必修						
単位数	7 147 11± +17	3	\22.10 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	担当形態	複数					
免許・資	俗情報	必修:介護福祉士	選択必修:	介護保険実務士						
授業の概	我 要	し、利用者・家族と 連携を通じてチーム 島県内の居宅系事業	ムや個性を理解する とのコミュニケーシ ムの一員としての介 業所(通所介護事業) 習し、介護実習I - (ョンの実践、介護技 護福祉士の役割につ 所・通所リハビリテ	がの確認 かいて学ば ニーション	、多職種協 せる。介記 ・訪問介記	協働や関係 護実習 で 護事業所・	機関との は、鹿児 グループ		
授業の到	1. 多様な事業所の概要や役割を理解し、利用者の生活を知る 授業の到達目標 2. 生活支援技術を用いて介護を行い、利用者特性を把握できる 3. 個々の生活リズムや個性に応じた生活支援の在り方を知る									
授業計画	授業計画						担当者			
第1回	オリエンテーショ	ョン1 (自己紹介、施	設の概要について				実習指導	者		
第2回 オリエンテーション2 (一日の流れ・週間予定・年間予定について) 実習指導					実習指導者					
第3回	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					 者				
第4回		,		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			実習指導			
第5回			a>4 (オリエンテーションの情報を記録する) 実習指導者 Rった業務の進め方・内容を把握する 実習指導者							
第6回)特性を知る	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				実習指導			
第7回) 助言のもと生活支		 ぶらの宝翌			実習指導			
第8回		- 1 (実習目標及び - 1 (実習目標及び)		りの天日			実習指導			
				74 L 머플 # 포 나 ?	7 \					
第9回		R2(一日の目標と					実習指導			
		3 (実習内容及び					実習指導			
		[情報を得る1(受				「る)	実習指導			
		[情報を得る2(受			(観察)		実習指導			
第13回	観察して	[情報を得る3(観	!察で得た情報を記	記録する)			実習指導	者		
第14回	観察して	[情報を得る(多職	^{找種協働・関係機関}	との連携の在り方	方について	(7)	実習指導	者		
第15回	第15回 総括(実習の振り返り)				実習指導	者				
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討	グループワーク	プレゼンテーション・発記	表	験・実技)・ レドワーク		也の活動 育等を含む		
3,5,7,7,0,1,0,0,7,1,3,3,3		0 0								
	担当教員の実務経験 介護や看護等の実務経験を活かし、実習の受け方など具体的に教授する。 と授業の関連									
施設でのオリエンテーションを受ける前に、施設の概要を調査し、 事前学習 用紙にまとめる 学習合計時間(h)				4 5 時間						
事後学習	実習後に全員で反省会を開催し、意見交換で出てきた内容を代表者 がまとめて各自に配布する 学習合計時間(h) 4				4 5 時間					

課題に対する フィードバックの 方法	実習で発見した課題については、次回の実習に活かせるよう全体の反省会時にフィードバックす る。
質問・相談方法	実習期間中は施設職員に尋ね、教員の巡回指導時にも質問できるようにしている。
オフィスアワー	浜崎:木曜日 14:50~16:20 研究室(西館315号室) 福永:木曜日 14:50~16:20 研究室(西館316号室) 久留須:木曜日 14:50~16:20 研究室(西館314号室)
テキスト	「最新・介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」 介護福祉士養成講座編集委員会編中央法規出版 2019年 2,200円(税別) ISBN 978-4-8058-5770-0
参考文献等	特になし
成績評価基準	到達目標に掲げた項目に達すること。
成績評価の方法	実習中の提出物や実習態度及び施設からの実習評価(100%)により総合的に評価する。
GPA基準	
備考	COC関連科目

科目名		介護実習Ⅱ		科目ナンバー	S12203			
担当者				直也,	312203			
担当有 授業形式	<u>.</u>	漢啊 真美、個水 本丁、久留須 巨也						
配当年次								
開講期								
単位数								
免許・資	格情報	必修:介護福祉士	- -		12477			
授業の概	要	用者ごとの介護計画 し、他科目で学習し	画の作成、実施後の た知識や技術を統 ↑護実習Ⅱでは、鹿	合して、具体的な介 児島県内の入所系施	た計画の 護サービ 設(介護	多正といっ スの提供の 老人福祉施	た介護過)基本とな	程を展開る実践力
授業の到	1. 施設の概要や役割を理解し、利用者の生活・障害像を理解できる 授業の到達目標 2. 生活支援技術を用いて介護を行い、個別支援の在り方を知る 3. 利用者の特性と現状を把握することができる							
授業計画	Ī						担:	当者
第1回	オリエンテーショ						実習指導	者
第2回	第2回 オリエンテーション2(一日の流れ・週間予定・年間予定について)				実習指導者			
第3回	オリエンテーショ	ョン3 (感染予防に	関すること、その位	他について)			実習指導者	
第4回	オリエンテーショ	ョン4 (オリエンテ-	ーションの情報を	記録する)			実習指導	者
第5回	日課表沿	かった業務の進め方	・内容を把握する				実習指導	 :者
第6回	利用者の)特性を知る(受け	持ちの利用者につ	いて特性と現在の	情報を把	握する)	実習指導	者
第7回	利用者ご	・ どの介護計画を作	 成する(情報の解	 『釈・関連づけ・統	合化及び	課題の明	実習指導	
第8回		助言のもと生活支	,,,,,				実習指導	
第9回				- ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			実習指導	
		は2(一日の目標と			,)		実習指導	
		3 (実習内容及び					実習指導	
	実習記録			2名称と使用方法に		とめ記録		
		·	:/\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			C 47 10 13	実習指導	
		/N 任 と	- 「アセスメント表(1)(2)	1			実習指導	
			176/7/13(1)(2)	<u> </u>				
第13 凹	心拍 (天	図習の振り返り)					実習指導	
授業に含ま	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク		ドワーク		の活動 育等を含む			
		O				J		
	担当教員の実務経験 介護や看護等の実務経験を活かし、具体的な実習方法等を教授する。							
事前学習	施設でのオリエンテーションを受ける前に、施設の概要を調査し、 事前学習			時間(h)	3 0 時間			
実習後に全員で反省会を開催し、意見交換で出てきた内容を代表者 がまとめて各自に配布する 学習合計時間(h)				— — 時間(h)	3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	実習で発見した課題については、次回の実習に活かせるよう全体の反省会時にフィードバックする。
質問・相談方法	実習期間中は施設職員に尋ね、教員の巡回指導時にも質問できるようにしている。
オフィスアワー	浜崎:木曜日 14:50~16:20 研究室(西館315号室) 福永:木曜日 14:50~16:20 研究室(西館316号室) 久留須:木曜日 14:50~16:20 研究室(西館314号室)
テキスト	「最新・介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」 介護福祉士養成講座編集委員会編中央法規出版 2019年 2,200円(税別) ISBN 978-4-8058-57770-0
参考文献等	特になし
成績評価基準	到達目標に掲げた項目に達すること。
成績評価の方法	実習中の提出物や実習態度及び施設からの実習評価(100%)により総合的に評価する。
GPA基準	
備考	COC関連科目

11 0 0		水生しせルの 冊#7								
科目名		発達と老化の理解		科目ナンバー	S11110					
担当者										
授業形式	ū			1 [1. 4. 5. 4.	`				
配当年次	<u> </u>	1 新期		科目群な業の選択、必修			とからた	゙ のしくみ		
単位数	開講期前期卒業の選択・必修必修単位数2担当形態単独									
免許・資	格情報									
7011 9										
授業の概要 び「老化」につい			て講義をする。老化	良い介護を提供する による心理や身体機 を如何に支援してい	能の変化	といった基	基本的な知	識を説明		
1. 発達という概念を理解し、他者に説明できる 授業の到達目標 2. 老化による心理・身体機能の変化について理解し、他者に説明できる 3. 高齢期の発達を支える援助について考えることができる										
授業計画	Ī						担当者			
第1回	オリエン	ケーション/発達	とは何か				宮里			
第2回	成長・発	隆達の考え方					宮里			
第3回	成長・発	発達の原則・法則 宮里					・発達の原則・法則 宮里			
第4回	成長・発	達に影響する要因					宮里			
第5回	発達理論	Ĥ					宮里			
第6回	発達段階	まと発達課題					宮里			
第7回	身体的機	能の成長と発達					宮里			
第8回	心理的機	能の発達					宮里			
第9回	社会的機	能の発達					宮里			
第10回	老年期の	定義					宮里			
第11回	老化とは	ţ					宮里			
第12回	老年期の)発達課題					宮里			
第13回	老年期を	めぐる今日的課題	<u> </u>				宮里			
第14回	高齢者と	ロコミュニケーシ	´ョン				宮里			
第15回	総括						宮里			
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討	グループワーク	プレゼンテーション・発表		験·実技)・ ·ドワーク		の活動 育等を含む		
			\circ		<u> </u>		<u> </u>			
担当教員の実務経験 を授業の関連 病院等での実務経験を活かし、老化や障害を抱えて生きている方の支援の基礎となる知識や 方について授業を行う。				識や考え						
事前学習意味のわからない用語は辞書等で調べておく。			ておく。		学習合計時間(h) 30 B					
事後学習 復習を行って授業			こ臨む。 - ここのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ			学習合計時間(h)		3 0 時間		

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合(定期試験を含む)求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー、また毎授業で実施する質問・感想記入シートへの回答で対応す る。
オフィスアワー	金曜日 10:35~12:05 研究室(本館312号室)
テキスト	『発達と老化の理解』 介護福祉士養成講座編集委員会(編集) 中央法規 2019年 2200円 (税別) (ISBN978-4-8058-5772-4)
参考文献等	特になし
成績評価基準	発達という概念及び老化による心理・身体機能の変化について理解し、高齢期の発達を支える援助について考えることができること。
成績評価の方法	定期試験(80%)、毎時間の課題レポート(20%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	単位互換 [KRICE] 提供科目、他学科開放科目 ※介護職員初任者研修読み替え可能科目

科目名		高齢者の介護 科目ナンバー S11206						
担当者		田中 士朗						
授業形式	<u> </u>	演習						
配当年次	-	<u> </u>)	「こころ	とからだ	このしくみ
開講期	後期 卒業の選択・必修必修							
単位数	単位数 1 担当形態 単独							
免許・資	格情報	必修:介護福祉士	-					
授業の櫻	老化を理解し、老化に伴う心理的変化や、身体機能の変化及びその特徴に 授業の概要 習得する。 老化に伴う心理的、身体的変化と日常生活への影響を踏まえた を活用した介護と、利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション技術も深					うえで、	残存機能	
授業の到	1. 老化に伴う身体的変化と特徴を理解し、実践に備える 授業の到達目標 2. 老化に伴う心理的変化と、日常生活への影響を理解する 3. 高齢者の多い疾病と、介護の留意点を習得する							
授業計画	Ī						担当者	
第1回	老化に伴	⁴う心身の変化の特	微				田中	
第2回	視覚障害	に応じた介護					田中	
第3回	聴覚・言	語障害に応じた介	語障害に応じた介護 田中					
第4回	内部障害	R(心臓機能障害)に応じた介護 田中						
第5回	内部障害	子(呼吸器障害)に応じた介護 田中						
第6回	内部障害	『(腎臓・膀胱機能	障害)に応じた介	`護			田中	
第7回	免疫機能	 どと感覚機能					田中	
第8回	咀嚼機能	と、嚥下機能の変化					田中	
第9回	運動中枢						田中	
第10回	高次脳機	 総能障害に応じた介					田中	
第11回	心の問題	 夏と精神障害					田中	
第12回	老化に伴	<u></u> ⇔う知的機能の変化	 。知的障害に応じ	 こた介護			田中	
	生活習慣						田中	
第14回	高齢者に	 三多い疾病					田中	
第15回	認知症の)人への介護					田中	
授業に含ま	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・ 受業に含まれる活動 フィールドワーク					也の活動 育等を含む		
			0			\supset		
担当教員の実務経験 と授業の関連 特別養護老人ホームでの実務経験を活かして、高齢者の介護について教授する。								
事前学習 授業の予習(不明な点について、質問する) 学習			学習合計時間(h) 30時		3 0 時間			
事後学習 授業の復習(授業中のポイントの書き取り) 学習合計時間(時間(h)	3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	求めに応じて個別に対応する。					
	授業の前後やオフィスアワーで対応する。					
オフィスアワー	金曜日 講義終了後 12:05~12:15 講義室(西館203号室)					
テキスト	『発達と老化の理解』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規出版 2019年 2,200円 (ISBN-13: 978-4805857724) 『生活支援技術Ⅲ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規出版 2019年 2,200円 (ISBN-13: 978-4805857687)					
参考文献等	『介護福祉用語辞典』 中央法規出版 2017年 2,600円 (ISBN-13: 978-4805850947)					
成績評価基準	老化を理解し、老化に伴う心理的変化や身体機能の変化及びその特徴に関する基礎的知識を習得できること					
成績評価の方法	定期試験※60分(90%) レポート提出(10%)					
GPA基準						
備考	※介護職員初任者研修読み替え可能科目					

科目名		認知症の理解 科目ナンバー S11208						
担当者		林田 貴久						
授業形式	<u>.</u>	講義	講義 関連するDPの番号 (1)					
配当年次	-	1)	[こころ	とからだ	のしくみ
開講期		後期		卒業の選択・必修	必修			
単位数		担当形態 単独						
免許・資	格情報	必修:介護福祉士						
認知症の人に対して適切なケアを行うにはその医学的知識,介護知識, 授業の概要 介護福祉士の視点から認知症の医学的知識及び認知症の人とその家族のでの認知症支援システムについても解説する。								
授業の到	1. 認知症の医学的知識についても理解を深めることができる 2. 認知症介護を理解し家族支援のあり方を考えることができる							
授業計画	Ī						担当者	
第1回	認知症ケ	·アの歴史					林田	
第2回	認知症の)心理症状					林田	
第3回	認知症高	別知症高齢者専門病院の紹介 林田						
第4回	脳のしく	のしくみと老化 林田						
第5回	認知症の	症の原因と検査・診断 林田						
第6回	アルツハ	イマー型認知症					林田	
第7回	脳血管性	認知症					林田	
第8回	レビー小	体型認知症					林田	
第9回	前頭側頭						林田	
第10回	若年性認	別症・M C I					林田	
第11回	治療薬ア	'リセプト					林田	
	認知症の						林田	
第13回	認知症の)人の理解					林田	
	環境の力						林田	
		<u>.</u>)人に対する介護					林田	
	#1 3 回 100 1			その他	也の活動 育等を含む			
以木に白る	メイレ公 /白剉	0	0				221	
	担当教員の実務経験 と授業の関連 教授する。				について			
事前学習		授業の予習(不明な	京点について、質問	<u></u>		学習合計時間(h) 3 0		3 0 時間
事後学習 授業の復習(授業中のポイントの書き取り) 学習合計時			—— 時間(h)	3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。
nishikann	火曜日 講義終了後 12:05~12:15 講義室(西館203号室)
テキスト	『「認知症の理解」新介護福祉士養成講座』 中央法規 2019年 2,200円(税抜き) (ISBN:978-4-8058-5309-2)
参考文献等	特になし
成績評価基準	認知症について理解し、その介護や家庭支援を理解できること
成績評価の方法	定期試験(90%) 受講態度(10%)
GPA基準	
備考	

IN EL A				N ㅁ ㅗ 丶	C11000				
科目名		障害の理解Ⅰ		科目ナンバー	S11209				
担当者		福留弘							
授業形式		講義		関連するDPの番号)	1 [7 7 7	レムンナ	· σ Ι / 7.	
配当年次 開講期				らとからだのしくみ <u>-</u>					
単位数		2		担当形態	単独				
免許・資	格情報	 							
授業の概	障害者の思いや生活実態を踏まえながら,障害の概念及び障害者の福祉の基 授業の概要 説する。 また、身体面に障害のある人の医学的・心理的特徴と生活支援(生 の留意点)について解説する。								
授業の到	授業の到達目標 1. 障害者支援に求められる基本的な考え方・概念を説明することができる。 2. 身体面に障害のある人の特徴を理解し、適切な生活支援の在り方を考えることが					うことがで	きる。		
授業計画	Ī						担当者		
第1回	オリエン	エンテーション(科目の意義と目的・ねらい)							
第2回	障害の櫻	祝念と障害者の実態	***				福留		
第3回	障害者福祉	の基本理念(自立と自律	*・ノーマライゼーション	ノ・リハビリテーション	・インクル・	ージョン)	福留		
第4回	視覚障害	そのある人の生活:視覚障害者の特徴 福留							
第5回	視覚障害	音 者のある人の生活	者のある人の生活:視覚障害者の生活支援 福留						
第6回	聴覚・言	語障害のある人の	生活:聴覚・言語	障害の特徴			福留		
第7回	聴覚・言	語障害のある人の	生活:聴覚・言語	障害者の生活支援	<u> </u>		福留		
第8回	肢体不自	由(運動機能障害)	のある人の生活:	肢体不自由(運動	機能障害	の特徴	福留		
第9回	肢体不自!	由(運動機能障害)の	のある人の生活:肢体	本不自由者(運動機能	能障害)の	生活支援	福留		
第10回	身体面に	障害のある人の生	活:手引き歩行の	介護(演習)			福留		
第11回	内部障害	のある人の生活:	心臓機能障害の特				福留		
第12回	内部障害	のある人の生活:	呼吸機能障害の特				福留		
第13回	内部障害		腎臓機能障害、膀	胱・直腸機能障害	の特徴と	生活支援	福留		
		 のある人の生活:	-	-			福留		
							福留		
	第15回 授業のまとめ:身体面に障害のある人の生活支援のあり方について考える 「ディスカッション・計」 グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク フィールドワーク			その他	也の活動 育等を含む				
以来に占る	メイレ公 /白剉		0		(\supset			
担当教員の実務経験と授業の関連									
授業の予習及び復習(教科書に 事前学習 理)				 該当ページの読み込	— — 込みと整	学習合計	— — 時間(h)	3 0 時間	
事後学習 講義で学んだ障害について、メディア等を用いて情報整理する 学習			学習合計時間(h) 3 0 F		3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	講義で用いた資料、教科書の該当ページの読み込み
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等に口頭・質問票(書式なし)により対応
オフィスアワー	月曜日 10:20~10:30 講義室(本館307号室)
テキスト	『障害の理解 新介護福祉士養成講座』 中央法規 2015年 2200円 (ISBN: 978-4-8058-5115-9) 『生活支援技術Ⅲ 新介護福祉士養成講座』 中央法規 2014年 2200円 (ISBN: 978-4-8058-3942-3)
参考文献等	特になし
成績評価基準	定期試験において、到達目標に掲げた項目について6割以理解できたと確認できた場合を合格とする。
成績評価の方法	定期試験(80%) 受講態度(20%)
GPA基準	
備考	※介護職員初任者研修読み替え可能科目

科目名 こころとからだのしくみ			ノくみI (医学一般	科目ナンバー	S11207			
担当者		河野 史代、中野		<u></u> 已				
授業形式	<u> </u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	7	1		科目群	専門科目	[C C Z	らとからだ	ごのしくみ
開講期		後期 卒業の選択・必修必修						
単位数		2		担当形態	オムニノ			
免許・資	格情報	必修:介護福祉士	選択必修:介	↑護保険実務士・医	事実務士	=		
授業の概要 こころとからだのしくみや疾患について学び、サービス提供上の安全 かにする。					全や尊厳の	D保持につ	いて明ら	
授業の到	達目標	2高齢者のここ	ごのしくみを理解で ろとからだの状態を 上重要な疾患につい		ことがで	きる		
授業計画	Ц						担当者	
第1回	からだの)しくみの理解(恒常	常性 細胞 遺伝 なる	<u>-")</u>			河野	
第2回	からだの)しくみの理解(脳ネ	申経系 感覚器 運動)器など)			河野	
第3回	からだの)しくみの理解(呼	及器 循環器 など)				河野	
第4回	からだの) しくみの理解(消化	七器 泌尿器 生殖器	景など)			中野	
第5回	からだの) しくみの理解(内分					中野	
第6回		横について学ぶ	, ,				河野	
第7回		<u></u>					河野	
第8回		こついて学ぶ					河野	
第9回							河野	
		泌尿器、内分泌疾	まについて労ぶ				中野	
			ここと ノいく子ふ					
		患について学ぶ					河野	
		これで学ぶ					竹中	
-		腔疾患について学					竹中	
第14回	整形外科	疾患について学ふ	<u> </u>				河野	
第15回	高齢者の	健康について学ぶ					河野	
授業に含む	ディスカッション・討 グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・ フィールドワーク フィールドワーク				その他の活動 ※ICT教育等を含む			
担当教員の実務経験 臨床医としての実務経験を活かして、体のしくみや疾患治療の実際について教授する。 と授業の関連 中野)				(河野・				
事前学習 テキストによる予習(タイトルなどから、関連のある介護場面について考える 学習合語			学習合計	-時間(h) 15時間				
事後学習 テキスト、配布資料による復習(重要ポイントを再確認し、曖昧な 学習合語				学習合計	時間(h)	3 0 時間		

課題に対する	
	 試験結果について個別に指導。クイズ形式で理解度を確認する。
方法	
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。
	竹中:木曜日 12:10~12:50 (本館502号室)
オフィスアワー	河野:火曜日 16:10~16:20 (西館203号室)
	中野:木曜日 17:55~18:05 (西館203号室)
	中野・小曜日 17.33 10.03 (日品203 7 主)
テキスト	『新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規出版 2019年 2,600円 (ISBN:9784805839430) 『新・介護福祉士養成講座〈12〉発達と老化の理解』 介護福祉士養成講座編集委員会編集中央法規出版 201年 2,200円 (ISBN:9784805851142)
参考文献等	特になし
成績評価基準	こころとからだのしくみや疾患、サービス提供上の安全や尊厳の保持について理解できる。
成績評価の方法	定期試験(100%)
GPA基準	
備考	※介護職員初任者研修読み替え可能科目

科目名		介護技術の基礎 科目ナンバー S11109						
担当者		浜崎 眞美						
授業形式	<u>`</u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	7	1		科目群	専門科目	[こころ	とからた	のしくみ
開講期		前期		卒業の選択・必修				
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:介護福祉士	-					
授業の概	要		こなる人体の構造や材 隻について理解でき		の提供に	おける安全	≧への留意	点や心身
授業の到	授業の到達目標 1. 介護技術の根拠となるこころとからだのしくみについて理解できる 2. 心身の機能低下や障害が生活に及ぼす影響に関する基礎的なことが理解で				できる			
授業計画	Į						担当者	
第1回	オリエン	ケーション/身じ	たくの意義・目的	1とからだのしくみ	*		浜崎	
第2回	身じたく	に関連した口腔の	清潔のしくみ				浜崎	
第3回	心身の機	能低下が身じたく	に及ぼす影響と変	化への気づき			浜崎	
第4回	移動の意	(義・目的と移動に	関するからだのし	くみ			浜崎	
第5回	移動のし	くみ (立ち上がり	と歩行、車いす移	;動)			浜崎	
第6回	心身の機	能低下が移動に及	ぼす影響と変化へ	の気づき			浜崎	
第7回	食事のし	ノくみ(意義・目的]、心身のメカニズ	<u>`</u> 'L)			浜崎	
第8回	心身の機	能低下が食事に及	ばす影響と変化へ	.の気づき			浜崎	
第9回	入浴・清		〔意義・目的、心身	のメカニズム)			浜崎	
第10回	心身の機	能低下が入浴・清		響と変化への気つ	 ブき		浜崎	
		くみ(意義・目的					浜崎	
		能低下が排泄に及					浜崎	
		連したこころとか					浜崎	
		する、こころの理					浜崎	
		いら死までの特徴、		ついて			浜崎	
#13 <u>0</u>	小くハスカリカ	り元よくの行政、	区が帆とり圧成に		ф 7 37/ф	R = ++\		の江岳
哲学1-合:	まわる活動	『ィスカッション・討	グループワーク	プレゼンテーション・発勃		験・実技)・ <i>・</i> ドワーク		めの活動 育等を含む
技未に召る	まれる活動		0				XCOTSX	H () E [] O
		看護師としての実務総	L 圣験に基づき、実践例 [:]	 を交えながら授業をお	」 Sこなう。人	、体の構造や	▲ ⇒疾患に関連	重する障害
担当教員の	担当教員の実務経験の理解については、要点をおさえながら進めるとともに、加齢や疾患による障害が日常			宮生活へどの	つように影			
と授業の関連		響するかもイメージできるように工夫している。観察や支援方法なども実践例を示し、介護の実践に活かせ						
		るよう教授する。				1		
事前学習		・講義予定範囲の内	内容について、テキ	ストを中心に予習す	-る	学習合計	時間(h)	3 0 時間
事後学習	後学習 授業内容について、不明な点は調べ、必要に応じて質問をする 学習合計時間(h)				3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	水曜日 9:00~12:30 研究室(西館315号室)
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ』 介護福祉士養成講座編集委員会編集中央法規 2019年 2600円 (ISBN978-4-8058-5771-7) 『七訂 介護福祉用語辞典』中央法規出版編集部編 中央法規 2015年 2600円 (ISBN978-4-8058-5094-7)
参考文献等	『こころとからだのしくみ』 メヂカルフレンド社 2009年
成績評価基準	介護技術の根拠となるこころとからだのしくみ、支援の際の安全への留意点を理解すること。
成績評価の方法	レポート課題(20%)、期末試験(80%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	

科目名		医療的ケア		科目ナンバー	S11111			
担当者		池田 加奈子		•				
授業形式	<u>`</u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	7	1		科目群	専門科目	[医療的]ケア]	
開講期		前期		卒業の選択・必修				
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:介護福祉士	-					
には、医療的ケアの 上の倫理、基礎知識 養と喀痰吸引につい いは患者の状態が急			位置づけ、医療行為 や技術などについて て理解を深めること	めに必要な知識・技術とは何かを理解し、B 学習する。その後、5 ができるように進めて 得るため、救急蘇生に。	医療行為を 実際の医療 ていく。ま	行うために 的ケアにつ た、医療 <i>0</i>	こ知ってお Oいて学習 O現場では	くべき医学 し、経管栄 利用者ある
授業の到	1. 医の倫理について説明ができる 受業の到達目標 2. 保健医療システムと介護職との連携について説明ができる 3. 医療的ケアの安全な実施について説明ができる							
授業計画	 Ū						担	 当者
第1回	オリエン	 ⁄テーション/医療	的ケアの位置づい	t			池田	
第2回	保健医療		 行為に関連する語	 长律			池田	
第3回	チーム医		連携、医療の倫理				池田	
第4回	個人の尊		や家族の気持ちへ	 への理解			池田	
第5回	感染予防		、療養環境の清潔				池田	
第6回	滅菌と消	毒について					池田	
第7回	喀痰吸引	や経管栄養の安全	- な実施1 喀痰®	及引について			池田	
第8回	喀痰吸引	や経管栄養の安全	な実施2 経管学	 や養について			池田	
第9回	喀痰吸引	や経管栄養の安全	:な実施3 まと&	5			池田	
第10回	救急蘇生	法について					池田	
第11回	心肺蘇生	法の実習					池田	
第12回	身体・精	青神の健康(平常状	態について)				池田	
第13回	健康状態	を知る① 健康状	態について				池田	
第14回	健康状態	《を知る② バイタ	ルサインについて				池田	
第15回	急変状態	について					池田	
授業に含む	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発書 実習(実験・実技)・ 授業に含まれる活動 フィールドワーク			ドワーク	その他の活動 ※ICT教育等を含む			
		0	0		() ———		
担当教員のと授業の関								
・授業で学習した内容について、テキストや関連資料で復習をす 事前学習 る。 学習合計師 ・次回の授業範囲をテキストを中心に予習する				 時間(h)	3 0 時間			
・授業で学習した内容について、テキストや関連資料で復習をす 事後学習 る。 学習合計時間(h) ・次回の授業範囲をテキストを中心に予習する				3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後で対応する。
オフィスアワー	木曜日 14:25~14:40 講義室(本館309号室)
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 医療的ケア』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2600円 (ISBN:978-4-8058-5775-5)
参考文献等	『介護職員のための今すぐ知りたい医療行為実技ガイド』 服部万里子著 ひかりのくに 2090 円 (ISBN10:4564430580)
成績評価基準	医療的ケアに関する背景を理解し、安全な実施につながる基本的なことを理解すること。
成績評価の方法	途中の小テスト(20%)、期末試験(80%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	医療的ケアに関する科目は、基本的に、「医療的ケア」「経管栄養」「喀痰吸引」を履修し単位 を修得した上でなければ、演習科目である「経管栄養演習」及び「喀痰吸引演習」を履修するこ とはできない。

11 0 0		₩₩¥					
科目名		経管栄養		科目ナンバー	S11210		
担当者		浜崎 眞美					
授業形式		講義		関連するDPの番号	O .	5 f = 7	
配当年次 開講期		1 後期		科目群 卒業の選択・必修	専門科目 [医療的	7.7.7	
単位数		2		担当形態	単独		
免許・資	格情報	必修:介護福祉士		1—1/1/2	十五		
授業の概要		医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得できるように講義する。この科目では医療的ケアの中の経管栄養を中心とし、消化器系の理解や経管栄養のしくみ、必要な援助方法、報告・記録の必要性等を説明できることを目指し進める。 医療的ケアに関する科目は、「医療的ケア」「経管栄養」「喀痰吸引」を履修し単位を修得することで、演習科目である「経管栄養演習」及び「喀痰吸引演習」を履修することを基本とし進めていく。					
1. 消化器系の役割・機能について説明ができる 授業の到達目標 2. 経管栄養のしくみ、注入内容、安全な実施に関する説明ができる 3. 説明と同意の必要性、報告・記録の重要性について説明ができる							
授業計画	Ī					担当者	
第1回	オリエン	ケーション/消化	器系のしくみとは	たらき		浜崎	
第2回	消化と吸	化と吸収とよくある消化器の症状 浜崎					
第3回						浜崎	
第4回	注入する	内容に関する知識				浜崎	
第5回	経管栄養					浜崎	
第6回	子供の紹	<u>************************************</u>				浜崎	
		をに関係する感染と		 Z施		浜崎	
第8回		を受ける際の説明				浜崎	
第9回		数発生時の対応と				浜崎	
		からくみ、清潔保		設備について		浜崎	
						浜崎	
		が状態観察と留意点					
		日と留意点、実施中				浜崎	
)手順と留意点、変	化の確認及び報告	「、片付け		浜崎	
		をに必要なケア				浜崎	
第15回	報告及び	『記録について				浜崎	
授業に含む	1 8 1 V 3 / L 3/J				その他の活動 ※ICT教育等を含む		
担当教員のと授業の関			0		l	1	
事前学習 各回の授業内容について、次回までの間に復習し、不明な点は辞書 等で調べる 学習合計時間				·時間(h) 30時間			
事後学習 授業中に実施する小テストについては、分かるまで辞書等で調べる 学習合計時間				時間(h) 3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する
オフィスアワー	木曜日 12:10~14:30 研究室(西館315号室)
テキスト	『最新・介護福祉士養成講座 医療的ケア』 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規 2019年 2600円 (ISBN: 978-4-8058-5775-5)
参考文献等	『改定 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト』 一般社団法人全国訪問看護事業協会編集 中央法規 2017年 2000円 (ISBN:978-4-8058-5250-7)
成績評価基準	経管栄養のしくみが分かり、安全な実施について理解すること。
成績評価の方法	途中の小テスト(20%)と期末試験(80%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	医療的ケアに関する科目は、基本的に、「医療的ケア」「経管栄養」「喀痰吸引」を履修し単位 を修得した上でなえれば、演習科目である「経管栄養演習」及び「喀痰吸引演習」を履修するこ とはできない。

科目名		薬理の基礎		科目ナンバー	薬理の基礎 科目ナンバー S11212					
担当者		栗原 崇		11 11 7 7 7 7	011212					
授業形式	<u>></u>	講義		関連するDPの番号	1					
配当年次	-	西 茲		科目群)] [医事実				
開講期		後期		卒業の選択・必修			(1)/1			
単位数		2		担当形態	単独					
免許・資	格情報	選択:介護福祉士	必修:医事	実務士	<u>I</u>					
薬理学とは、生体と外界の物質(薬物および毒物)の相互作用の結果、生じる研究する学問体系です。医療に携わる人は、基本的な医薬品に関する知識を持められています。薬理の基礎では、薬理作用を説明するための基礎的知識の資身近に接する薬物・毒物に関する薬理作用を解説します。					持っている	ことが求				
1. 薬理作用の一般的概念を理解し、説明できる 2. 薬物動態、薬物相互利用の基本的概念を理解し、説明できる 3. 薬害・乱用薬物について学び、説明できる。 4. 身近に接する代表的な薬について学び、その薬理作用・有害作用を説明できる										
授業計画	· 					担当者				
第1回	薬とは何	∫か?(薬の名前につ	ついて)				栗原			
第2回	薬物治療	をは?(薬の作用)	×カニズムについ [~]	て)			栗原			
第3回	薬のたと	でる道、薬のモニタ	リングについて(ト	高齢者と薬)			栗原			
第4回	薬と薬の)相互作用 (薬の効	めきにくい人、効	きすぎる人)			栗原			
第5回	薬の有害	景反応 「クスリはり	リスク」				栗原			
第6回	薬害 (1)	サリドマイド、SM	MON、ソリブジン	,			栗原			
第7回	薬害 (2)	薬害エイズ、薬害	C型肝炎、HPVワ	クチン			栗原			
第8回	薬の乱用](1) 覚せい剤					栗原			
第9回	薬の乱用] (2) 麻薬					栗原			
第10回	薬の乱用	1(3)大麻、幻覚薬	、危険ドラッグ				栗原			
第11回	妊娠・授	乳と薬					栗原			
第12回	女性に多	- い病気 (1) ホルモ	ン関連薬				栗原			
第13回	女性に多	小病気 (2) 膠原病	治療薬				栗原			
第14回	認知症						栗原			
第15回	薬の開発	き・薬の選択・薬と	上手につきあう				栗原			
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表		験・実技)・ ・ドワーク		也の活動 育等を含む		
		0		\circ						
	担当教員の実務経験と授業の関連									
事前学習				べる(パワーポイント 6自も事前に調べてお		学習合計	時間(h)	3 0 時間		
事後学習 教科書・副読本 (第1回講義で紹介する) を通読・学習する 学習合計時間(h)				3 0 時間						

課題に対する フィードバックの 方法	事前学習課題に関する解説は、担当者発表後に行います。
質問・相談方法	平日は他大学での勤務のため、e-mail でも質問を受け付けます。
オフィスアワー	木曜日 10:20~10:35 非常勤講師室(本館104号)/講義室
テキスト	「患者さんと医療系学生のための臨床薬理学入門」 笹栗俊之 (著) 九州大学出版会 2016年 (ISBN-10: 4798501867、ISBN-13: 978-4798501864) 定価2,000円 (税別)
参考文献等	・「楽しい薬理学-セレンディビティー」 岡部 進 著 南山堂 2001年 (ISBN 4-525-72031-X)3000円 ・「くすりの発明・発見史」 岡部 進 著 南山堂 2007年 (ISBN978-4-525-72131-2) 2800 円 ・「ジ キル博士の変身薬」 岡部 進 金芳堂 2010年 (ISBN978-4-7653-1421-3) 2000円 ・「世界史を変えた薬」 佐藤健太郎著 講談社現代新書 2015年 (ISBN978-4-06-288338-2)740 円 ・「医薬品とニーベル賞 がん治療薬は受賞できるのか?」 佐藤健太郎 著 角川新書 2016年 (ISBN978-4-04-731647-8) 800 円・「新薬に挑んだ日本人科学者たち-世界の患者を救った創薬の物語」 塚崎朝子著 講談社プ ルーバックス 2013年 (ISBN978-4-06-257831-8) 900 円・「世界を救った日本の薬ー画期的新薬はいかにして生まれたのか?」 塚崎朝子著 講談社プ ルーバックス 2018年 (ISBN978-4-06-502050-0) 1080 円・「薬の散歩道 薬理学入門」 仁木一郎 著 メディカル・サイエンス・インターナショアル 2010年 (ISBN978-4-89592-646-1) 2200 円
成績評価基準	到達目標の 4 点について理解し説明でき、評価において100点満点中、60点以上で合格とする。
成績評価の方法	定期試験(70%)、発表形式の宿題(30%)で総合的に評価する。
GPA基準	
備考	

科目名		医療事務総論		科目ナンバー	S11214			
担当者		児玉 利大		11 11 7 7 7 7	01121+			
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	(1)			
配当年次		1		科目群	専門科目	[医事実	務士]	
開講期	`	- 後期		卒業の選択・必修				
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報	選択:介護福祉士	必修: 医乳	事実務士				
授業の概	少子、高齢化社会へ急速に移行しているわが国において、医療を取り巻く社 わりつつある。このような中、病院が患者のためのより質の高い医療提供や社 るよう、医療事務の職務とそれに関わる病院医療、社会保障や社会保険制度に う。					上会的責務	を果たせ	
1. 医療の基本的な理解と医療事務全般にわたる基礎知識を身につけ、説明できるようになる 2. 医療事務に関する諸規則についての知識を習得し、説明できるようになる 3. 医療知識を身につけ、診療録及び病院の業務の流れを理解し、それらを説明できるように る								
授業計画	Ī						担当者	
第1回	医療事務	系総論の必要性と医	療事務の特性				児玉	
第2回	医療保険	療保険制度の概要 児玉						
第3回	医療保障	医療保障・医療制度・後期高齢者医療の解説 児玉						
第4回	保険給付	保険給付の概要 児玉						
第5回	公費負担	医療制度					児玉	
第6回	保健医療	機関と保険医につ	いて				児玉	
第7回	医事関係	法規					児玉	
第8回	療養担当	規則について					児玉	
第9回	診療報酬	間まなと審査制度					児玉	
第10回	介護保険	制度の概要					児玉	
第11回	医療施設	め概要					児玉	
第12回	医療事務	S職として患者心理	の理解と職場内の)立場			児玉	
第13回	医療事務	S職としての人間関	係と接遇:服装と	身だしなみと話し	.方		児玉	
第14回	医療事務	- S職としての接遇:	患者様への温かい	対応と受付、電話	対応につ	いて	児玉	
第15回	医療事務						児玉	
授業に含む	ディスカッション・討議 グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク (3の活動 育等を含む				
	担当教員の実務経験 授業の関連							
事前学習		前もって教科書に目意味の分からない用		おく		学習合計	ト時間(h) 3 0 時間	
事後学習 プリント配布資料による復習 学習合計時間(h)				時間(h)	3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合(定期試験を含む)求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	水曜日 16:10~16:30 非常勤講師室(本館104号)
テキスト	『保険診療基本法令テキストブック』 社会保険研究所 2020年版 2100円(税抜き) (ISBN:978-4-7894-0902-5 C3047)
参考文献等	『医療秘書実務士選書 医療事務総論』 日本医療福祉実務教育協会監修 建帛社 『新訂 医療事務の手引』 社会保険研究所 2020年版
成績評価基準	医療事務に関する基礎知識及び諸規則を習得、診療録や病院業務の流れを理解できたと確認され た場合に合格とする。
成績評価の方法	授業への参加態度(20%) 定期試験(80%)
GPA基準	
備考	

				T	•			
科目名		医療事務演習	事務演習 科目ナンバー S11215					
担当者		児玉 利大						
授業形式		演習		関連するDPの番号)			
配当年次	7	1		科目群		[医事実	€務士]	
開講期		後期		卒業の選択・必修				
単位数 免許・資	松佳胡	2 選択:介護福祉士		担当形態	単独			
光計・貝	1付用報	選択・月 護畑仙工	火 じ・ 区等	P 关 伤 工				
授業の概	ি要	医療事務の職務を十分理解し、医療現場で実務をこなせるよう、特に診療報酬の仕組みと明細 書作成、診療報酬点数の算定法および介護保険制度について説明を行う。そして、実際の明細書 の作成や診療報酬点数の計算を行う。						
1. 診療行為における診療報酬算定要件を理解し、説明できるようになる 2. 診療報酬明細書の作成及び請求について理解し、実務がこなせるようになる 3. 医療費の仕組みを理解し、診療報酬点数の算定を行う技術を身につけ、実際の るようになる					がこなせ			
授業計画	授業計画				担当者			
第1回	診療報酬	診療報酬の仕組みと診療担当規則の概要および介護保険制度の概略				児玉		
第2回	診療報酬	展酬明細書の記載と一般的事項 児					児玉	
第3回	診療報酬	基本診察料と点数	算定				児玉	
第4回	医科診療	軽報酬点数の算定 1	.基本診療料				児玉	
第5回	医科診療	軽報酬点数の算定 2	.医学管理等・在宅	巴医療料			児玉	
第6回	医科診療	聚報酬点数の算定 3	.投薬料				児玉	
第7回	医科診療	聚報酬点数の算定 4	.注射、処置料				児玉	
第8回	医科診療	聚報酬点数の算定 5	.手術、麻酔料				児玉	
第9回	医科診療	聚報酬点数の算定 6	.検査料				児玉	
第10回	医科診療	聚報酬点数の算定 7	.画像診断、リハビリ	テーション料			児玉	
第11回	医科診療	聚報酬点数の算定 8	.入院基本、特定 <i>7</i>	院料			児玉	
第12回	医科診療	聚報酬点数の算定 9	.入院料の算定, レセ	プトの作成			児玉	
第13回	医科診療	軽報酬点数の算定10)、まとめ				児玉	
第14回	診療報酬	明細書の総括と練	習問題の解説				児玉	
第15回	診療報酬	の総括					児玉	
授業に含む	ディスカッション・討議 グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・ 授業に含まれる活動 フィールドワーク				その他の活動 ※ICT教育等を含む			
世当教員の実務経験 と授業の関連								
事前学習		前もって教科書に目を通しておくこと。 意味の分からない用語は 事前に調べておく					時間(h) 3 0 時間	
事後学習		テキスト及び配布資料等による復習 学習合語				学習合計	時間(h)	3 0 時間

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合(定期試験を含む)求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	水曜日 16:10~16:30 非常勤講師室(本館104号)
テキスト	『診療報酬の請求』 杉本恵申・佐藤麻菜 医学通信社 2020年 2600円(税抜き) (ISBN:978-4-87058-687-1)
参考文献等	『医療秘書実務士選書 医療事務演習』 日本医療福祉実務教育協会監修 建帛社 「レセプト作成テキストブック」 社会保険研究所 2020年
成績評価基準	診療行為における診療報酬算定要件、.診療報酬明細書の作成及び請求について理解し、 医療費の 仕組みと診療報酬点数の算定を行う技術を身につけることができたと確認された場合に合格とす る。
成績評価の方法	授業への参加態度(20%) 定期試験(80%)
GPA基準	
備考	

到日夕		k 表记 加 TER		되므ㅗ	S11213			
科目名		情報処理		科目ナンバー	311213			
担当者		渡邉 光浩						
授業形式		演習		関連するDPの番号	\circ	v m l		
配当年次	<u> </u>	1		科目群の選択しい格	専門科目[関連科	計目]		
開講期単位数		後期 1		卒業の選択・必修 担当形態	単独			
免許・資	松信報	選択:介護福祉士	- 必修・介護	ロロル® 保険実務士・医事				
九町 貝	(10 IFI +IX							
授業の概	要	コンピュータとインターネットの役割を理解していることが当然の世の中になっている。さらに、携帯端末で音楽を楽しんだり、写真を撮ったり、コンピュータと連携し使用できる情報メディアも多様化し、急速に普及している。このような現在においてコンピュータを活用する基礎を固め、仕事や生活に情報機器を活用できることを目指す。						
1. I C T の基本的な操作技術を習得する 授業の到達目標 2. インターネットを理解し活用できるようになる 3. コンピュータを仕事や生活の道具として活用できるようになる				うになる				
授業計画	Ī					担	当者	
第1回	情報処理	■~身の回りのICT	活用の振り返りか	<u></u> ာ်		渡邉		
第2回	キーボー	 -ド練習				渡邉		
第3回	コンピュ					渡邉		
第4回	ブラウサ	で使おう				渡邉		
第5回	電子メー	-ルを使おう				渡邉		
第6回	Word (1) テンプレート利用	用/ファイルの保存	子・管理		渡邉		
第7回	Word (2)文字飾り、図・写	字真挿入			渡邉		
第8回	Word (3)表挿入、印刷				渡邉		
第9回	Excel (1)表の作成、データ	タ入力・並び替え			渡邉		
第10回	Excel (2)関数、データ貼り	り付け			渡邉		
第11回	Excel (3)グラフ、印刷				渡邉		
第12回	Web記事	≨を作成しよう				渡邉		
第13回	情報セキ	ニュリティについて	知ろう			渡邉		
第14回	PowerPo	ointを使おう				渡邉		
第15回	最終課題	シボート				渡邉		
授業に含む	まれる活動	「ィスカッション・討	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実験・実技)・ フィールドワーク		の活動 育等を含む	
		\circ		\circ	\circ)	
	型当教員の実務経験 小学校教諭、宮崎県教育研修センター長期研究員としての実務経験を活かして教育現場でのICTの 投業の関連 操作や活用法について教授する。					でのICTの		
・各回の内容について、これまでに身につけている知識や操作を確認し、必要に応じて事前に調べたり、練習したりしておく。			学習合計	計時間(h) 15時間				
事後学習		・復習し、理解や操作の習得が十分でなかった場合、受講者相互で 教え合ったり、教員へ質問したりする。 学習合計時 ・最終課題のために総復習をする。				時間(h)	15時間	

課題に対する フィードバックの 方法	・毎回のレポートについてのフィードバックは、次の時間に全体の場で行う。個別に対応が必要 な場合、授業支援ツールでの連絡やオフィスアワーの利用をする。
質問・相談方法	・授業の前後やオフィスアワー、授業支援ツールの連絡機能で対応する。
オフィスアワー	火曜日・水曜日 16:25~17:55 研究室(西館417号室)
テキスト	特になし
参考文献等	『30時間でマスター Office2019』 実教出版企画開発部 実教出版 2019年 1000円(税抜き)(ISBN:978-4-407-34835-4)
成績評価基準	・ I C T の基本的な技術を習得すること ・インターネットを理解し活用できること ・コンピュータを仕事や生活の道具として活用できる こと
成績評価の方法	・毎回の課題・振り返り(50%)と最終課題レポート(50%)で総合的に判断する。
GPA基準	
備考	・レポートは、メール・授業支援ツール を用いて提出すること(提出の仕方は授業で説明を行う)

11 [2		1 411- 3 3	イギゼロイー	TAID I A LANGE	010101			
科目名		レクリエーション	'沽動援助法 I	科目ナンバー	S12101	_		
担当者		福満 博隆						
授業形式		演習 関連するDPの番号 ②						
配当年次	<u> </u>	1		科目群の選択しょり	専門科目] [関連科	目]	
開講期		前期		卒業の選択・必修				
単位数 免許・資	松焦胡	1 選択:介護福祉士		<u>担当形態</u> リエーション・イ	単独 ンスト=	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -		
光町 貝	竹竹用取						/	10
授業の概	接	の特性と指導法を学びる。	会的意義や活動援助者 パ、レクリエーション活動におり -スポーツを中心に) の理	ける企画や運営の演習				
		2. レクリエーション種目イベ	가の企画と運営演習①)活動領域(地域社会,	学校教育	,職場,社	会福祉分	野等)を考
		慮した立案とその運営	宮方法を学ぶ。②企画3	立案と運営における役	割分担とク	゛ループワークを	学ぶ。	
		3. 企画と運営演習の)振返りと評価。					
		1. レクリエーショ	コン活動の社会的意	養と役割について理	解する			
授業の到	」達目標	2. レクリエーショ	ョン種目(ニュースを	ポーツ)の特性と指	導法を理	解する		
		3. スポーツ大会の)企画と運営方法に	ついて実践的に学ぶ	2			
授業計画	Ī						担	 当者
第1回	授業の進	め方とレクリエーション活	動の社会的意義に	ついて			福満	
第2回	レクリエーション	/種目としてのニュ	ースポーツの意義	について			福満	
第3回	ニュース	ポーツ種目の分類	[とゲームの特性に	ついて			福満	
第4回	ニュース	、ポーツ種目の指導	法と留意点につい	て			福満	
第5回	地域にお	sけるニュースポー	ツ大会の実践例と	社会的意義につい	て		福満	
第6回	地域にお	おけるニュースポー	ツ大会の企画・運	営の方法について			福満	
第7回	地域にお	らけるニュースポー	ツ大会の企画づく	りの演習			福満	
第8回	レクリエーション	⁄種目A(ソフトバレ	・一)を題材に生涯ス	スポーツ大会の運	営演習と	評価	福満	
第9回		⁄種目B(スポレック	,		.,		福満	
		⁄種目C(ユニホック	, = . =				福満	
第11回	レクリエーション	/種目D(ティーボー	-ル)を題材に生涯に	スポーツ大会の運	営演習と	評価	福満	
		スポーツ・ゲームの					福満	
		vジ・ザ・ゲームの 					福満	
第14回	楽しい健	は康づくり体操の実	践と指導法につい	て			福満	
第15回	企画と選	『営の演習に対する	振り返りとまとめ	1			福満	
₩₩1- ♠-	トトップチ	『ィスカッション・討訳	グループワーク	プレゼンテーション・発表	\$	験・実技)・		也の活動 育等を含む
投耒に召る	含まれる活動 フィールドワーク ※ICT教育等					H () C L O		
担当教員の実務経験と授業の関連								
事前学習		企画立案および運営演習のための打ち合わせや準備等の課題をグ ループで取り組む 学習合計			時間(h)	7 時間		
事後学習		演習の振り返りをまとめる 学習合語			時間(h)	8 時間		

課題に対する フィードバックの 方法	求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業後やオフィスアワーで対応する。
オフィスアワー	月曜日 12:05~12:55[講義前] (体育館)
テキスト	特になし
参考文献等	『レクリエーション活動援助法(介護福祉士養成講座6)』 中央法規出版 2007年 (ISBN-13: 978-4805828328)
成績評価基準	レクリエーション活動の社会的意義と役割及び.レクリエーション種目(ニュースポーツ)の特性と指導法を理解できること
成績評価の方法	授業態度 (20%) レクリエーション活動の社会的意義と役割についての理解度 (20%) レクリエーション種目 (ニュースポーツ) の特性と指導法の理解度 (20%) イベント企画内容と運営実践能力 (20%) レポートの評価 (20%)
GPA基準	
備考	

科目名		レクリエーション	· 汗 新 探 册 法 川	科目ナンバー	S12201			
			△到饭以広Ⅱ	バオロノンハー	312201			
担当者			福満一博隆					
授業形式		演習 1		関連するDPの番号	# 5 (2)			
配当年次 開講期		1 後期		科目群 卒業の選択・必修			† H]	
単位数		1		担当形態	単独			
免許・資	格情報	選択:介護福祉士	-	リエーション・1		- - - - - -		
7011 9	AI FII II		•					
177 YH	. —	エー ション活動の値	体験と指導演習を通	や活動援助者として iして、活動援助能え 験し、その指導法を	力の習得向	上を図る。	,	
授業の概	世	グ、野外活 動の体験	験をする②ゲーム、	ダンス、ソングの打	旨導法を学	び実践すん	る③課題を	グループ
		で取り組み、コミニ	ュニケーション能力	を高める。				
		┃ ┃2.指導演習に対す	ける振り返りとまと	めを行う(評価)				
					 型解する			
授業の到	l達日標	2. レクリエーショ			-/3/			
JX -> 2.	正 日 IX			ーション能力を高め)る			
授業計画	1	0. / // // // // // // // // // // // //		ء تا ای دروازا د			+	₩ #
	-	, _	注動についての 紀	7=∺			担当者	
<u> </u>	オリエンテーション、野外活動についての解説				福満			
第2回		か体験(2泊3日の9					福満	
第3回	野外活動	カ体験(自然とのふ∤	ιあいを深める)				福満	
第4回	野外活動	か体験(仲間との協力	りして課題を解決 ⁻	する)			福満	
第5回	野外活動	か体験(課題を成しる	遂げる喜びの体験)				福満	
第6回	野外活動	体験(自分の可能性	生を見つめ直す)				福満	
第7回	野外活動	か体験(知的障害者と	との交流体験)				福満	
第8回	アイスフ	^で レイク(つどいの	演出)の体験と指	i 導法について			福満	
第9回	導入から	展開へのゲーム、	ダンス、ソングσ)指導法の練習(グ.	ループ活動	動)	福満	
第10回	導入とし	,てのゲーム、ダン	ス、ソングの指導	 演習と振り返り	平価		福満	
第11回	導入から	展開へのゲーム、	ダンス、ソングの)指導演習と振り過	返り評価		福満	
第12回	展開から	まとめのゲーム、	ダンス、ソング <i>σ</i>)指導法の練習(グ.	ループ活動	動)	福満	
第13回	グループ:	ダイナミックな展開る	としてのゲーム、ダン	ンス、ソングの指導派	寅習と振り	返り評価	福満	
第14回	グループ頁	意識を持たせるまとめ	としてのゲーム、ダン	ンス、ソングの指導演	資習と振り』	支り(評価)	福満	
第15回	グルーフ	プワークに重点を置	これたが よの体験と	: 指導法について			福満	
塪丵/- 今:	まれる活動	ディスカッション・討	グループワーク	プレゼンテーション・発表	表	験·実技)・ ·ドワーク		也の活動 育等を含む
以来に占る	メイレ⊘ /白剉		0	\circ)		
	担当教員の実務経験と授業の関連							
事前学習	事前学習 指導実践のための打ち合わせや練習等の課題をグループで取り組む 学習合計			時間(h)	7 時間			
事後学習		演習の振り返りをまとめる 学習合計時				— — 時間(h)	8 時間	

課題に対する フィードバックの 方法	求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業後やオフィスアワーで対応する。
オフィスアワー	月曜日 12:05~12:55 [講義後] (体育館)
テキスト	特になし
参考文献等	『レクリエーション活動援助法(介護福祉士養成講座6)』 中央法規出版 2007年 (ISBN-13: 978-4805828328)
成績評価基準	レクリエーション活動の社会的意義と役割及び.レクリエーション種目(ニュースポーツ)の特性と指導法を理解できること
成績評価の方法	授業への参加態度・活動への取り組み姿勢(50%) ゲーム指導の実践能力(30%) レポートの評価(20%)
GPA基準	
備考	

科目名	介護ホスピタリティ	科目ナンバー	S12104				
担当者	竹中正巳、浜崎眞美、福永宏子、久留	中正巳、浜崎眞美、福永宏子、久留須直也、下田代修子、有馬順子					
授業形式	演習	関連するDPの番号	2				
配当年次	1	科目群	専門科目				
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択				
単位数	1	担当形態	オムニバス				
免許•資格情報	必修:介護コンシェルジュ						

授業の概要	介護福祉の現場で役立つ知識や技術の向上に役立つ、聴覚障害者の理解・支援、認知症の理解・支援(ハンドマッサージ等)、メイクの技術、視覚障害者の理解・支援についてを授業の中で扱っていく。各分野で活躍している先生方による授業(オムニバス形式)であり、具体例を挙げながら説明する。
授業の到達目標	1. 聴覚障害者や認知症のある方、視覚障害者の理解や具体的支援方法を身につけることができる。 2. 介護現場で印象よく感じてもらうためのポイントやメイク術を身につけることができる。

授業計画		担当者
第1回	オリエンテーション(本科目の概要、学び方、介護コンシェルジュ資格について)	Α
第2回	聴覚障害の理解 実技:名前の表現・挨拶の表現・家族の表現	下田代 修子
第3回	聴力検査について、補聴器について 実技:趣味の表現・数字の表現	下田代 修子
第4回	学外実習(器材や用具を実際に使用してみる) 実技:時刻の表現	下田代 修子
第5回	重複障害 盲ろう者に応じた介護、聴障者との交流 実技:介護現場で使用する用語の表現	下田代 修子
第6回	まとめ(ロールプレイ) 実技:介護現場で使用する用語の表現・自己紹介表現のまとめ	下田代 修子
第7回	認知症者の理解	有馬 順子
第8回	認知症ケアの基本	有馬 順子
第9回	ハンドマッサージの基本	有馬 順子
第10回	ハンドマッサージの実践	有馬 順子
第11回	認知症ケア(まとめ)	有馬 順子
第12回	印象のよいメイク術(基本)	A•学外講師
第13回	印象のよいメイク術(実践)	A·学外講師
第14回	視覚障害者の理解(見学学習)	А
第15回	視覚障害者への支援(見学学習)	Α

授業に含まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実駅 フィール		その他の活動 ※ICT教育等を含む	
12x1=100100/123	0	0		C			
担当教員の実務経験 と授業の関連							
事前学習	授業計画を確認し、意味の分からない用語は調べておくこと。 学習合計時間(h) 30時間						30時間
事後学習 学習内容の振り返りを行う。わからない部分については、調べたり質問を したりする等で理解すること。 学習合計時間(h)				30時間			

課題に対するフィード バックの方法	課題を課した場合、求めに応じて個別に対応する。
質問·相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。
オフィスアワー	火曜日 16:20~16:40 講義室

ļ	-
テキスト	『最新·介護福祉士養成講座 生活支援技術皿』介護福祉士養成講座委員会編集 中央法規 2019年 2 200円 (ISBN:978-4-8058-5768-7)
参考文献等	
成績評価基準	聴覚障害者の理解・支援、認知症の理解・支援(ハンドマッサージ等)、メイクの技術、視覚障害者の理解・支援について、具体的な方法の基礎を身につけることができることで合格とする。
成績評価の方法	聴覚障害の理解:実技及びレポート課題(30%)、認知症ケア:実技及びレポート課題(30%)、メイク:実技及びレポート課題(20%)、視覚障害の理解:レポート課題(20%)を総合的に判定する。
GPA基準	
備考	①介護ホスピタリティ(1年前期開講科目)、②レクリエーション・ワーク(2年前後期開講科目)、③介護の日イベントへの参加 ①②科目を履修し単位を修得することと、③介護の日(11月11日)イベントへの参加により『介護コンシェルジュ』を取得することができる。 A:竹中正巳、浜崎眞美、福永宏子 久留須直也

専 門 科 目

食物栄養学専攻

科目名		公衆衛生学 I 科目ナンバー S21216							
担当者		郡山 千早		<u> </u>	3				
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	<u>(1)</u>				
配当年次		1		科目群		「社会生	 生活と健康]		
開講期				卒業の選択・必修			711 - 1213		
単位数									
免許・資格情報 必修:栄養士・栄養教諭									
個人に対する医学のみでは疾病の予防、治療に限界がある。公衆衛生学は人間を集団とみな 的側面から介入することで人間の健康を維持する学問である。本講では、私たちの身の回りの 環境汚染が、人々にどの様な健康影響を及ぼすのかを簡単に概説し、これらの健康影響から、 生活をまもるために、日本ではどの様な社会保障制度や仕組みが整えられているのかを理解 人々が健康な社会生活をおくる為に必要な知識を身につけさせる。					の環境やら人々の				
授業の到	1. 公衆衛生学が身近な問題であることを認識できるようになる 2. 社会生活において健康増進の大切さを理解する 3. 健康増進への取組みが行われている組織・活動を理解する								
授業計画	Ī						担当者		
第1回	公衆衛生	総論					郡山		
第2回	環境と健	康					郡山		
第3回	予防と健	康管理							
第4回	地域保健	<u>+</u>					郡山		
第5回	母子保健	<u>+</u>					郡山		
第6回	学校保健	1					郡山		
第7回	成人・高	齢者保健					郡山		
第8回	社会保障	制度					郡山		
第9回									
第10回									
第11回									
第12回									
第13回									
第14回									
第15回									
授業に含ま	「イスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク					との活動 育等を含む			
	担当教員の実務経験と授業の関連								
事前学習		テキスト及び配布資	料による復習			学習合計	学習合計時間(h) 15時間		
事後学習 身の回りの健康維持の取り組みについて調べてみる 学習合計時間				時間(h)	15時間				

課題に対する フィードバックの 方法	課題に対して、必要に応じて個別に対応を行う。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け 付ける。
オフィスアワー	水曜日 15:00~17:00 研究室(本館505号室)
テキスト	『社会・環境と健康 改訂第5版』 古野純典他 南江堂 2017年 3200円(税抜き) (ISBN; 978-4-524-25968-7)
参考文献等	『公衆衛生学がみえる』 赤澤宏平他 メディックメディア
成績評価基準	公衆衛生学に関する基礎的な知識を身につけたものは合格とする。
成績評価の方法	定期試験(70%)、小テスト・受講態度(30%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	

科目名	解剖生理学 I 科目ナンバー S21101						
担当者		河野 純			<u> </u>		
授業形式	<u> </u>	講義		関連するDPの番号	1		
配当年次	7	1		科目群	専門科目 [人体の	の構造と機	能]
開講期		前期		卒業の選択・必修	選択		
単位数		1		担当形態	単独		
免許・資	格情報	必修:栄養士・栄	養教諭				
栄養摂取を行う人体の構造と機能についての基礎知識を修得するために、人体の方向体の構成単位である細胞・組織・器官について説明する。細胞では、核・細胞質(細胞膜について解説する。組織では、4 大組織(上皮組織・結合組織・筋組織・神経経明する。この科目では器官系のうち神経系・皮膚・免疫系について講義する。神経系でる咀嚼筋(顎を動かす筋)や舌筋(舌を動かす筋)の神経支配、舌の触覚や味覚の神経情報)の神経伝導路、食欲の脳内機構などについて解説する。免疫系では食物アレルを			回小器官と細 目織)の特徴 ごは、栄養摂 怪伝導路、嗅	胞骨格)・ について説 取と関連す 覚(匂いの			
授業の到	」達目標	・人体の構成単位であ	を示す用語を適切に用いるる細胞・組織・器官に する細胞・組織・器官に 骨・免疫系について説明	こついて説明できる			
授業計画	Ī					担当者	
第1回	人体の構造	と区分、方向と位置を示	はす用語、人体の階層性、	細胞の構造と機能 そ	の1:構造の概観・核	河野	
第2回	細胞の構造と機能 その2:細胞質(細胞小器官と細胞骨格)・細胞膜、細胞の構造と機能 その3:細胞を 構成する物質とエネルギーの生成						
第3回	細胞の構造	きと機能 その4:細胞	関東の輸送体・受容体・	酵素、 組織 そのご	1:上皮組織・筋組織	河野	
第4回	組織 そ	の2:結合組織、	神経組織、 体液	とホメオスタシス		河野	
第5回	神経系の棚	既観、頭蓋腔・脊柱管・	・髄膜・血管・脳室系、	中枢神経系 その1	:脊髄の構造と機能	河野	
第6回	中枢神経	怪系 その2:脳の	構造と機能、中枢	[神経系 その3:	脳の高次機能	河野	
第7回	末梢神経	系(脳・脊髄神経の構	背造と機能、支配領域	、自律神経系)、栄	養摂取関連の神経系	河野	
第8回	皮膚の構	造と機能、免疫系	(生体の防御機構	<u> </u>		河野	
第9回							
第10回							
第11回							
第12回							
第13回							
第14回							
第15回							
授業に含む	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発書 実習(実験・実技)・ 授業に含まれる活動			9の活動 育等を含む			
	担当教員の実務経験 と授業の関連						
事前学習		備考に記載されてい に臨む	、 る授業計画のテキス	スト該当ページを読	んで講義学習合計	-時間(h)	8 時間
授業で配布するプリントを見直し、テキストの該当ページを読む 小テストの内容を復習し、類似の問題が定期試験で出題されたら、解答 できるようにする テキストの各章末にあるゼミナール問題を解いて、理解度を確かめる				2 2 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	小テストでは、答案回収後、解答例を配布する。学生は、小テスト後、直ちに自己採点を行うことで、結果を知ることができる。
質問・相談方法	授業後(オフィスアワーで)対応する。
オフィスアワー	土曜日 12:20~12:40 [授業後] (講義室)
テキスト	『系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学』 坂井建雄・岡田隆夫著 医学書院 2018年 3,800円(税抜き) (ISBN:978-4-260-03171-4)
参考文献等	 『カラー人体解剖学 構造と機能:ミクロからマクロまで』 F.H.マティーニ他著 井上貴央 監訳 西村書店 2003年 7,800円(税抜き) (ISBN:978-4-89013-305-5) 『脳入門のその前に』 徳野博信著 共立出版 2013年 2,200円(税抜き) (ISBN:978-4-320-05730-2) 『脳―「かたち」と「はたらき」―』 C. Watson, M. Kirkcaldie, G. Paxinos著 徳野博信訳 共立出版 2012年 5,500円(税抜き) (ISBN:978-4-320-05722-7)
成績評価基準	到達目標を踏まえて、人体の構造と機能についての基礎知識が理解できたと確認できた場合を合格 とする。
成績評価の方法	第3回/第5回/第7回の授業で実施する小テスト(10%)と定期試験(90%)の結果を総合して評価する。
GPA基準	
備考	授業計画のテキスト該当ページ 第1回: 17-20; 25-31 第2回: 31-43 第3回: 39-50 第4回: 50-55; 59-62; 386-390 第5回: 197-199; 361-365; 384-392; 395-397; 406-414 第6回: 397-435 第7回: 262-272; 409-418 第8回: 462-480

		_		_				
科目名	解剖生理学 II 科目ナンバー S21217							
担当者		竹中 正巳						
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	,	1		科目群	専門科目	[人体の)構造と機能]	
開講期		後期		卒業の選択・必修	選択			
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	免許・資格情報 必修:栄養士・栄養教諭							
講義は器官相互の位置関係も重視し、人体構造が立体的にとらえられるようにする。疾 授業の概要 させて人体の構造と機能を解説することにより、日常生活に役立つ内容にする。また、全 織・諸臓器の機能とその役割についても十分に解説する。								
1. 人体構造の仕組みと働きを理解する。 授業の到達目標 2. 器官相互の有機的関連を考え、その根底にある人体の原理を知る。 3. 人体の構造と機能を多面的にとらえられるようになる。								
授業計画	Ī						担当者	
第1回	細胞・維	回・組織・外皮・中枢神経・末梢神経の構造と機能					竹中	
第2回	消化吸収	(消化管の構造と	機能)				竹中	
第3回	消化吸収						竹中	
第4回	消化吸収	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				竹中		
第5回	呼吸器の	構造と機能					竹中	
第6回	心臓・血	1管(心臓、動脈、	静脈の形態と機能)			竹中	
第7回	血管・リ	ンパ管(血液の組	成と機能、血圧と	その調節、リンパ	管の構造	と機能)	竹中	
第8回	泌尿器((腎臓の構造と機能	、尿、排尿路の構	造と機能)			竹中	
第9回	自律神経と	: 内分泌(視床下部、下	垂体、甲状腺、上皮小	体、膵臓の各ホルモン	の作用と分	泌調節)	竹中	
第10回	内分泌(- (副腎、性腺の各ホ	ルモンの作用と分	泌調節)			竹中	
第11回	骨格・関	節の構造と機能					竹中	
第12回	筋肉の構	 賃造と機能					竹中	
第13回	感覚器((眼・耳・舌・鼻の	構造と機能)				竹中	
第14回	生殖器(卵巣の構造と機能)、人体の発生(受	精と胎児	の発生)	竹中	
第15回	ヒトの成	表と老化					竹中	
授業に含ま	ディスカッション・討議 グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク			その他の活動 ※ICT教育等を含む				
		0	O					
担当教員の実務経験と授業の関連								
事前学習		テキストをよく読ん	,で講義に臨む			学習合計時間(h) 15時		15時間
事後学習 講義後はテキストの各章末にあるゼミナール問題を解いて、理解度 を確かめる 学習合計時間(h)			時間(h)	3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合、受講者の求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	木曜日 12:10~12:50 研究室(本館502号室)
テキスト	『系統看護学講座 1 解剖生理学』 坂井建雄・岡田隆夫 医学書院 2018年 3,800円(税抜き) (ISBN: 978-4-260-03171-4) 解剖生理学ワークブック 『系統看護学講座』準拠 坂井建雄 医学書院 2019年 2000円(税抜き)(ISBN 978-4-260-03824-9)
参考文献等	『カラー人体解剖学-構造と機能:マクロからミクロまで』 井上貴央監訳 西村書店 2003年 7,800円(税抜き)(ISBN : 978-4-890-13305-5)
成績評価基準	到達目標を踏まえて、解剖生理学の概要が理解できたと確認できた場合、合格とする。
成績評価の方法	毎授業ごとの小テストの結果を合算(100%)して評価する。
GPA基準	
備考	

科目名		栄養生化学 科目ナンバー S21102						
担当者		住澤 知之						
授業形式	<u>`</u>	講義		関連するDPの番号	(1)			
配当年次	7	1		科目群	専門科目] [人体の	構造と機	 能能]
開講期								
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資格情報 必修:栄養士・栄養教諭								
授業の概	後期に学ぶ栄養素の代謝や機能を理解するための基礎的な知識として、三大栄養素の化学的造や特徴を通し、三大栄養素とはどのような物質であるのかを解説する。また、食事を摂取す 味を理解するために、生体内での主たるエネルギー源であるATPの産生にいたる代謝の概要にも説明する。特に、代謝をつかさどる酵素とその反応の特徴と調節について詳説する。さらにと遺伝の仕組みの基礎理解のために、ヌクレオチドと核酸についても解説する。				取する意 要について			
授業の到	達目標		を酸について、化学∜ ∙ルギー産生の流れに	構造や特徴から説明⁻ こついて説明できる	できる			
授業計画	Ī						担当者	
第1回	生化学を	:学ぶために必要な	化学の基礎知識				住澤	
第2回	細胞と生	· 注体膜					住澤	
第3回	アミノ酸	第1(構造的特徴と2	分類①)				住澤	
第4回	アミノ酸	度2(分類②と性質)				住澤	
第5回	ペプチド	、とタンパク質、酵	素1(酵素とは)				住澤	
第6回	酵素 2(酵素反応とその特征	数及び調節)				住澤	
第7回	糖質の化	2学1(単糖類)					住澤	
第8回	糖質の化	Ľ学 2 (二糖類と多料	 唐類)				住澤	
第9回	脂質の化	と学1(脂肪酸と単純	純脂質)				住澤	
第10回	脂質の化	之学 2 (複合脂質)、	生体エネルギー1	. (ATP)			住澤	
第11回	生体エネ	:ルギー 2 (電子伝)	圭系と酸化的リン 酮	镀化)			住澤	
第12回	中間代謝	付の概要1(代謝経過	路、糖質代謝)				住澤	
第13回	中間代謝	付の概要 2 (脂質代詞	射、アミノ酸代謝)			住澤	
第14回	ヌクレオ	-チド					住澤	
第15回	遺伝子、	核酸、染色体					住澤	
授業に含ま	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク			※ICT教	也の活動 育等を含む			
担当教員の					ı		1	
高校で学んだ化学や生物を復習し、 事前学習 学知識について身につけておくこと。				学的な考え方や基礎	を的な化 学習合計時間(h) 3 0 l			3 0 時間
事後学習 各回のプリントを見直して理解し、過去に出題された栄養士実力 認定試験の問題が解けるようにしておくこと。 学習合計時間(h				時間(h)	3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	各回の授業終了時に行う問題について、その都度、個別ないしはグループごとに指導することに より、フィードバックを行う。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。
オフィスアワー	火曜日 16:30~18:00 研究室(本館501号室)
テキスト	毎回プリントを配布するため、テキストは使用しない。
参考文献等	『ストライヤー 基礎生化学』 J. L. Tymoczko, J. M. Berg, L. Stryer 著・入村 達郎、岡山 博人、清水 孝雄 監訳 東京化学同人 2010年 7,900円(税抜き) (ISBN978-4-807-90747-2) 『ヴォート 基礎生化学 第5版』 D. Voet, J. G. Voet, C. W. Pratt 著・田宮 信雄、八木 達彦、遠藤 斗志也、吉久 徹訳 東京化学同人 2017年 7,600円(税抜き) (ISBN978-4-807-90925-4) 『生化学がわかる』 田中越郎 技術評論社 2011年 1,780円(税抜き) (ISBN978-4774148267)
成績評価基準	三大栄養素について、それぞれがどのような物質であるのか、生体内でのATP産生の概要、酵素反応の特徴と調節及びヌクレオチドと核酸について説明できたものは合格とする。
成績評価の方法	期末試験(100%)のみで評価する。
GPA基準	
備考	他学科開放科目

到日力		労養 <u>生</u> 化 学 11		初日十八八	001010			
科目名		栄養生化学		科目ナンバー	S21218			
担当者		住澤知之		田(十十7月00年日	1			
授業形式		講義				Γ I / 	<u> </u>	
配当年次 1 料目群 専門科目 [人体の				構造と機能				
	開講期 後期 卒業の選択・必修選択							
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	②許・資格情報 │必修:栄養士・栄養教諭							
私たちが健康的に生きていけるのは、体内で代謝が、滞りなく、正しく行われているからでる。そこで、三大栄養素が体内でどのように代謝されるのかについて解説する。また、私たち 内で日々行われている遺伝情報の活用や生体の恒常性維持の仕組みのすばらしさについても認る。さらに、栄養士として働くために必須である食物アレルギーの理解のため、免疫と生体防基礎やアレルギーについても解説する。					たちの体 も説明す			
授業の到	達目標		謝と遺伝情報の流れ 恒常性の維持とアレ					
授業計画	Ī						担当者	
第1回	解糖系						住澤	
第2回	クエン酸						住澤	
第3回	糖新生と						住澤	
第4回	血糖調節	うとグリコーゲン代	 謝				住澤	
第5回	グリコー	-ゲン代謝とグルコ	ース以外の糖の代	 謝			住澤	
第6回	体内にお		リポタンパク質				住澤	
第7回	脂肪酸の)生合成					住澤	
第8回	脂肪酸の		レステロール合成				住澤	
第9回	アミノ基	 転移反応、酸化的	 脱アミノ反応、尿				住澤	
		応、アミノ酸由来					住澤	
-		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					住澤	
		"質生合成(翻訳)、	 免疫と生体防御				住澤	
							住澤	
-		の概略と制御機構					住澤	
-	第15回 主なホルモン					住澤		
授業に含ま	授業に含まれる活動 ディスカッション・討議 グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)			※ICT教	也の活動 育等を含む			
担当教員の と授業の関							l	
事前学習		前期の「栄養生化行っておくこと。	前期の「栄養生化学 I 」で学んだ、関連する内容について復習を 学習合計に				時間(h)	3 0 時間
事後学習 各回のプリントを見直して理解し、過去に出題された栄養士 認定試験の問題が解けるようにしておくこと。			§士実力	学習合計	時間(h)	3 0 時間		

課題に対する フィードバックの 方法	各回の授業終了時に行う問題について、その都度、個別ないしはグループごとに指導することにより、フィードバックを行う。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。
オフィスアワー	水曜日 16:30~18:00 研究室(本館501号室)
テキスト	毎回プリントを配布するため、テキストは使用しない。
参考文献等	『ヴォート 基礎生化学 第5版』 D. Voet, J. G. Voet, C. W. Pratt 著・田宮 信雄、八木 達彦、遠藤 斗志也、吉久 徹訳 東京化学同人 2017年 7,600円(税抜き) (ISBN978-4-807-90925-4) 『イラストレイテッド ハーパー・生化学 原書30版』 清水 孝雄 監訳・五十嵐 和彦、内海利男、大井 浩明、大森 司訳 丸善出版 2016年 7,600円(税抜き) (ISBN978-4-621-30097-8)
成績評価基準	三大栄養素の代謝、遺伝情報の流れ、ホルモンによる恒常性の維持及びアレルギーについて説明できたものは合格とする。
成績評価の方法	期末試験(100%)のみで評価する。
GPA基準	
備考	他学科開放科目 「栄養生化学 I 』の単位を修得しておくことが望ましい。

科目名		食品学総論 科目ナンバー S21103					
担当者		木戸 めぐみ	•				
授業形式	<u>.</u>	講義	関連するDPの番号	1			
配当年次 1 科目群 専門科目 [食品と衛生]							
開講期 前期 卒業の選択・必修必修							
単位数		2	担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:栄養士・栄養教諭・フー	ドスペシャリスト				
日本においては、現在多国籍、多種類、多形態の食品が豊富に出回り、多様な食品を口にす会が増えている。それに伴い食品に求められる役割も、栄養性、嗜好性に加えて、生体調節性岐にわたっている。本講義では、健康な食生活を営むために必要な食品を正しく選択できるよ食品成分の特徴を説明し、食品に関する基礎的知識を講義する。					節性と多		
1. 食品成分の特徴を理解する 授業の到達目標 2. 食品に関する基礎的知識を身につける 3. 健康な食生活を営むために必要な食品を正しく選択できる							
授業計画	Ī					担	当者
第1回	食環境	(世界や日本の食料事情を学ぶ)				木戸	
第2回	食品成分	表(食品成分表の内容構成を学	<u>.ζ;)</u>			木戸	
第3回	食品成分	表(食品成分表の数値の意味を	実際の計算で理解する)		木戸	
第4回	色素成分	、(食品本来の色や調理・加工に	よる変色)			木戸	
第5回	香気成分	、(食品特有、加工や微生物によ	るにおい等)			木戸	
第6回	呈味成分	、(味の成分、種類等について学	<u>.ζ;)</u>			木戸	
第7回	水(食品	中の水の性質を理解する)				木戸	
第8回	炭水化物	(食品中の炭水化物の種類と変	化を学ぶ)			木戸	
第9回	脂質(食	こ 品中の脂質の種類と性質、変化	を学ぶ)			木戸	
第10回	タンパク	質(食品中のタンパク質の種類	とその変化)			木戸	
第11回	ビタミン	(食品中に含まれるビタミンの	性質と変化)			木戸	
第12回	無機質	食品中のミネラルの働きや摂取	上の注意)			木戸	
第13回	機能性	食品の性質と表示について学ぶ)			木戸	
第14回	物性(テ	ウスチャーの意味を理解する)				木戸	
第15回	官能検査	(食品のおいしさを評価する方	法を学ぶ)			木戸	
	まれる活動	ディスカッション・計 グループワー	ク プレゼンテーション・発	表 しゅうしゅう	験・実技)・ シドワーク		也の活動 育等を含む
担当教員のと授業の関							
事前学習		授業で取り扱う項目について事前に	こ調べておく。		学習合計	時間(h)	3 0 時間
事後学習 不明な点について調べたり、質問する。いろいろな食品を実際に見 たり、触ったりする。 学習合計時間(h)				時間(h)	3 0 時間		

課題に対する フィードバックの 方法	授業中のミニテストや計算課題に関して、解説を行う。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け 付ける。
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00 研究室(本館505号室)
テキスト	『栄養科学イラストレイテッド 食品学 I 食べ物と健康一食品の成分と機能を学ぶ』 水品善之他 羊土社 2015年 2,600円(税抜き) (ISBN: 978-4-7581-0879-9)
参考文献等	特になし
成績評価基準	食品成分の特徴を理解すること。
成績評価の方法	期末試験(70%)、受講態度(30%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	他学科開放科目

科目名		食品学各論		科目ナンバー	S21219			
担当者		木戸 めぐみ						
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	配当年次 1 科目群 専門科目 [食品と領			: 衛生]				
開講期 後期 卒業の選択・必修 必修								
単位数 2 担当形態 単独								
免許・資格情報 必修:栄養士・栄養教諭・フードスペシャリスト								
食品には、様々な性質を持つ物質が含まれており、食品に含まれる物質の性質を良く理解することで、 食品に適した調理方法や保存方法を選択することができる。本講義では、各食品群の代表的な素材につ 食品に含まれる化学成分の特徴、鮮度保持、貯蔵方法などを食品の栄養的価値と関連付けて解説し、食べ への理解を深めることを目的とする。また、様々な食品に含まれる機能性成分が、どの様なメカニズムに 人体に作用するかについても概説する。					について、 、食品素材			
授業の到	達目標	1. 食品の成分特性、生理的機能について理解する 2. 食品の加工時における成分の変化について理解する 3. 食品の貯蔵法、加工法について理解する						
授業計画	Ī						担当者	
第1回	食品の分	↑類、食料の需給					木戸	
第2回	植物性食	品-穀類					木戸	
第3回	いも類、	甘味料					木戸	
第4回	豆類、種	実類					木戸	
第5回	野菜類						木戸	
第6回	果実類						木戸	
第7回	きのこ類	1、藻類					木戸	
第8回	動物性食	1品-魚介類					木戸	
第9回	肉類						木戸	
第10回	卵類						木戸	
第11回	乳類						木戸	
第12回	各種食品	 	類				木戸	
第13回	嗜好飲料	↓、酒類					木戸	
第14回	調味加工	食品類、保健機能	食品と健康用食品	等			木戸	
第15回 総括・まとめ 木戸								
授業に含む	まれる活動 ディスカッション・討議 グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク			その他の活動 ※ICT教育等を含む				
担当教員の						T		Γ
事前学習		授業で取り扱う項目	について事前に調へ	べておく。		学習合計	時間(h)	3 0 時間
事後学習	授業で小テストを実施するので、その内容について復習を行う。 いろいろな食品を実際に見たり、触ったりする。 学習合計時間(h)				3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	課題に対して、必要に応じて個別に対応を行う。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け 付ける。
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00 研究室(本館505号室)
テキスト	『栄養科学イラストレイテッド 食品学 II 食べ物と健康一食品の分類と特性、加工を学ぶ』 栢野新市他 洋土社 2015年 2、700円(税抜き) (ISBN:978-4-7581-0880-5)
参考文献等	特になし
成績評価基準	食品の持つ性質や加工特性に関する基礎的な知識を身につけたものは合格とする。
成績評価の方法	定期試験(70%)、小テスト(20%)、受講態度(10%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	

科目名		食品学実験 科目ナンバー S21104						
担当者		木戸 めぐみ		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1321104			
授業形式	<u>.</u>	実験		関連するDPの番号	<u>(1)</u>			
配当年次	*	1		科目群	_	 [食品と		
開講期	開講期が対対の対対は対対に対対しては対対に対対が対対に対対が対対が対対に対対が対対が対対に対対が対対が対対が対対に対対が対対に対対が対対が							
単位数								
後に続く各種の実験に興味を持ち、楽しく、安全かつ正確に実験できるように、実験に必要 授業の概要								
授業の到	1. 実験に必要な基礎知識を理解する 2. 基本操作を学び、基本的実験姿勢を身につける 3. 食品に対する理解を深める							
授業計画	Ī						担	当者
第1回	オリエン	ケーション(実験	に必要な基礎知識	と準備)			木戸	
第2回	水分定量	は(食品中の水分を	測定する)				木戸	
第3回	p H測定	(pH測定と緩衝能	を理解する)				木戸	
第4回	水酸化ナ	トリウムの標定(ファクターを求め	る)			木戸	
第5回	食酢中の	酢酸の定量(食酢	に含まれる酢酸%	を求める)			木戸	
第6回	カゼイン	′の分離(カゼイン	と乳清たんぱく質	の特徴を学ぶ)			木戸	
第7回	無機質の)定性と炎色反応(無機質の性質を知	る)			木戸	
第8回	糖の定性	(化学反応で糖質	の特徴を理解する)			木戸	
第9回	たんぱく	質の定性(たんぱ	く質とアミノ酸の	特徴)			木戸	
第10回	分光光度	計の練習実験(サ	ンプル量の求め方	を知る)			木戸	
第11回	グルタミ	ン酸定量(醤油中	の量を測定する)				木戸	
第12回	官能評価	(閾値、味の相互	作用を実際に確か	める)			木戸	
第13回	酵素の活	性測定(アミラー	ゼの糖化力を測定	する)			木戸	
第14回	酵素によ	る褐変、非酵素的	褐変(褐変の条件	を調べる)			木戸	
第15回	第15回 総括・まとめ			木戸				
I= 3//·	ディスカッション・討議 グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・			験·実技)・ ·ドワーク		也の活動		
授業に含まれる活動			0)	※ICT教	育等を含む
	担当教員の実務経験と授業の関連							
事前学習実験書に目を通し、実験内容を理解し、必要な準備を行う。		学習合計	学習合計時間(h) 10					
事後学習	後学習 実験内容をまとめ、レポートとして提出する。 学習合計時間(h)				15時間			

課題に対する フィードバックの 方法	実験説明の中で、レポート内容の説明も同時に実施する。レポート内容チェック後、返却の際、解説を行う。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け 付ける。
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00 研究室(本館505号室)
テキスト	授業で配布する資料
参考文献等	『食品学総論実験一実験で学ぶ食品学ー』 江角彰彦 同文書院 2018年 2,400円(税抜き)(ISBN:978-4-8103-1345-1)
成績評価基準	実験に必要な基礎知識を理解し、基本的実験姿勢を身につけ、食品に対する理解を深めること。
成績評価の方法	レポート(40%)、受講態度(20%)、期末試験(40%)
GPA基準	
備考	教育効果向上のため、2コマ(180分)×15回で実施する。

科目名		食品衛生学科目ナンバーS21105						
担当者		村山 恵美子			1			
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	,	1		科目群	専門科目	[食品と	∠衛生]	
開講期 前期 卒業の選択・必修選択								
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:栄養士・栄	養教諭・フードス	ペシャリスト				
様々な衛生管理が行われているにもかかわらず大規模化・劇症化する食中毒、環境汚染に由る食品汚染、流通の発達に伴う加工食品や食品添加物摂取量の増大、頻発する食品の偽証表示糧自給率の低下、輸入食品の増加等の実態に目を向け、安全、安心な食生活を送るためにはとれば良いかを考えさせる。					表示、食			
授業の到	1. 食品に関する安全面での現状認識を行う 2. 食中毒予防や衛生管理法を習得する							
授業計画	Ī						担	当者
第1回	食品の変	質(腐敗、変敗、変	で質の予防法を学ぶ	;)			村山	
第2回	食中毒総	論(食中毒の定義、	種類、発生状況を	:学ぶ)			村山	
第3回	自然毒食	食食中毒(きのこ、じゃがいも、青酸配糖体等) 村山				村山		
第4回	自然毒中	毒(魚類、貝類の書	 	-ブル)			村山	
第5回	微生物性	食中毒(感染型食中	中毒を学ぶ)				村山	
第6回	微生物性	食中毒(毒素型食中	中毒を学ぶ)				村山	
第7回	食品によ	る感染症・寄生虫	症を学ぶ				村山	
第8回	食品衛生	管理(日本のHA(ССРを理解する)				村山	
第9回	食品中の	汚染物質(カビ毒等	等による汚染を学ぶ。	;)			村山	
第10回	食品中の	污染物質(化学物質	質による汚染を学ぶ	;)			村山	
第11回	食品の器	具と容器包装(素材	オと衛生・環境汚済	₽を学ぶ)			村山	
第12回	食品添加	1物総論(分類、指定	官要件、使用・表示	(基準)			村山	
第13回	食品添加	1物各論(種類と用途	金を学ぶ)				村山	
第14回	有機栽培	・遺伝子組み換え	・放射線照射食品	を学ぶ			村山	
第15回	食品衛生	「生行政(食品安全行政/ 食品衛生関連法規を学ぶ) 村山						
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表		験·実技)・ ⁄ドワーク		也の活動 育等を含む
			0					
	担当教員の実務経験と授業の関連							
事前学習		前もってテキストに	日を通す			学習合計	時間(h)	3 0 時間
事後学習	不明な点について調べたり、質問する・食品を購入する時は、表示 を確認する 学習合計時間(h)				3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	課題に対して、必要に応じて個別に対応を行う。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け 付ける。
オフィスアワー	水曜日 15:00~17:00 研究室(本館505号室)
テキスト	『食べ物と健康 食品の安全 改訂第2版』 有薗幸司 南江堂 2018年 2700円(税抜き) (ISBN: 978-4-524-24532-1)
参考文献等	授業での配布資料等
成績評価基準	食品衛生に関する基礎的な知識を修得したものは合格とする。
成績評価の方法	定期試験(70%)、小テスト・受講態度(30%)により総合的に評価する。
GPA基準	
備考	

- ·		A = 45 · · · · · · ·		21 = 1	0015-:			
科目名	L L							
担当者		村山 恵美子			I a			
授業形式		実験		関連するDPの番号				
配当年次	,	1		科目群	専門科目	[食品と	衛生]	
開講期		後期		卒業の選択・必修	選択			
単位数 1 担当形態 単独								
免許・資	発格情報 必修:栄養士・栄養教諭							
最近、食中毒の増加や、ウィルスによる新たな感染症の出現、モラルの欠如による違法販売等の問題が生じている。この実験では、微生物実験と化学実験を通じて、衛生に関する基本的な問題点する。微生物実験では、身の回りの至るところに微生物が存在することを認識し消毒・滅菌の意義させる。化学実験では、食品や水、環境等に関する衛生上の問題点を認識し、安全な食生活とは何解させる。					題点を認識 意義を理解			
授業の到	達目標	1. 消毒・滅菌の意義を理解し、衛生観念を高める 2. 衛生上の問題点を認識する 3. 安全な食生活とは何かを理解する						
授業計画	Ī						担	当者
第1回	オリエン	ケーション (実験の	の説明、次回の準値	莆、実験計画)			村山	
第2回	手指の汚	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	下菌・浮遊菌の測	 定			村山	
第3回	手指の汚	· · · · · · · · · · · · · ·	下菌・浮遊菌の測	 定			村山	
第4回	細菌の形	が態観察(細菌を染色	色後、顕微鏡で観察	(する)			村山	
第5回	食品の徫	」 対生検査(各種条件で	での菌数の違いを確				村山	
第6回	発酵乳、	乳酸菌飲料中の乳	酸菌数測定による	成分規格			村山	
第7回	食中毒菌	面の検査(黄色ぶどう	う球菌、サルモネラ属菌	の検出)			村山	
第8回	耐熱性・	紫外線抵抗性試験	(菌の耐熱性や紫外				村山	
第9回	保存料()	ソルビン酸) の抗菌	力試験、薬剤感受	性試験			村山	
第10回	保存料()	ソルビン酸) の定量	、重金属(スズ) の	 抽出			村山	
第11回	重金属(2	スズ) の検出(缶詰中	中のスズ溶出量を測	 定する)			村山	
第12回	食品の腐	類 ・変質試験(揮発	き性塩基窒素、 ヒスタミ	ミンの検出)			村山	
第13回	食品中の)添加物検査(発色剤	別、漂白剤を検出す	-る)			村山	
第14回	水質試験	食(日常使用している	る水道水の水質検査	を行う)			村山	
第15回	環境衛生	環境衛生試験(風速 感覚温度 空気汚染度 照度 騒音) 村山						
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討議 グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク			もの活動 育等を含む			
担当教員のと授業の関			0		<u> </u>			
事前学習		実験書に目を通し、	実験内容を理解する	,		学習合計(時間(h)	5 時間
事後学習	実験の前にすべき内容を確認し、準備する 実験結果を観察し、レポートとして提出する 学習合計時間(h)				10時間			

課題に対する フィードバックの 方法	レポートや課題に対して、必要に応じて個別に対応を行う。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。
オフィスアワー	水曜日 15:00~17:00 研究室(本館505号室)
テキスト	『食品環境実験50』 藤田修三 医歯薬出版 1999年 2,400円(税抜き) (ISBN-10: 4263703774)
参考文献等	配布プリント
成績評価基準	授業毎の実験を行い、その結果を適切にまとめることができたものは合格とする。
成績評価の方法	レポート・受講態度(60%)、定期試験(40%)で総合的に判定する
GPA基準	
備考	

科目名		栄養学総論	科目ナンバー	S21121				
担当者		住澤 知之						
授業形式	,	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	配当年次 1 科目群 専門科目 [栄養と			健康]				
開講期	開講期 前期 卒業の選択・必修 必修							
単位数	単位数 2 担当形態 単独							
免許・資格情報 必修:栄養士・栄養教諭・フードスペシャリスト								
人間にとって、生命を維持するために欠かすことのできないのが、バランスよく栄養素を摂取するこそこで、正しい『食』についての理解を深め、健康的な生活を送るための的確な栄養指導を行うためが生命や健康を維持するために欠かすことができない栄養素を、バランスよく、適切な量摂取するといついて、主な栄養素の消化・吸収、生理的な機能及び栄養評価の方法等を通して説明する。					めに、人間			
授業の到	打. 適切な栄養素の摂取により、自らが正しい食生活を実践できる 2. 健康に生きていくための、的確な食教育ができる							
授業計画	į						担	当者
第1回	オリエン	ケーション(栄養	とは?)				住澤	
第2回	糖質とそ	の消化・吸収					住澤	
第3回	血糖とそ	その調節、糖質のエネルギー源としての利用 住澤						
第4回	脂質とそ	の消化・吸収					住澤	
第5回	脂質の栄	養、たんぱく質と	その消化・吸収				住澤	
第6回	たんぱく	質の栄養1(窒素)	出納と生物学的評値	価法など)			住澤	
第7回	たんぱく	質の栄養 2 (化学)	的評価法など)				住澤	
第8回	ビタミン	1(ビタミンとは	・ビタミンA)				住澤	
第9回	ビタミン	⁄2(ビタミンD・	ビタミンE・ビタ	ミンK)			住澤	
第10回	ビタミン	′3(ビタミンB群(1))				住澤	
第11回	ビタミン	·4(ビタミンB群(②・ビタミンC)				住澤	
第12回	無機質(ミネラル) 1(無機	質とは・カルシウ	ム・リン)			住澤	
第13回	無機質(ミネラル) 2(その	他の主要無機質・	鉄)			住澤	
第14回	無機質(ミネラル) 3(鉄以	外の微量無機質)、	水・電解質の代謝	न		住澤	
第15回	5回 エネルギー代謝、摂食行動、食物繊維 住澤							
授業に含ま	************************************			育等を含む				
担当教員の							1	
事前学習		「栄養生化学 I 」で学ぶ関連する内容について復習を行っておく こと。 学習合計時間(h) 3				3 0 時間		
事後学習		各回のプリントを見直して理解し、過去に出題された栄養士実力 認定試験の問題が解けるようにしておくこと。 学習合計時間(h) 3 0 E				3 0 時間		

課題に対する フィードバックの 方法	各回の授業終了時に行う問題について、その都度、個別ないしはグループごとに指導することに より、フィードバックを行う。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。また、必要に応じてメール等による質問・相談も受け付ける。
オフィスアワー	火曜日 16:30~18:00 研究室(本館501号室)
テキスト	毎回プリントを配布するため、テキストは使用しない。
参考文献等	『日本人の食事摂取基準〈2020年版〉』 伊藤 貞嘉、佐々木 敏 監修 第一出版 2020年 2,800円(税抜き) (ISBN978-4804114088) 『健康・栄養科学シリーズ 基礎栄養学 改訂第5版』 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 監修 南江堂 2015年 2,800円(税抜き) (ISBN978-4-524-25825-3)
成績評価基準	生きていく上で必要な栄養素の適切な摂取により健康的な生活を送るための、栄養学的な基本となる考え方を理解できたものは合格とする。
成績評価の方法	期末試験(100%)のみで評価する。
GPA基準	
備考	他学科開放科目 「栄養生化学 I 」の単位を修得しておくことが望ましい。

科目名		応用栄養学	科目ナンバー	- S21222			
担当者		寺師 睦美					
授業形式	<u>.</u>	講義	関連するDPの番号	1			
配当年次	配当年次 1 科目群 専門科目 [栄養と			 :健康]			
開講期		後期	卒業の選択・必修	多必修			
単位数		2	担当形態	単独			
免許・資	免許・資格情報 必修:栄養士・栄養教諭						
人の各ライフステージにおける心身の成長発育の特性および変化と、運動や生活 授業の概要 の保持増進に必要な栄養管理の考え方を講義する。各ライフステージでの栄養評価 と特徴、発症予防の基礎知識、生活習慣との関連について説明する。							
授業の到	授業の到達目標 1. 各ライフステージの特徴、心身と生理機能の変化を理解する。 2. 運動や環境等に対応する適切な栄養管理の考え方を修得する。						
授業計画	Ī					担当者	
第1回	栄養管理	の基礎				寺師	
第2回							
第3回	妊娠期の)栄養管理(特性、問題点、疾患と生活	話習慣、栄養ケア)			寺師	
第4回	授乳期σ)栄養管理(特性、問題点、乳汁栄養、	疾患と生活習慣、	栄養ケア	7)	寺師	
第5回	新生児・	乳児期の栄養管理(特性、問題点、劑	望乳、疾患と生活	習慣、栄養	をケア)	寺師	
第6回	幼児期σ)栄養管理(特性、問題点、保育所給食	ま、疾患と生活習慣	買、栄養ケ	ア)	寺師	
第7回	学童期σ	栄養管理(特性、問題点、学校給食、	疾患と生活習慣、	栄養ケア	7)	寺師	
第8回	思春期の)栄養管理(特性、問題点、疾患と生活	話習慣、栄養ケア)	、小テス	 	寺師	
第9回	成人期の)栄養管理(特性、問題点、疾患と生活	話習慣、栄養ケア)			寺師	
第10回	更年期の)栄養管理(特性、問題点、疾患と生活	話習慣、栄養ケア)			寺師	
第11回	高齢期の)栄養管理(特性、問題点、疾患と生活	話習慣、栄養ケア)			寺師	
第12回	高齢期の)栄養管理(特性、問題点、疾患と生活	話習慣、栄養ケア)	、小テス	 	寺師	
第13回	運動と栄	養(身体活動と代謝、疾病と運動、栄	(養ケア)			寺師	
第14回	環境と第	養(生活環境と代謝、災害時の支援、	栄養ケア)			寺師	
第15回	総括、誤	題学習				寺師	
授業に含ま	まれる活動		プレゼンテーション・発	表	険·実技)・ ·ドワーク		也の活動 育等を含む
		0	0				
	担当教員の実務経験 管理栄養士として病院や福祉施設等での実務経験を活かし、健常者の栄養管理の考え方について教と授業の関連 授する。					ついて教	
事前学習	事前学習 教科書を予習し、わからない語句を調べる。 学習合計			学習合計	時間(h)	3 0 時間	
事後学習		応用栄養学実習と関連付けて復習する。 学習合計			 時間(h)	3 0 時間	

テーマに基づいて、調べたことをまとめる。

3 0 時間

課題に対する	講義内で課題のポイントを説明する。
フィードバックの	ユニパを活用する。
方法	課題の質問事項や改善点は、個別に対応する。
質問・相談方法	講義の後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	金曜日 14:40~16:10 研究室 (西館313号室)
テキスト	『Visual栄養テキストシリーズ 応用栄養学』 小間切美穂・桒原晶子編集 中山書店 2020年 2700円(税抜) (ISBN 978-4-521-74291-5)
参考文献等	『日本人の食事摂取基準(2020年度)』 伊藤貞嘉・佐々木敏監修 第一出版 2020年 2800円(税抜) (ISBN 978-4-8041-1408-8)
成績評価基準	各ライフステージの特性と適切な栄養基準に応じた栄養管理、運動や環境における健康の保持増進 に必要な栄養管理の考え方、生活習慣との関連について理解できる。
成績評価の方法	小テスト(20%)、課題(10%)、定期試験60分(70%)で総合的に評価する。
GPA基準	
備考	学内他学科・他専攻開放科目

科目名		応用栄養学実習		科目ナンバー	S22229				
担当者		寺師 睦美			<u> </u>				
授業形式	<u>.</u>	実習		関連するDPの番号	2				
配当年次	7	1		科目群	専門科目	[栄養と	と健康]		
開講期		後期		卒業の選択・必修	選択				
単位数		1		担当形態	単独				
免許・資格情報 必修:栄養士・栄養教諭									
人の各ライフステージにおいて、食事摂取基準に基づいた栄養管理の考え方、 授業の概要 食教育、健康増進及び疾病の発症予防に関する栄養管理方法を講義する。実習前 し、結果の検討・考察・評価、レポート作成など栄養管理を行う方法を講義する					前に実習方				
授業の到	1. 各ライフステージの栄養基準に基づく献立作成と、適切な食品の選択及び調理方法を習得で 授業の到達目標 る。 2. 実践的な栄養管理と食教育を行うことができるようになる。					習得す			
授業計画	Ī						担	当者	
第1回	応用栄養	学実習の意義と目	的				寺師		
第2回	乳児期栄	養(特性と問題点、	献立作成、調理の)工夫))			寺師		
第3回	離乳期栄	養(調乳実習)					寺師		
第4回	幼児期栄	党養(特性と問題点、	献立作成、調理の)工夫)			寺師		
第5回	幼児期栄	快養(保育所給食実習	3)				寺師		
第6回	幼児期栄	や養(保育所給食の基	基本、献立作成、調	問理の工夫)			寺師		
第7回	学童期·	思春期栄養(特性と	: 問題点、献立作成	は、調理の工夫)			寺師、A		
第8回	学童期·	思春期栄養(学校約	合食実習)				寺師		
第9回	成人期栄	党養(特性と問題点、	献立作成、調理の)工夫)			寺師	 寺師	
第10回	高齢期栄	や養(特性と問題点、	献立作成、調理の)工夫、媒体作成)			寺師		
第11回	高齢期栄	養(高齢者施設給食	この基本、介護嚥1	食実習)			寺師		
第12回	食教育の	基本(食教育の基本	的な考え方、指導	拿案と媒体の理解)			寺師		
第13回	食教育の)基本(指導案と媒体	体作成)				寺師		
第14回	食教育(発表と評価)					寺師		
第15回	総括						寺師		
授業に含る	まれる活動	ディスカッション・討議		プレゼンテーション・発表	フィール	験・実技)・ ・ドワーク		也の活動 育等を含む	
			0	0	(<u> </u>			
担当教員の		管理栄養士として病 いて教授する。	院や福祉施設等で <i>の</i>)実務経験を活かし、	健常者の	実践的なタ	栄養管理の	方法につ	
事前学習		授業範囲を予習し、	グループで課題に取	又り組む。		学習合計	時間(h)	15時間	
事後学習 実習内容をまとめて、レポートを作成する。				学習合計	合計時間(h) 15時間				

課題に対する	講義内で課題のポイントを説明する。
フィードバックの	ユニパを活用する。
方法	課題の質問事項や改善点は、個別に対応する。
質問・相談方法	講義・実習の後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	金曜日 14:40~16:10 研究室 (西館313号室)
テキスト	『改訂 応用栄養学実習-PDCAサイクルによる栄養ケア-』 柳沢幸江・松井幾子編著 建帛社 2020年 2400円(税抜) (ISBN 978-4-7679-0677-5) 『給食施設のための献立作成マニュアル第 9版』 赤羽正之他著 医歯薬出版株式会社 2016年 2600円(税抜) (ISBN 978-4-263-70659- 6)
参考文献等	『一品料理500選治療食への展開 第3版』 宗像伸子編著 医歯薬出版株式会社 2016年 5800円(税抜) (ISBN 978-4-263-70650-3) 『食品成分表』 香川芳子監修 女子栄養大学出版部 2021年 1500円(税抜) (ISBN 978-4-7895-1021-9)
成績評価基準	各ライフステージの特性と栄養基準に応じた栄養管理の考え方、適切な食品の選択と調理方法の工 夫を理解できる。
成績評価の方法	レポート作成(30%)、献立作成(10%)、課題演習(10%)、定期試験60分(50%)で総合的に評価する。
GPA基準	
備考	A:児玉

科目名		食事摂取基準・耐	· · · · 論	科目ナンバー	S 21123			
担当者		今給黎 菊代		141777	3 21123			
授業形式	-	講義		関連するDPの番号	. 1			
		再我 1			専門科目	「出業レ	· /# #=]	
配当年次				科目群		【木食と	.)健康]	
開講期		前期		卒業の選択・必修				
単位数	161++0	2	± +/∟=∧	担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:栄養士・栄	·養教諭					
授業の概	要			準に基づいた給与栄 を演習を含めて修得		食品構成	成への展開.	、および
1. 食事摂取基準を理解し、説明することができる 授業の到達目標 2. 対象者別に食事摂取基準を用いて、給与栄養量を算出し、食品構成を作成すること 3. 献立作成の手順を説明することができる					することが	できる		
授業計画	į						担当者	
第1回	食事摂取	マ基準【総論】(策ス	こおよび活用の基	本)			今給黎	
第2回	食事摂取	マ基準【総論】(策定	とおよび活用の基.	本、エネルギー・タ	栄養素の指	標)	今給黎	
第3回	食事摂取	マ基準【総論・各論] (各栄養素の策	定方法)			今給黎	
第4回	食事摂取	マ基準【各論】(エオ	ネルギー)				今給黎	
第5回	食事摂取	ス基準【各論】(た <i>A</i>	んぱく質、脂質、	炭水化物、エネル:	ギー産生栄	養素)	今給黎	
第6回	食事摂取	マ基準【各論】(ビタ	タミン類、ミネラ	ル類)			今給黎	
第7回	対象特性	別の食事摂取基準	、生活習慣病とコ	ニネルギー・栄養素	長との関連		今給黎	
第8回	食事摂取	(基準の活用まとめ	ı				今給黎	
第9回	献立作成	えの基礎(一汁三菜、	作成手順)				今給黎	
第10回	献立作成	成の基礎(食品構成作	作成、献立作成)				今給黎	
		の基礎(食品構成作					今給黎	
第12回	献立作成	(目安量、調味割合	<u>}</u>)				今給黎	
第13回	献立作成	は(もどし率、吸油率	率)				今給黎	
第14回	献立作成	就演習(青年期の献立	と作成)				今給黎	
第15回	献立作成	えのまとめ					今給黎	
授業に含ま	それる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発	実習(実験 オーフィール			の活動 育等を含む
担当教員のと授業の関		-	-		1			
事前学習		テキストを読み、お				学習合計	時間(h)	3 0 時間
テキストを読み直し、より詳しく知りたいところを調べ、理解でき 事後学習 なかったところは質問する.また、演習においては必ず再度理解で来 学習されたか確認をする.				—— 学習合計	合計時間(h) 3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	課題(定期試験を含む)を課した場合は、評価に対する改善点を個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後、およびオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	金曜日 13:00~14:00 研究室 (本館 504号室)
テキスト	『日本人の食事摂取基準』伊藤貞嘉、佐々木敏他 第一出版株式会社 2020年 2,800円(税抜) (ISBN978-4-8041-1408-8) 『ライフステージ実習栄養学 第7版 健康づくりのための栄養と食事』城田知子、林辰美他 医歯薬出版株式会社 2021年 2,200円(税抜) (ISBN978-4-7679-0613-3) 『日本食品標準成分表2020(七訂)』香川明夫、女子栄養大学出版部 2020年 1,400円(税抜) (ISBN978-4-7895-1020-2) 『調理のためのベーシックデータ 第5版』香川明夫、女子栄養大学出版部 2018年 1,800円(税抜) 抜) (ISBN978-4-7895-0323-5)
参考文献等	『演習栄養教育 第7版』大里進子、城田知子他 医歯薬出版株式会社 2019年 2,900円(税抜) (ISBN978-4-263-70679-4)
成績評価基準	食事摂取基準を理解し、説明することができ、献立作成の基礎を修得したものは合格とする
成績評価の方法	レポート(50%)、定期試験の成績(50%)で成績を評価する。
GPA基準	
備考	他学科開放科目

科目名	名 栄養指導論 科目ナン/			S21106		
担当者	瀬戸 良子					
授業形式		講義	関連するDPの番号	1		
配当年次		1	科目群	専門科目[栄養の	指導]	
開講期		前期	卒業の選択・必修	必修		
単位数		2	担当形態	単独		
免許・資	格情報	必修:栄養士・栄養教諭				
授業の概要		栄養指導論の具体的な教育目標は、厚生労働局長通知より「個人、集団および地域の栄養指導の基本的役割や栄養に関する各種統計について講義する。また、基本的な栄養指導の技術・方法を習得する。」と規定されている。よって、栄養指導論 I では、生活習慣病予防のために如何に食行動の変容を支援していくか、栄養士が栄養指導業務に従事するために必要な知識と技術を、理論的に学ぶことが主体となる。また、栄養指導論 II および栄養指導実習 I・II に連動するものである。				
授業の到	達目標	 栄養指導の概念について理解し、説明できる 栄養指導の歴史や法規を理解し、栄養士の役割を説明できる 栄養指導の方法論を理解し、栄養指導計画を立てることができる 				
授業計画	Ī				担当者	
第1回	栄養指導	の概念(栄養指導の意義・目的)			瀬戸	
第2回	栄養指導	の概念(栄養士と栄養指導)			瀬戸	
第3回	栄養指導	の概念(栄養士と栄養指導)			瀬戸	
第4回	栄養指導	の変遷(栄養指導・栄養改善の変遷)		瀬戸	
第5回	栄養指導	の変遷(栄養指導・栄養改善の変遷)		瀬戸	
第6回	栄養指導	の変遷(栄養指導の現状と展望)			瀬戸	
第7回	栄養指導	の変遷(栄養指導の現状と展望)			瀬戸	
第8回	栄養指導マネジメント (栄養指導の進め方) 瀬戸				- 11 - 11	
第9回	栄養指導マネジメント (栄養指導の技術) 瀬戸				瀬戸	
		に関する理論(行動変容の理論・モ	· · · · ·		瀬戸	
		に関する理論(行動変容の理論・モ	デル・概念)		瀬戸	
		に関する理論(カウンセリング)			瀬戸	
		に関する理論(カウンセリング)			瀬戸	
第14回	栄養指導	ド養指導と情報の収集・処理(栄養指導に必要な情報) 瀬戸 瀬戸				

授業に含まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実験・実技)・ フィールドワーク		その他の活動 ※ICT教育等を含む	
3,7,7,0,1,3,1	\circ						
担当教員の実務経験 と授業の関連	病院管理栄養士の実務経験を活かして、栄養指導について教授する。						
事前学習	テキストを読み、わからない語句を事前に調べておく 学習合計時間(h)					3 0 時間	
事後学習 テキストを読み直し、より詳しく知り なかったところは質問する			 こいところを調べ、理	 !解でき	学習合計師	時間(h)	3 0 時間

瀬戸

第15回 総論のまとめ、および栄養指導各論に向けて

課題に対する フィードバックの 方法	課題(定期試験を含む)を課した場合は、評価に対する改善点を個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後、およびオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	金曜日 13:00~14:00 研究室(本館 504号室)
テキスト	『イラスト栄養教育・栄養指導論 第5版』 城田 知子他 東京教学社 2019年 2,200円(税抜) (ISBN978-4-8082-6063-7) 『日本人の食事摂取基準(2020年版)』 菱田明・佐々木敏監修 第一出版株式会社 2020年 2,700円(税抜) (ISBN978-4-8041-1312-8)
参考文献等	特になし
成績評価基準	栄養指導の概念やそれに伴う知識や技術の理解、および習得が達成されたものは合格とする。
成績評価の方法	定期試験の成績(95%)、受講態度(5%)で成績を評価する。
GPA基準	
備考	他学科開放科目

科目名		栄養指導論Ⅱ	科目ナンバー	S22230		
担当者		瀬戸 良子				
授業形式 講義		関連するDPの番号	2			
配当年次 1 和 1			科目群	専門科目[栄養の指導]		
開講期	開講期 後期 卒業の選択・必修選択					
単位数		2	担当形態	単独		
免許・資	格情報	必修:栄養士・栄養教諭				
栄養指導論 I で学んだ基礎知識・技法をもとに、ライフステージ・ライフスタイク 題点を把握し、対象者の状況に応じた具体的な栄養指導の手法について講義する。 授業の概要 ために、健康増進につながる望ましい食習慣の確立や、適切な食事療法の実践などの の向上を目指して、食行動変容の実現を促す方法を講義する。また、望ましい食生活 画の立案を通して、食に関する自己管理能力を育成する方法を講義する。 1. 対象者に対して計画的に問題を解決することができる 2. 対象者に応じた栄養教育を媒体を使用して実施することができる 3. 行動変容の評価ができ、改善点を見出すことができる			ついて講義する。栄養指 事療法の実践などによる た、望ましい食生活を身 気する。	指導の目的を達成する るQOL(生活の質)		
授業計画				担当者		
第1回 ライフステージ別栄養指導(妊娠期・授乳期)					J— — H	
第1回	ライフス	テージ別栄養指導(妊娠期・授乳期)		瀬戸	
第1回 第2回		テージ別栄養指導(妊娠期・授乳期 テージ別栄養指導(乳児期))			
	ライフス)		瀬戸	
第2回	ライフス	テージ別栄養指導(乳児期))		瀬戸	
第2回	ライフス ライフス ライフス	テージ別栄養指導(乳児期) テージ別栄養指導(幼児期)			瀬戸 瀬戸	
第2回 第3回 第4回	ライフス ライフス ライフス ライフス	テージ別栄養指導(乳児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(幼児期))		瀬戸 瀬戸 瀬戸	
第2回 第3回 第4回 第5回	ライフス ライフス ライフス ライフス ライフス	テージ別栄養指導(乳児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(学童期・思春期)		瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	ライフス ライフス ライフス ライフス ライフス ライフス	テージ別栄養指導(乳児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(学童期・思春期 テージ別栄養指導(成人期・高齢期)	者)	瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	ライフス ライフス ライフス ライフス ライフス ライフス 健康障害	テージ別栄養指導(乳児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(学童期・思春期 テージ別栄養指導(成人期・高齢期 タイルと栄養指導(青年期・中高年)) 期・高齢期の単身	者)	瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸	
第 2 回 第 3 回 第 4 回 第 5 回 第 6 回 第 7 回 第 8 回 第 9 回	ライフス ライフス ライフス ライフス ライフス 健康障害 健康障害	テージ別栄養指導(乳児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(学童期・思春期 テージ別栄養指導(成人期・高齢期 タイルと栄養指導(青年期・中高年 と栄養指導(糖尿病とは))) 期・高齢期の単身 の食品交換表の基	者)	瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	ライフスライフスライフスライフスライフス健康障害健康障害	テージ別栄養指導(乳児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(学童期・思春期 テージ別栄養指導(成人期・高齢期 タイルと栄養指導(青年期・中高年 と栄養指導(糖尿病とは) と栄養指導(糖尿病療養指導のため)) 期・高齢期の単身 の食品交換表の基 の食品交換表の使	者) 遊) い方)	瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸	
第 2 回 第 3 回 第 4 回 第 6 回 第 7 回 第 8 回 第 9 回 第 1 0回 第 1 1 回	ライフスライフスライフスライフスライフス健康障害健康障害健康障害	テージ別栄養指導(乳児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(学童期・思春期 テージ別栄養指導(成人期・高齢期 タイルと栄養指導(青年期・中高年 と栄養指導(糖尿病をは) と栄養指導(糖尿病療養指導のため と栄養指導(糖尿病療養指導のため)) 期・高齢期の単身 の食品交換表の基 の食品交換表の使	者) 遊) い方)	瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸	
第 2 回 第 3 回 第 5 回 第 6 回 第 7 回 第 8 回 第 9 回 第 1 0回 第 1 1 回 第 1 2 回	ライフスライフスライフスライフスライフス健康障害健康障害健康障害	テージ別栄養指導(乳児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(学童期・思春期 テージ別栄養指導(成人期・高齢期 タイルと栄養指導(青年期・中高年 と栄養指導(糖尿病をは) と栄養指導(糖尿病療養指導のため と栄養指導(糖尿病療養指導のため と栄養指導(糖尿病療養指導のため と栄養指導(糖尿病療養指導のため) 期・高齢期の単身 の食品交換表の基 の食品交換表の使 の食品交換表の使	者) 礎) い方) 用)	瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸	
第 2 回 第 3 回 第 4 回 第 5 回 第 7 回 第 8 回 第 9 回 第 1 0回 第 1 1 回 第 1 2 回 第 1 3 回	ライフスライフスライフスライフスライフス健康障害健康障害健康障害健康障害	テージ別栄養指導(乳児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(幼児期) テージ別栄養指導(学童期・思春期 テージ別栄養指導(成人期・高齢期 タイルと栄養指導(青年期・中高年 と栄養指導(糖尿病療養指導のため と栄養指導(糖尿病療養指導のため と栄養指導(糖尿病療養指導のため と栄養指導(糖尿病療養指導のため と栄養指導(糖尿病療養指導のため と栄養指導(糖尿病療養指導のため と栄養指導(糖尿病療養指導のため) 期・高齢期の単身 の食品交換表の基 の食品交換表の使 の食品交換表の応 で食品交換表の応	者) 避) い方) 用)	瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸 瀬戸	

授業に含まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実駅 フィール	倹・実技)・ ドワーク		
12x () 1 8 4 0 0 7 1 3 1	0						
担当教員の実務経験 と授業の関連	病院管理栄養士の実務経験を活かして、栄養指導について教授する。						
事前学習	テキストを読み、わからない語句を事前に調べておく 学習合計時間(h)					3 0 時間	
事後学習	理解できなかったところは質問し、課された課題は必ず取り組む 学習合計時間(h				時間(h)	3 0 時間	

課題に対する フィードバックの 方法	課題(定期試験を含む)を課した場合は、評価に対する改善点を個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後、およびオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	金曜日 13:00~14:00 研究室(本館 504号室)
テキスト	『イラスト栄養教育・栄養指導論 第5版』 城田 知子他 東京教学社 2019年 2,200円(税抜) (ISBN978-4-8082-6063-7) 『日本人の食事摂取基準(2020年版)』 菱田明・佐々木敏監修 第一出版株式会社 2020年 2,700円(税抜) (ISBN978-4-8041-1312-8) 『糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版』 一般社団法人日本糖尿病学会編著 株式会社文光堂 2013年 900円(税抜) (ISBN978-4-8306-6046-7) 『腎臓病食品交換表 第9版-治療食の基準-』 黒川清監修医歯薬出版株式会社 2016年 1,500円(税抜) (ISBN978-4-263-70674-9)
参考文献等	『ライフステージ実習栄養学 第6版』 内田和宏他 医歯薬出版株式会社 2019年 2,400円(税 抜き) (ISBN978-4-263-70660-2)
成績評価基準	対象者の状況に応じた栄養指導の知識や技法の理解、および習得が達成されたものは合格とする。
成績評価の方法	定期試験の成績(100%)で成績を評価する。
GPA基準	
備考	他学科開放科目

科目名	名 栄養指導実習			科目ナンバー	S22241				
担当者		児玉 敬三		-					
授業形式 実習 関連			関連するDPの番号	0番号 ②					
配当年次	7	1		科目群	専門科目	I [栄養σ)指導]		
開講期 後期 卒業の選択・必修選択									
単位数 1 担当形態 単独									
免許・資格情報 必修:栄養士・栄養教諭									
授業の概要 栄養指導論 I・IIで得られた知識や技術を土台にして、健康・栄養状態、食行動 価・判定に基づき、栄養教育および栄養指導の指導案を作成し、教育することを 気									
授業の至	1. 個人の栄養状態、健康状態を把握することができる 授業の到達目標 2. 栄養アセスメントを実施できる 3. 指導案を作成し、栄養教育・指導を実施できる								
授業計画	Ī						担当者		
第1回	栄養教育	・栄養指導の基礎	知識(食事摂取基	準)			児玉		
第2回	栄養教育	・栄養指導の基礎	知識(食品構成表	の作成)			児玉		
第3回	栄養教育	・栄養指導の基礎	知識(献立作成の	基本)			児玉		
第4回	栄養教育	うい 栄養指導の基礎	知識(献立作成ソ	フトの使い方)			児玉		
第5回	実態把握	國の方法(栄養・食	事調査、生活調査	(-)			児玉		
第6回	実態把握	め方法(嗜好調査	・残食調査、統計	処理)			児玉		
第7回	実態把握	の方法(身体活動	状況調査)				児玉		
第8回	栄養教育	計導案および指導	媒体の作成				児玉	児玉	
第9回	医学的検	貧法(S0APの	書き方)				児玉		
第10回	食品交換	食表を利用した栄養	指導、献立作成				児玉		
第11回	献立作成	スソフトを利用した	献立作成と展開				児玉		
第12回	個人およ	び集団を対象とし	た栄養教育、カウ	ンセリング			児玉		
第13回									
第14回									
第15回									
授業に含む	まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発勃	Ħ	験·実技)・ ›ドワーク		也の活動 育等を含む	
				\circ	()			
担当教員の		病院管理栄養士の実	務経験を活かして、	栄養指導についてす	 数授する。				
事前学習		栄養指導論 ・ で 習に備える	習得した関連項目を	シテキストなどで確認	忍し、実	学習合計	時間(h)	10時間	
事後学習 実習で返却、演習したプリントを確実に理解する 学習合計時間(h				時間(h)	5時間				

課題に対する フィードバックの 方法	課題(定期試験を含む)を課した場合は、評価に対する改善点を個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後、およびオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	金曜日 13:00~14:00 研究室(本館 504号室)
テキスト	『イラスト栄養教育・栄養指導論 第5版』 城田 知子他 東京教学社 2019年 2,200円(税抜) (ISBN978-4-8082-6063-7) 『日本人の食事摂取基準(2015年版)』 菱田明・佐々木敏監修 第一出版株 式会社 2014年 2,700円(税抜) (ISBN978-4-8041-1312-8) 『糖尿病食事療法のための食品交換表 第7 版』 一般社団法人日本糖尿病学会編著 株式会社文光堂 2013年 900円(税抜) (ISBN978-4-8306-6046- 7) 『腎臓病食品交換表 第9版-治療食の基準-』 黒川清監修 医歯薬出版株式会社 2016年 1,500円(税 抜) (ISBN978-4-263-70674-9)
参考文献等	特になし
成績評価基準	対象者の実態把握から問題点を抽出し、栄養指導の指導案を作成し、それに沿った栄養指導を実施できたものは合格とする。
成績評価の方法	定期試験の成績(50%)、実習取組状況(50%)で成績を評価する。
GPA基準	
備考	※教育効果向上のため、2コマ(180分)×12回で実施する

科目名		公衆栄養学		科目ナンバー		S21224			
担当者		瀬戸 良子							
授業形式		講義		関連するDPの番号 ①					
配当年次		1		科目群	専門科目[栄養の指導]				
開講期		後期		卒業の選択・必修	多必修	必修			
単位数		2 担当形態 単独							
免許・貧	資格情報	必修:栄養士・栄養教諭							
授業の概要		集団の健康問題が栄養管理上どのような因子に基づくのか、そしてその問題解決に栄養はどうあるべきなのかについて学ぶ。わが国の栄養摂取の変遷と国民の健康と栄養状態の関連性について学び、これからの公衆栄養活動について講義する。							
授業の到達目標		1. 公衆栄養学の概念を理解し、説明できる							
		2. わが国の栄養政策を理解し、説明できる							
		3. 栄養疫学を理解	し、図表が示してい	ることを説明できる	3				
授業計画	7						+	\V \	
							担当者 瀬戸		
第1回		↑衆栄養の概念(公衆栄養の意義、役割) ↑毎栄養の概念(小衆栄養党の発展)					瀬戸		
第2回		の概念(公衆栄養学の発展) の概念(公衆栄養活動)							
第3回							瀬戸		
第4回		・養問題の現状と課題(国民健康・栄養調査結果の概要) ・ 素問題の現状と課題(国民健康・栄養調査結果の概要)					瀬戸		
第5回		・栄養問題の現状と課題(食生活の変遷)				瀬戸			
第6回		会養問題の現状と課題(食糧需給と自給率) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					瀬戸		
第7回					瀬戸				
第8回					瀬戸				
第9回					瀬戸				
	0回 健康・栄養政策(栄養指導の指針、ツール)				瀬戸				
	5.11回 地域・職域における食環境整備(食物・情報へのアクセス)					瀬戸			
	12回 地域・職域における食環境整備(地域・職域における栄養士の業務等)					瀬戸			
		域における食環境整備(災害時の栄養対策)					瀬戸		
	14回 世界の主要な健康・栄養問題(先進国・開発途上国) 15回 世界の主要な健康・栄養問題(栄養にかかわる国際機関)			瀬戸					
第15回	世界の主	医要な健康・宋養問	題(宋養にかかわ	る国際機関)			瀬戸		
授業に含まれる活動		ディスカッション・討議 グループワーク プレゼンテーション・発表		表	験・実技)・ 〃ドワーク				
TD 71. 71. 7	n ch 25 / 25 * 4				1]		
担当教員の	D実務経験 ^{関連}								
事前学習		テキストを読み、わからない語句を事前に調べておく 学習合計				時間(h)	3 0 時間		
事後学習		理解できなかったところは質問する				学習合計時間(h) 3 0 時		3 0 時間	

課題に対する						
フィードバックの	課題(定期試験を含む)を課した場合は、評価に対する改善点を個別に対応する。					
方法						
質問・相談方法	授業の前後、およびオフィスアワー等で対応する。					
オフィスアワー	金曜日 13:00~14:00 研究室(本館 504号室)					
テキスト	『エスカベーシック 公衆栄養学概論 2018/2019』 古畑公・田中弘之編著 同文書院 2012年 1,905円(税抜) (ISBN978-4-8103-1478-6)					
参考文献等	特になし					
成績評価基準	集団の健康問題を把握し、問題解決に栄養はどうあるべきなのか理解することができたものは合格とする。					
成績評価の方法	定期試験の成績(100%)で成績を評価する。					
GPA基準						
備考	他学科開放科目					

科目名		給食管理 科目ナンバー S21225					
担当者		児玉 むつみ					
授業形式	t	講義		関連するDPの番号	1		
配当年》	当年次 1 料目群 専門科目[給食の			専門科目[給食の			
開講期	後期 卒業の選択・必修 必修						
単位数		2		担当形態	単独		
免許・資	格情報	必修∶栄養士・栄養	教諭				
授業の概	既要	給食を運営するため 管理等に関する基礎	的知識を習得させる。	状立作成、調理技術・ℓ ことを目的とする。 		更に特定給食施設で 管理・給食施設の経営	
授業の至	削達目標	2. 給食運営に必要な	が給食管理の概要にては大量調理、衛生管理 は大量調理、衛生管理 理実習の運営計画が	について理解できる			
授業計画	<u> </u>					担当者	
第1回	オリエンラ	テーション、給食の概	既念			児玉	
第2回	特定給食	施設の定義と目的	、学校における給食	管理		児玉	
第3回	保育所·高	高齢者福祉施設∙病	i院における給食管3	理		児玉	
第4回	給食のシ	ステムと組織・人事	管理			児玉	
第5回	会計・原	西管理、給食の業務	茶委託			児玉	
第6回	給食の施	設•設備管理				児玉	
第7回	給食の安	¦全∙衛生管理(HAC	CPシステム等)			児玉	
第8回	事故•災署	害対策、ヒヤリハット	•			児玉	
第9回	栄養・食	事管理(献立計画等	=)			児玉	
第10回	栄養・食事管理の評価(食事摂取基準、調味等) 児玉					児玉	
第11回	食材管理(発注書等)、品質管理 児玉					児玉	
第12回	調理作業管理(作業工程表等) 児玉						
第13回 大量調理施設衛生管理マニュアル、調理の標準化 児ヨ				児玉			
第14回 まとめと確認 児3			児玉				
第15回	給食管理	実習の運営管理計	画			児玉	
哲業に今:	まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実験・実技)・ フィールドワーク	その他の活動 ※ICT教育等を含む	

授業に含まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実験・実技)・ フィールドワーク		その他の活動 ※ICT教育等を含む	
及来に日めれる石刻	0						
担当教員の実務経験 と授業の関連	栄養教諭の実務経験を活かして、給食管理について教授する。						
事前学習	教科書を使って事前学習を行う。 学習合計時間(h) 30時						30時間
事後学習	授業では前回の学習内容について小テストを実施する。 2年生の給食管理実習 I およびIVにおける大量調理を喫食し、授業の予備知識を得る。			学習合計時間(h)		30時間	

課題に対するフィー ドバックの方法	課題を課した場合は求めに応じ個別に対応し、次回授業時に全員に解説する。
質問·相談方法	授業の前後やオフィスアワーで対応する。
オフィスアワー	木曜日 12:00~15:00 研究室(南館104号室)
テキスト	改訂 給食の運営—栄養管理・経営管理— 建帛社2300円(税抜き)(978-4-7679-0663-8) 調理場における衛生管理&調理技術マニュアル 文部科学省 学建書院 1000円(税抜き)(ISBN 978-4-7624-0878-6)
参考文献等	『栄養士・管理栄養士のためのなぜどうして?⑥給食経営管理論』 医療情報化学研究所 メディックメディア 2018年 1500円(税抜き) (978-4-89632-729-8) 八訂食品成分表 香川明夫監修 女子栄養大学 1400円(税抜き)(978-4-7895-1019-6)
成績評価基準	給食の意義目的や特徴、給食運営に必要な大量調理・衛生管理について理解でき、次年度の給食管理実習の運営計画が概ね立案できること。
成績評価の方法	定期試験(100%)
GPA基準	
備考	他学科開放科目

科目名		調理学		科目ナンバー	S21107	,		
担当者		山﨑 歌織			1			
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	7	1		 科目群	専門科目	[給食σ	 の運営]	
開講期		前期		卒業の選択・必修	必修			
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:栄養士・栄	養教諭・フードス	ペシャリスト	1			
食べることは栄養摂取のためだけでなく生活に潤いやリズムを作り、食事を共に関係を良好にしたり精神的安定を得られるなど人間生活全体を豊かにするものできる。 授業の概要 は食材を料理にかえる最終段階を担う。よってその操作の適否が食べ物の美味していたの極めて大きい。調理学ではその概要を知り、調理操作や食品の調理特性を中心れらの理論を基に調理技術の向上や食生活の実践に役立つ理論を修得させる。					である。ま しさに影響	た、調理するとこ		
授業の到	」達目標	1. 調理学の意義や 2. 調理操作全般に 3. 食品素材別の調	こついて知る					
授業計画	Ī						担当者	
第1回	調理学の)基本:食文化と調	理の意義				山﨑	
第2回	調理操作	こと調理器具:非加	熱調理操作				山﨑	
第3回	調理操作	と調理器具:非加	熱調理器具				山﨑	
第4回	調理操作	と調理器具:加熱	調理操作				山﨑	
第5回	調理操作	と調理器具:加熱	調理器具				山﨑	
第6回	調理操作	と栄養:植物性食	品の特性;穀類				山﨑	
第7回	調理操作	と栄養:植物性食	品の特性;イモ類				山﨑	
第8回	調理操作	と栄養:植物性食	品の特性;豆類				山﨑	
第9回	調理操作	と栄養:植物性食	品の特性;野菜類				山﨑	
第10回	調理操作	と栄養:動物性食	品の特性;食肉類				山﨑	
第11回	調理操作	と栄養:動物性食	品の特性;魚介類				山﨑	
第12回	調理操作	と栄養:動物性食	品の特性;卵類				山﨑	
第13回	調理操作	と栄養:動物性食	品の特性;牛乳・	乳製品			山﨑	
第14回	成分抽出	素材の特性;でん	粉・油脂類・ゲル	化素材			山﨑	
第15回	総まとめ	・補足説明等					山﨑	
授業に含ま	ディスカッション・討議 グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク			その他の活動 ※ICT教育等を含む				
担当教員の					•	•	•	
事前学習	事前学習 次回の授業範囲についてテキストを読む 学習合			学習合計	合計時間(h) 3 0 時			
事後学習 復習として、専門用語の意味を理解する 日頃から調理操作を実行する 学			学習合計時間(h) 3 0 F		3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	提出した課題は、次回の授業で返却し質問にはその用紙にて回答し、必要な場合は解説を行う。
質問・相談方法	毎時授業時に質問票を配布し、その用紙に記入してもらう。相談は、オフィスアワー等で対応す る。
オフィスアワー	水曜日 15:00~17:00 研究室(西館 308号室)
テキスト	『調理学の基本』 中嶋加代子編著 同文書院 2020年 2,400円(税抜き) (ISBN:978-4-8103-1482-3) 『原色食品図鑑』 菅原、井上編集 建帛社 1974年 2,900円(税抜き) (ISBN:978-4-7679-6120-0)
参考文献等	『食品成分表』 香川明夫監修 女子栄養大学出版部 1,400円(税抜き) (ISBN:978-4-7895- 1018-9)
成績評価基準	調理学の意義や役割を理解し、基本的な調理操作について理解できていると判断された場合は、合格とする。
成績評価の方法	期末試験(85%)や課題レポート(10%)、受講態度(5%)により総合的に判定する。
GPA基準	
備考	

科目名	ス 調理学実習基礎 科目ナンバー S21108							
担当者		学園 直子		77 0 7 7 7 7	321100			
授業形式	<u> </u>	実験・実習		関連するDPの番号	1			
配当年次		天殿·吴自 1			専門科目 [給	合の		
開講期		<u></u> 前期		卒業の選択・必修		良の	'建名」 ——————	
単位数	· +⁄2 ,l= ±17	1	≠ 44.= △	担当形態	単独			
光計・貧	- · 資格情報 必修:栄養士・栄養教諭							
食に関する初歩的な調理操作を用いて、調理に必要な基礎知識や技術を指導する。調理実習後には登受業の概要 ことをレポートにまとめ、提出を求める。レポートのまとめ方を指導し、作成・提出・添削を通して認とめかたの基本を身につけられるよう導く。								
授業の到	達目標	1. 調理学実習を通2. 作業効率を考え		命や技術を学ぶ 内に実践できる力を身	すにつける			
授業計画	Ī						担	当者
第1回	講義①オ	リエンテーション.	、栄養計算の方法	(1)		1	堂園	
第2回	実習(計	量・切断①)クレ	ープオレンジソー	ス、サラダ			堂園	
第3回	実習(計	量・切断②)おに	ぎり、豚汁、酢の	 物			堂園	
第4回	講義②レ	ポートの書き方・	栄養計算の方法(2)		1	堂園	
第5回	実習(日	本料理①) ごはん	・味噌汁・魚の幽		物		堂園	
第6回	実習(日	本料理②) 芋ごは	ん・すまし汁・煮	魚・オレンジ羹・ネ	 緑茶	1	堂園	
第7回	実習(西洋	料理①)ピラフ・鶏の	クリーム煮・アスパラ	ガスのサラダ・ブラン	マンジェ・コー	<u>ا</u> ا	堂園	
第8回	実習(西洋	- 料理②)スパゲッティ	ィミートソース・マセ	ドアンサラダ・フルー	ツヨーグルト・	紅茶 !	堂園	
第9回	実習(中	国料理①)鍋炊きご	なん・八宝菜・肉[団子のスープ・芒果	布旬・ウーロン	ン茶!	堂園	
第10回	実習(中	国料理②)涼拌麺	・麻婆豆腐・牛奶	豆腐・ジャスミン	 茶		堂園	
第11回	実習(折	衷料理)麦ごはん・	かき卵汁・豚肉 <i>σ</i>)生姜焼・涼拌三絲	・フルーツポン	ンチ!	堂園	
第12回	講義③確	認テスト・調理学	実習基礎のまとめ			1	堂園	
第13回								
第14回								
第15回								
授業に含ま	まれる活動	ディスカッション・討	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実験・実技			の活動
担当教員の実務経験と授業の関連								
調理実習前には料理ごとのフローチャートをレポートに記入してお す前学習 く。また、その流れを予習し、当日の調理実習がスムーズに行える 学習合計 ようイメージトレーニングをする。				合計時	持間(h)	15時間		
調理実習終了後には学習した内容をまとめ、自己学習を含めたレポートを作成する。作成したレポートは次回の授業後に必ず提出す 学習合計時間(h) る。調理技術は授業だけでは向上しないので、各自で練習する。				持間(h)	15時間			

課題に対する フィードバックの 方法	レポート課題については、添削・返却し、訂正を各自行う。(必要に応じて再提出を行う) なお、添削内容に関して分からないことについては個別に対応する。レポート課題での不備が多い内容については、授業中にクラス全体に再指導する。
質問・相談方法	栄養士の基本となる授業ですので、分からないことはそのままにせず、気軽に質問して下さい。その他、 授業の内容や学習のしかたなど不安なこと・悩みなどありましたら相談して下さい。 可能な限り、オ フィスアワー時間以外でも対応します。
オフィスアワー	水・金曜日 8:40~12:40 (調理学実習室・講義室)
テキスト	調理学実習献立表プリント(毎回配布) 『七訂食品成分表2019』 香川明夫監修 女子栄養大出版部 2020年 1400円(税抜き) (ISBN13:9784789510196) 『NEW調理と理論』 山﨑清子ほか共著 同文書院 2011年 2600円(税抜き) (ISBN13:9784810313956)
参考文献等	『調理学の基本』 中嶋加代子編著 同文書院 ※講義や実習で配布するプリントも活用すること。
成績評価基準	課題プリント(献立作成など)は提出され、作成内容が基準に満たしており、調理学実習6回のレポートが全て提出済でかつ、筆記試験・実技試験の合格点に達した場合、合格とする。
成績評価の方法	調理学実習・レポート(60%)、筆記試験(確認テスト:20%)、実技試験(10%)、講義時課題 (5%)、受講態度(身だしなみ・授業中の姿勢:5%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	※教育効果を向上させるため、2コマ(180分)×12回で実施する。 ※授業が実習や実験の場合で、地震や台風などの自然災害や交通の影響で通学できない学生が小数 いた場合、通常の班編成を一部変更して実施する。多数の場合は休講し、補講を行う。 ※病欠や公欠等でやむなく授業に参加できない場合でも学習内容を理解するためにレポートは必ず 提出すること。

科目名		調理学実習 I		科目ナンバー	S22231			
担当者		山﨑 歌織			<u> </u>			
授業形式	<u>`</u>	実習		関連するDPの番号	2			
配当年次	7	1		 科目群	専門科目	[給食σ	の運営]	
開講期		後期		卒業の選択・必修	選択			
単位数		1		担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:栄養士・栄	養教諭・フードス	ペシャリスト				
食生活を健康に営むために、科学的・合理的な調理法や調理技術を学ばせる。内容理、西洋料理、中国料理を中心にそれぞれの料理様式の特徴を学び実習を実施するこを深めさせる。また、郷土料理や行事食を体験し日本の食文化を継承する意義についさらに、健康で楽しく適切な食生活のあり方について、常に季節を意識し一汁三菜を常食の献立立案と実践力を育成する。					することで こついて学	より理解 ばせる。		
授業の到]達目標	2. 基本的な調理の	・得を意識して実習に D知識・技術を身についた。 ドランスを考えた食い	つけて調理ができる				
授業計画							担	 当者
第1回	調理学実	- 『習の心得と実習実	施のための諸注意	と基本調理の確認			山﨑	
第2回	日本料理	型の特徴と調理①(親子丼、鮭のホイ	 ル焼き他)			山﨑	
第3回	日本料理	型の特徴と調理②	(赤飯、天ぷら他)			山﨑	
第4回	西洋料理	型の特徴と調理①	(コンソメスープ、	魚のムニエル他)			山﨑	
第5回	西洋料理	型の特徴と調理②(えんどうのポター	<u>ジュ、豚のカツレ</u>	ツ他)		山﨑	
第6回	中間まと	:め (これまでの復	夏習・確認)				山﨑	
第7回	中国料理	2の特徴と調理①	(エビのチリソース	(煮他)			山﨑	
第8回	中国料理	型の特徴と調理②(五目焼きそば、水				山﨑	
第9回	西洋料理	型の特徴と調理③(クリスマス料理)				山﨑	
第10回	日本料理	型の特徴と調理③(正月料理)				山﨑	
第11回	魚食普及	マと魚料理講習会(魚の卸し方と調理)			山﨑	
第12回	野菜切り	試験(野菜の皮む	き、切り方の確認)			山﨑	
第13回	実技・定						山﨑	
第14回								
第15回								
授業に含:	まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表		験・実技)・ レドワーク		也の活動 育等を含む
	0 0				0			
担当教員の					-		•	
事前学習 毎時間の事前資料を基に、料理レシピをフローチャート化する			学習合計	学習合計時間(h) 5 時				
事後学習 毎時間ごとに学習した内容をレポートにまとめ提出する 日々調理に携わり、食材の切り方等に慣れ技術の向上に努める 学習				学習合計時間(h) 10時		10時間		

課題に対する フィードバックの 方法	提出された課題やレポートに対し、評価基準に従い評価し早めに学生に返却する。質問事項がある 場合は、個別に回答する。
質問・相談方法	実習終了時やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	水曜日 15:00~17:00 研究室(西館308号室)
テキスト	『NEW調理と理論』 山崎清子ほか 同文書院 2011年 2,600円(税抜き) (ISBN:978-4-8103-1395-6) 『食品成分表』 香川明夫監修 女子栄養大学出版部 2019年 1,400円(税抜き) (ISBN:978-4-7895-1018-9) その他、実習レシピは毎時間配布する。
参考文献等	『調理学の基本』 中嶋加代子編著 同文書院 2020年 2,400円(税抜き) (ISBN:978-4-8103-1482-3) 『原色食品図鑑』 菅原、井上編集 建帛社 1974年 2,900円(税抜き) (ISBN:978-4-7679-6120-0)
成績評価基準	実習・課題レポートを全て提出し、調理学の知識や調理の要点を習得したと認められた者を合格とする。
成績評価の方法	実習・課題レポート(65%) 受講態度(20%) 実技・定期試験(15%) 以上により到達目標を達成しているか総合的に評価する。
GPA基準	
備考	教育効果向上のため、2コマ(180分)×12回で実施する。

科目名		化学		科目ナンバー	S21109			
担当者		横峯 孝昭						
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	7	1		科目群	専門科目	[関連科	4目]	
開講期	開講期 卒業の選択・必修選択							
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	免許・資格情報 選択:栄養士・栄養教諭							
私たちの身の回りには多くの物質が存在している。私たちはこれらの物質を適理したりしているだろうか。そのためには、素材の成分や性質をよく知り、これ方法を考えることが必要となる。そのための化学の基本を体得することが本講義た、生化学の高分子へその知識が接続できるようになることも目的の一つである					れにあった 	取り扱い		
授業の到	達目標	1. 原子、分子につ 2. 化学反応につい 3. 有機化合物の基)				
授業計画	Ī						担	当者
第1回	オリエン	ケーション					横峯	
第2回	もしも原	子が見えたなら	(配布プリントp1	10)			横峯	
第3回	もしも原	子が見えたなら	(配布プリントp1	.1-20)			横峯	
第4回	原子とそ	の分類 (配布プ	゚リントp1-10)				横峯	
第5回	原子とそ	の分類 (配布プ	'リントp11-20)				横峯	
第6回	原子とそ	の分類 (配布プ	'リントp21-30)				横峯	
第7回	物質の成	えり立ち (原子の	中身、素粒子につ	いて)			横峯	
第8回	物質の成	えり立ち (重さ、	量についての考え	方)			横峯	
第9回	原子とそ	の結合 (イオン	結合)				横峯	
第10回	原子とそ	で結合 (共有結	:合)				横峯	
第11回	物質の変	化 (中和反応、	酸化還元反応)				横峯	
第12回	物質の状	態と性質					横峯	
第13回	身近な有	機化合物					横峯	
第14回	食品に見	しる生体物質 ニュー					横峯	
第15回	総括						横峯	
授業に含まれる活動 ボイスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク				その他の活動 ※ICT教育等を含む				
担当教員の								
事前学習 小・中の頃に勉強した関連の内容について復習してください			`	学習合計時間(h) 3 0 日		3 0 時間		
単元終了時の次回の講義の初めに確認テストを行います。それに向 す後学習 けて各自ノート、配布資料をもとに復習を重点的に行ってください 学習合計時				 時間(h)	3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	課題をクリアーできなかった学生には個別に対応する
質問・相談方法	講義の前後、オフィスアワーで対応する
オフィスアワー	月曜日 16:30~18:00 研究室(西館401号)
テキスト	下記授業書を講義中に随時プリントとして配布する 『もしも原子が見えたなら』 仮説社 『原子とその分類』 仮説社
参考文献等	中学までの価格の内容を主に網羅した参考書であれば何でも良い 少々難しいが下記の参考書等を 掲載しておく 『食を中心とした化学』 東京教学社 『これからはじめる化学』 三共出版 『基礎科学と生命 科学』 光生館
成績評価基準	原子、分子についてのイメージが持て、かつそのイメージを持って化学反応式が説明できる。 調理に必要となる濃度計算ができるようになる。
成績評価の方法	講義中に課す課題の達成(70%) 受講態度(30%)
GPA基準	
備考	他学科開放科目

科目名	学校栄養教育論	科目ナンバー	S21110					
担当者	児玉 むつみ							
授業形式	講義	関連するDPの番号	1					
配当年次	1	科目群	専門科目[関連科目]					
開講期	前期	卒業の選択・必修	選択					
単位数	2	担当形態	単独					
免許•資格情報	選択:栄養士・栄養教諭							
授業の概要	児童生徒を取り巻く食の課題を踏まえ、栄養教諭の役割・職務内容及び食に関する指導の目標など学校給食を「生きた教材」として、学校教育活動全体で「食に関する指導」に取り組む重要性を講義する。さらに、各教科等や家庭・地域における連絡・調整などについて解説する。食に関する指導と給食の管理を一体のものとして行う栄養教諭の職務について総合的に理解させることを目的とする。							
授業の到達目標	1. 児童生徒を取り巻く食の課題を踏まえ、栄養教諭としての使命や職務内容の重要性を理解できる。 2. 教育に関する専門性及び栄養に関する専門性を横断的に身に付けることができる。 3. 食に関する指導の方法を理解し、実践力に繋げることができる。							

授業計画	授業計画			
第1回	オリエンテーション 栄養教諭の役割および職務内容 児玉			
第2回	学校給食の歴史、学校組織と栄養教諭	児玉		
第3回	子どもの発達と食生活、児童生徒を取り巻く食の課題	児玉		
第4回	学習指導要領と食育のあり方、食に関する指導の全体計画	児玉		
第5回	学校給食における栄養管理、年間指導計画	児玉		
第6回	学校給食における衛生管理、学校給食衛生管理基準	児玉		
第7回	給食の時間における食に関する指導	児玉		
第8回	各教科における食に関する指導の展開	児玉		
第9回	家庭科における食に関する指導	児玉		
第10回	体育科における食に関する指導	児玉•A		
第11回	特別活動(学級活動)における食に関する指導	児玉		
第12回	個別栄養相談指導、食物アレルギー対応、危機管理	児玉		
第13回	家庭・地域と連携した食に関する指導	児玉		
第14回	発達段階に応じた食に関する指導	児玉		
第15回	食育推進の評価、総括	児玉		

授業に含まれる活動	ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習(実験・実技)・ フィールドワーク	その他の活動 ※ICT教育等を含む
[[大水 -1	0	0	0	0	
担当教員の実務経験 と授業の関連	栄養教諭の実務経験	きを活かして、学校栄養	養教育について教授す	ける。	

事前学習	テキストにより、事前学習を行う	学習合計時間(h)	30時間
	授業では前回の学習内容について小テストを実施する。 観察参加実習への参加、模擬授業の実施	学習合計時間(h)	30時間

課題に対するフィー ドバックの方法	課題を課した場合は求めに応じ個別に対応し、次回授業において全員に解説する。
質問·相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	木曜日 12:00~15:00 研究室(南館104号室)
テキスト	『四訂 栄養教諭論: —理論と実際ー』 金田 雅代編 建帛社 2019年 2800円(税抜き)(978-4-7679- 2116-7) 食に関する指導の手引 第2次改訂版 文部科学省
参考文献等	小学校学習指導要領 文部科学省 小学校学習指導要領 総則編、家庭編、特別活動編、体育編 文部科学省 栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育 文部科学省 食生活食育教材 楽しい食事 つながる食育 文部科学省 よくわかる栄養教諭—食育の基礎知識— 同文書院
成績評価基準	栄養教諭の役割・職務内容、児童生徒の栄養に関する諸課題・食生活に関する歴史的・文化的事情、食に関する指導の方法を理解すること。
成績評価の方法	定期試験(100%)
GPA基準	
備考	A:大村

科目名		くらしとお茶 A 科目ナンバー S23115						
担当者		山﨑歌織、田中敏弘					 子	
授業形式	<u>.</u>	講義	4、1 小型为此为山、1411号为	関連するDPの番号		<u> </u>		
配当年次	,	1		科目群	専門科目	[関連科	 4目]	
開講期		前期		卒業の選択・必修	選択			
単位数		2			複数			
免許・資	格情報	選択:栄養士	選択必修:日本					
授業の概	茶は2千年以上にわたり、人類に好まれてきた歴史のある飲み物である。多くの研究により 効能・効果が明らかになり、健康飲料として認知される一方、茶の淹れ方や文化を知らない。 業の概要 えている。この授業では、茶の歴史や栽培法、機能性、性質や利用法に関する講義や、品質を 鑑定法、お茶の淹れ方等の実習を行う。これらの学びを通して日本茶アドバイザーとして必要 識を身につけ、茶文化の発展と普及に寄与する人材の育成を育成する。					い人も増 質検査・		
授業の到	達目標	1. 日本茶アドバイザーの意義、概要、役割を理解できるようになる 2. 茶に関する知識と理解を深める						
授業計画					担当者			
第1回	1回 オリエンテーション (日本茶アドバイザーの説明)				山﨑			
第2回	2回 歴史(日本茶、鹿児島茶の歴史を学ぶ) ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・					松﨑		
第3回	茶の利用](茶を使った料理	や活用法について	学ぶ)			山﨑	
第4回	茶業のあ	らまし(茶の生産	、消費、流通等を	学ぶ)			田中	
第5回	茶の栽培	: (種類別栽培・方	法を学ぶ)				田中	
第6回	茶の製造	1(製造方法を学ぶ)				田中	
第7回	茶の化学	(化学成分、品質	等を学ぶ)				木戸	
第8回	茶の健康	科学(効能、効果	等を学ぶ)				住澤	
第9回	茶の品質	[検査と鑑定(官能	検査法を学ぶ)				中禮	
第10回	茶の品質	検査と鑑定(鑑定	技術を学ぶ)				中禮	
第11回	インスト	ラクション技術(服装、話し方、接	客)			有馬	
第12回	インスト	ラクション技術(日本茶アドバイザ	ーとして必要な項	目)		中禮	
第13回	インスト	ラクション技術(日本茶アドバイザ	ーとしての実技)			中禮	
第14回	インスト	ラクション技術(茶の淹れ方)				中禮	
第15回	インスト	ラクション技術(茶の鑑定の実際)				中禮	
		ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表		験・実技)・	その他	也の活動
授業に含まれる活動		у тукуу у ду нама	0	0	フィール	<u>バワーク</u>	※ICT教育	育等を含む
	担当教員の実務経験 と授業の関連							
要前学習 授業前にテキストを読んでおく。課題や模擬試験に取り組み、自ら 学習する。 学習する。				時間(h)	3 0 時間			
事後学習 日常生活の中で、お茶の葉の種類、色や香り、味等を確認する 学習合計時間(h)				3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	課題が課された場合は、担当者が個別に指導を行う。
質問・相談方法	基本的には、授業の前後で質問・相談に対応する。その他、オフィスアワーで対応する場合もあ る。
オフィスアワー	集中講義開講期間 9:00~16:30 (各講義室)
テキスト	『日本茶アドバイザー講座Ⅰ、Ⅱ』NPO法人日本茶インストラクター協会 (協会による実習費に含まれるため、テキスト代として単独販売は行わない)
参考文献等	『シリーズ《食品の科学》茶の科学』村松敬一郎編、朝倉書店
成績評価基準	日本茶アドバイザーの意義、概要、役割を理解し、茶に関する知識と理解が深められた者を合格とする。
成績評価の方法	定期試験60分(70%)と実技テスト(30%)で総合的に評価する。
GPA基準	
備考	夏季休暇集中講義

科目名		教育心理学 科目ナンバー S21126						
担当者		宮里 新之介		1/17 J J / / / -	241170			
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	1			
配当年次	-	神我		科目群	_	1 「問事事		
		前期				[関連科	·日」	
開講期 単位数								
ア計・負	俗情報	選択:栄養士	必修· 宋袞	・ヒアヘルハー				
人がどのように発達するのか、どのように適応するのか、どのように学習するのか。 授業の概要 ニズムに関する基礎的な心理学の用語及び代表的な理論について説明する。また、その 学習や人間関係における適応の支援について考える力を育成する。								
授業の到	1. 学習、適応、発達(知能、社会性、道徳性)に関する基礎的な概念を理解し、説明できるの到達目標 2. 実証的なデータに基づき考えることができる 3. 学んだ理論と教育活動を関連させて考えることができる				*きる			
授業計画	Ī						担	当者
第1回	オリエン	オリエンテーション / 教育心理学とは何か					宮里	
第2回	発達の原	理					宮里	
第3回	発達と環	環境の関係						
第4回	知的発達	A 達について 宮					宮里	
第5回	道徳性の	発達について					宮里	
第6回	社会性の	発達について					宮里	
第7回	自己意識	は及び人間関係の発	達について				宮里	
第8回	個人差の)理解(知能と個人	.差)				宮里	
第9回	個人差の)理解(パーソナリ	ティ)				宮里	
第10回	適応とた	ロウンセリング					宮里	
第11回	代表的な	学習理論					宮里	
第12回	学習の課	₹程(○○づけと学	'習)				宮里	
第13回	アイデン	′ティティの形成					宮里	
第14回	生涯発達						宮里	
第15回	教師の影響力					宮里		
授業に含ま	まれる活動	でイスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク フレゼンテーション・発表 フィールドワーク					也の活動 育等を含む	
担当教員の実務経験 大学教員としての実務経験を活かし、基本的な心理学の知識や心理学的な考え方をベーと授業の関連 業を行う。				L うをベース	として授			
事前学習	事前学習 意味のわからない用語は辞書等で調べておくこと。 学習合計			時間(h)	3 0 時間			
事後学習 復習をして授業に臨む。 学習合計			学習合計	——— 時間(h)	3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した場合(定期試験を含む)求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー、また毎授業で実施する質問・感想記入シートへの回答で対応する。
オフィスアワー	木曜日 10:35~12:05 研究室(本館312号室)
テキスト	特になし
参考文献等	『教師教育テキストシリーズ 教育心理学』 杉江修治 学文社 2007年 1800円(税別) (ISBN978-4-7620-1654-7)
成績評価基準	学習、適応、発達(知能、社会性、道徳性)に関する基礎的な概念を理解し、実証的なデータに基づき考えることができること。
成績評価の方法	定期試験(80%)、毎時間の課題レポート(20%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	他学科開放科目

科目名		教職概論		科目ナンバー	教職概論 科目ナンバー S21112			
担当者		山元 有一		14 1 7 7 7 7	521112			
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	<u>(1)</u>			
配当年次		1)	[関連科		
開講期		前期		卒業の選択・必修			ш]	
単位数		2		担当形態	単独			
授業の概要 教員を社会的、歴史的、法的、倫理的に学ぶことを通して、教職を目指す者として知識で 面で今後何が必要であるのかを、自分自身を吟味しながら深めていく内容を提供する。					面や人格			
現代における教員の活動は多岐にわたり、しかも極めて重要である。本講義では、教職の意義 授業の到達目標 員の役割、教員の資質について考え、学生自らが教員としての適性を吟味し、また深める機会 る。								
授業計画	Ī						担	当者
第1回	1回 なぜ家庭でなく学校、親でなく教員なのか?一学校と教員の存在意義				山元			
第2回	教職の職	は業的特徴と使命—	教育の専門家にし	て全体的人間とし	ての教員		山元	
第3回	自分自身	分自身を知ること一「子どもは教員の鏡」 山元						
第4回	現代の社会	会と教育の動き―『教	育要領』、『指導要	領』からの読解と教員	員に求めら	れる事柄	山元	
第5回	栄養教諭	前の職務内容と求め	られる資質				山元	
第6回	幼稚園や	小学校における教	諭の職務内容と求	められる資質			山元	
第7回	学校内で	の連携一教員間の連	携、養護教諭や栄養	教諭との連携(学校	等のチー	ム化)	山元	
第8回	小幼連携	、小中連携、小保	連携、地域との連	携一学校等のチー	ム化(そ	の2)	山元	
第9回	子どものタ	里解を深め、教育力を	上げるにはどうするカ	か?一職員研修、生涯	に渡る学習	図の必要性	山元	
第10回	教育法規	1①一教育基本法					山元	
第11回	教育法規	②一学校教育法、	学校教育法施行規	則等			山元	
第12回	服務規律	生・守秘義務につい	て				山元	
第13回	教育観·	教師観の歴史的変	遷と現代				山元	
第14回	どんな子	どもを育てたいか	、どんなクラスを	作りたいか?			山元	
第15回	第15回 自分自身に即した教師像を求めて一教育の目的と教員の資質 山元							
授業に含ま	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク			その他の活動 ※ICT教育等を含む				
	担当教員の実務経験 と授業の関連							
事前学習	事前学習 各講義のの終わりに次回の内容についての事前学習について触れる 学習合計				時間(h)	3 0 時間		
事後学習 講義中に参考図書等の紹介で示すほか、オフィスアワー等で関連事 項や発展的内容について伝える 学習合計時間(時間(h)	3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	各講義や定期試験の事後学習支援の一環として、オフィスアワーを利用して個別に対応する。
質問・相談方法	講義の終了後に来談学生に対してオフィスアワーの対応時間を調整する。
オフィスアワー	水曜日、木曜日を除く15:00~17:00(西館4階406号室)。要事前連絡(連絡方法は初回の講義で 伝える)。
テキスト	『幼稚園教育要領』、『小学校学習指導要領』(文部科学省編)
参考文献等	特になし
成績評価基準	レポートが授業の到達目標」を満たしていること。
成績評価の方法	最終レポート(100%)
GPA基準	
備考	

科目名		情報機器演習		科目ナンバー	S21113				
担当者		渡邉 光浩							
授業形式	<u>.</u>	演習		関連するDPの番号	(1)				
配当年次	,	1		科目群	専門科目	[関連科	 斗目]		
開講期		前期		卒業の選択・必修	選択				
単位数		2		担当形態	単独				
免許・資	格情報	選択:栄養士	必修:栄養教諭						
コンピュータなどICT(情報通信技術)機器によるインターネット利用が広く普及しているに、モバイル機器やタブレットで写真を撮ったり、音楽や映像を楽しんだりと、情報メディス様化している。このような現在において、コンピュータやその他のICT機器操作の基礎を身に情報セキュリティに注意しながら、栄養士や栄養教諭の仕事でICT機器を活用できることを目					ィアも多 身につけ、				
授業の到	達目標	 コンピュータと セキュリティに 代表的なアプリ 	配慮した電子情報の)利用法を身につける					
授業計画	授業計画				担当者				
第1回	第1回 オリエンテーション ~ 情報機器とは				渡邉				
第2回	コンピュ	ピュータとインターネットの歴史 / キーボード入力					渡邉		
第3回	ブラウサ	けぜを使おう ~ ネット検索のコツ 渡邉							
第4回	短大のW	/i-Fiにつなごう /	情報セキュリティ	を学ぼう			渡邉		
第5回	電子メー	-ルを使ってみよう					渡邉		
第6回	Wordを使	吏ってみよう(1) ~	食育だよりを作る	551			渡邉	度邉	
第7回	Wordを使	吏ってみよう(2) ~	食事だよりを作る	5 5 2			渡邉		
第8回	Wordを使	吏ってみよう(2) ~ 扌	指導案を作ろう 1				渡邉		
第9回	Wordを使	吏ってみよう(3) ~ 扌	指導案を作ろう 2				渡邉		
第10回	Excelを任	使ってみよう ~ 会	計表を作ろう				渡邉		
第11回	PowerPo	ointを使ってみよう	(1) ~ 自分をプレ	·ゼンテーションし	よう		渡邉		
第12回	PowerPo	ointを使ってみよう	(2) ~ 教材を作っ	てみよう			渡邉		
第13回	実物投影	機を使ってみよう					渡邉		
第14回	著作権に	こついて考えよう /	´Webの記事を作用	成しよう			渡邉		
第15回	タブレッ	トPCを体験しよう	ı				渡邉		
授業に含まれる活動			グループワーク	プレゼンテーション・発表 -	実習(実験・実技)・フィールドワーク		※ICT教育	也の活動 育等を含む	
		0	0	0	(<u> </u>	(0	
担当教員の実務経験 小学校教諭、宮崎県教育研修センター長期研究員としての実務経験を活かして教育現場でのICT と授業の関連 作や活用法について教授する。					のICTの操				
・各回の内容について、これまでに身につけている知識や操作を確認し、必要に応じて事前に調べたり、練習したりしておく。			学習合計	習合計時間(h) 3 0 時間					
・復習し、理解や操作の習得が十分でなかった場合、受講者相互で 事後学習 教え合ったり、教員へ質問したりする。 学習合計版 ・最終課題のために総復習をする。				時間(h)	3 0 時間				

課題に対する フィードバックの 方法	・毎回のレポートについてのフィードバックは、次の時間に全体の場で行う。個別に対応が必要な場合、授業支援ツールでの連絡やオフィスアワーの利用をする。
質問・相談方法	・授業の前後やオフィスアワー、授業支援ツールの連絡機能で対応する。
オフィスアワー	火曜日・水曜日 16:25~17:55 研究室(西館417号室)
テキスト	特になし
参考文献等	『30時間でマスター Office2019』 実教出版企画開発部 実教出版 2019年 1000円 (税抜き) (ISBN: 978-4-407-34835-4) 『学校教育と情報機器』 堀田博史・森田健宏 ミネルヴァ書房 2018年 2200円 (税抜き) (ISBN: 978-4-623-081081-3)
成績評価基準	・コンピュータとネットワークの仕組みを知ること ・セキュリティに配慮した電子情報や代表的なアプリケーションの利用法を身につけること
成績評価の方法	毎回の課題・振り返り(70%)と最終課題レポート(30%)で総合的に判断する。
GPA基準	
備考	・課題は、授業支援ツール を用いて提出すること(提出の仕方は授業で説明を行う)

		7		•	ı				
科目名		教育原理		科目ナンバー	S21211				
担当者		山元 有一							
授業形式	<u>.</u>	講義 関連するDPの番号 ①							
配当年次	7	1		科目群	栄養教諭関連科目				
開講期		後期		卒業の選択・必修	<u> </u>				
単位数		2		担当形態	単独				
免許・資	格情報	必修:栄養教諭							
授業の概要		まず「教育とは何か?」を様々な観点から考え、ついで教育史から現代の教育の動向の必然性や 課題を探る。同時に、過去の教育(学)者からもこの問いに向かうことになる。これらを通して、 教育の理念、目的について学ぶ。							
授業の到	達目標	教育の基本的な考え 沿って教育と教育施			見野に収め	ながら、耄	対育史や教	育思想に	
授業計画	Ī						担:	 当者	
第1回	教育と個	日々人一成長の援助	と覚醒としての教	育			山元		
第2回	教育と地	2域・社会一有意味	な社会の再生産と	しての教育			山元		
第3回	教育と文化あるいは異文化一文化の伝承と増殖としての教育					山元			
第4回	児童中心	児童中心主義の理念一その誕生の経緯と内容、課題 山元							
第5回	第5回 近代家族の成立と学校一公教育制度の成立と世代の明確化				山元				
第6回	ソクラテ	ス・ルソー・フレ	ーベルー産婆術、	消極教育、「子ど	もから」		山元	1元	
第7回	ペスタロ	ッチの「生活が陶	冶する」一生活を	前提とした合科教	授の考え	方	山元		
第8回	デューと	「民主主義と教育	」一現代日本の学	!校の理念と歴史			山元		
第9回	現代教育	「の課題(その1)-	-少子化、遊び集[団・学習集団の縮力	1/化		山元		
第10回	現代の教	(育課題(その2)-	-社会問題としての	のいじめ(ネットイ	とも含めて	(5)	山元		
第11回	現代の教	(育課題(その3)-	-家庭問題としての	の虐待(歴史的事例	列も含めて	(5)	山元		
第12回	子どもと	教育目標としての	自立・自律一物語	等に見る成長課題	としての	自立	山元		
第13回	子供の成	え長と教育計画一意	図的教育と非意図	的教育			山元		
第14回	子どもの	成長と教員の人格	—「なるべきもの	になっていること	_		山元		
第15回	第15回 将来的にあるべき教育と学校の姿一国際化(社会化)と個性化 山元								
授業に含ま	・			その他の活動 ※ICT教育等を含む					
	世当教員の実務経験 と授業の関連								
事前学習	事前学習 各講義で次回の内容についての事前学習について触れる 学習合計			時間(h)	3 0 時間				
事後学習 講義中に参考図書等の紹介で示すほか、オフィスアワー等で関連事 項や発展的内容について伝える 学習合計時			— — 時間(h)	3 0 時間					

課題に対する フィードバックの 方法	各講義や定期試験の事後学習支援の一環として、オフィスアワーを利用して個別に対応する。
質問・相談方法	講義の終了後に来談学生に対してオフィスアワーの対応時間を調整する。
オフィスアワー	水曜日、木曜日を除く15:00~17:00(西館4階406号室)。要事前連絡(連絡方法は初回の講義で伝える)。
テキスト	特に使用しない
参考文献等	『経験と教育』ジョン・デューイ 講談社『学術文庫、『学校と社会』 ジョン・デューイ 岩波 文庫、そのほか、授業計画に挙げられている教育学者の著作(文庫で入手可能)。
成績評価基準	定期試験が上記の「授業の到達目標」を満たしていること。
成績評価の方法	定期試験(100%)
GPA基準	
備考	

科目名	目名 教育制度論		科目ナンバー	S23114					
担当者		 池田 哲之							
授業形式	<u>.</u>	講義 関連するDPの番号 ③							
配当年次		1 科目群 栄養教諭関連科目							
開講期		前期 卒業の選択・必修 一							
単位数		2		担当形態	単独				
免許・資	格情報	必修:栄養教諭							
授業の概要		・公教育の位相は時代・社会とともに変化するという事実を、戦前・戦後のわが国統治構造および 公教育 関係法令との対比において検証してゆく。 ・立憲主義理念に依拠した現代公教育の規範的特質を抽出するとともに、時事的教育問題を適宜取 り上げ、今日の公教育に求められる機能・役割を考察する。							
1. 近代公教育成立の社会背景を知り、その基本的枠組みについて理解している 授業の到達目標 2. 現行日本国憲法下の公教育制度の特質を、関係主要法令に基づき説明するこ 3. 公教育が直面する諸課題を認識し、課題解決に資する方策提示への視点がえ			ことができ						
授業計画	Ī						担当者		
第1回	公教育の	成立-諸外国の事	例 —				池田		
第2回	わが国公	つが国公教育の創出-明治前期の学校教育- 池田							
第3回	教育勅語	育勅語体制 - 戦前日本の公教育像 - 池田							
第4回	日本国憲	法と教育基本法					池田		
第5回	改正教育	基本法(1)-改	正の社会的・政治	的背景-			池田		
第6回	改正教育	基本法(2)-そ	の特徴と課題-				池田		
第7回	学校制度	の基本-学校教育	法を軸に-				池田		
第8回	教員養成	および教員研修制	度-教育職員免許	法・教育公務員特	例法を軸	にー	池田		
第9回	初等中等	教育行政と教育委	員会制度-地教行	法を軸に-			池田		
第10回	教育政策	の決定過程-政党	政治と文科省-				池田		
第11回	学校と地	□域社会−近年の動	静と連携制度				池田	 池田	
第12回	学校事故	て・事件の実相					池田		
第13回	学校危機	管理への視座-関	連法制および取組	且の実際-			池田		
第14回	現代公教	育の課題(1)-	「特別の教科」道徳の教授法・伝統日本文化教育私論			私論-	- 池田		
第15回	現代公教	(育の課題(2)-	主権者教育の方向	性-			池田		
授業に含ま	ディスカッション・討! グループワーク プレゼンテーション・発表 実習(実験・実技)・フィールドワーク		その他の活動 ※ICT教育等を含む						
	担当教員の実務経験と授業の関連								
事前学習		テキストの授業予定箇所を読み込み、不明部分は資料等を検索し調 べておく。 学習合計時				時間(h)	3 0 時間		
事後学習		授業中・後に提示された課題研究に取り組む。 学習合計時間(h)				3 0 時間			

課題に対する フィードバックの 方法	課題に対する参考答案例の配布・解説をとおし、知識・理解の整理を図る。
質問・相談方法	授業時間の前後またはオフィスアワーにおいて受付ける。
オフィスアワー	原則として 水曜日 16:30~17:30 研究室(西館414号室)
テキスト	『教育の本質と教師の学び』池田哲之ほか著 学文社 2019年 (ISBN 978 - 4 - 7620 - 2852 - 6)
参考文献等	・『教育から見る日本の社会と歴史』 八千代出版 2010年 ・『日本人のしつけは衰退したか』 講 談社 2008年
成績評価基準	公教育の本質および制度の理解のうえに、今日の学校教育をめぐる諸課題解決の方策を提示することができる。
成績評価の方法	定期試験(90%)、受講意欲・態度等(10%)。なお再試は1回にかぎり実施する。
GPA基準	
備考	単位互換 [KRICE] 提供科目 上記記載の各内容は、受講生数・受講生の理解度により変更となる場合があります。 学生証不携帯の出席確認未了者は欠席扱いとします。

科目名		特別支援教育 科目ナンバー S23232						
担当者		池田 京子						
授業形式	<u>.</u>	講義		関連するDPの番号	(3)			
配当年次		1		科目群	·) 栄養教諭関連科目			
開講期		後期		卒業の選択・必修			·	
単位数		2		担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:栄養教諭						
授業の概要		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解する						
授業の到	達目標	要とする幼児、児童及力を身に付けていくこ	をしている発達障害や朝 なび生徒が授業において ことができるよう、幼児 保護者や教員及び関係 なする。	で学習活動に参加してい 記、児童及び生徒の学習	いる実感・ 習上または	達成感をも 生活上の困!	ちながら学難を理解し、	び、いきる、個別の教
授業計画	Ī						担当者	
第1回	インクル-	- ジブ教育システムを	含めた特別支援教育	に関する制度の理念や	や仕組みを	理解する	池田	
第2回	発達障害	や軽度知的障害をはし	じめとする特別の支持	爰を必要とするこども	もについて	理解する	池田	
第3回	第3回 視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、難病等のこどもについて理解する				池田			
第4回	第4回 特別の支援を必要とするそれぞれのこどもについて、心身の発達を理解する 池E				池田			
第5回	特別の支	援を必要とするそれ	ぞれのこどもについ	て、心理的特性や学	や習過程を	理解する	池田	
第6回	特別の支	援を必要とするそれ	ιぞれのこどもについ	ハて、学習上の困難	について	理解する	池田	
第7回	特別の支	援を必要とするそれ	ιぞれのこどもについ	ハて、生活上の困難	について	理解する	池田	
第8回	「通級に	よる指導」及び「	自立活動」の教育	課程上の位置付け	と内容を	理解する	池田	
第9回	特別支援	教育に関する教育	課程の枠組みを理	解する			池田	
第10回	個別の指	i 導計画及び個別の	教育支援計画を作	成する意義と方法	を理解す	る	池田	
第11回	特別支援	後教育コーディーネ	ーターの役割を理	解する			池田	
第12回	関係機関	や地域及び家庭と	『庭との連携について、支援体制の構築と必要性を理解する			池田		
第13回	障害はな	いが、特別の教育	いが、特別の教育的ニーズのあるこどもの対応について理解する池田					
第14回	母国語や言	語障害等の問題により	り、特別の教育的ニー	ズのあるこどもへの支	援について	て理解する	池田	
第15回	貧困、家愿	庭環境等の問題により	特別の教育的ニーズ	のあるこどもへの支持	爰について	理解する	池田	
授業に含ま	受業に含まれる活動 ディスカッション・討 グループワーク プレゼンテーション・発表 フィールドワーク		その他の活動 ※ICT教育等を含む					
担当教員のと授業の関								
事前学習		教科書の指定されたページまでを熟読し、分からない用語は辞書等 で調べておく 学習合計				時間(h)	3 0 時間	
		の時間を持たせ、最	氏を半期(7回)終了 最終日には全まとめを			学習合計	時間(h)	3 0 時間

課題に対する フィードバックの 方法	授業終了時に毎回提出する授業のまとめ用紙に課題等の回答を促し、次回の授業で 回答する。
質問・相談方法	授業中での質問時間を設定する。また気軽に質問し易いように、毎回提出する授業のまとめ用紙に 質問事項を自由に記入させ、コメントを添えて次回の授業始めに返却する。
オフィスアワー	第1・第3水曜日 14:40~17:55 谷川研究室(西館316号室)
テキスト	『教員になりたい学生のためのテキスト特別支援教育』 京都教育大学教育創生リージョナルセンター機構総合教育臨床センター 相澤雅文 編集 クリエイツかもがわ 1,800円(税別) (ISBN: 978-4-86342-257-5)
参考文献等	発達障害のある子へのサポート実例集 上野一彦 他著 ナツメ社、 事例から学ぶ児童・生徒への 指導と援助 庄司一子 監修 ナカニシヤ出版
成績評価基準	到達目標に掲げた項目を理解すること。
成績評価の方法	授業への参加態度(20%)と期末試験(80%)で総合的に評価する。
GPA基準	
備考	単位互換[KRICE]提供科目

科目名		教育の方法・技術 科目ナンバー S21227						
担当者		平野 拓朗・児玉 むつみ						
授業形式	<u>.</u>	講義	-	関連するDPの番号	1			
配当年次	,	1		科目群	・			
開講期		後期		卒業の選択・必修	—			
単位数		1		担当形態	オムニノ	ヾス		
免許・資	格情報	必修:栄養教諭			<u> </u>			
授業の概要		「食に関する指導」の教育方法の観点から、学校教育における栄養教諭の役割と「食に関する指導」の目標・内容について理解する。また、「食に関する指導」の実践的展開(学習指導案の作成や情報機器・教材を効果的に活用した授業構成)に向けた栄養教諭としての指導力・実践力を身に付ける。						
授業の到	達目標	1. 栄養教諭の役割及び「食に関する指導」の目標・内容学習評価を理解する 2. 「食に関する指導」の学習指導案を作成し、情報機器・教材を効果的に活用した模擬授業を行う 3. 栄養教諭としての専門的な指導力・実践力を身に付ける						授業を行
授業計画	Ī						担	当者
第1回	教育方法	の基礎的理論					平野	
第2回	主体的・	対話的で深い学び	を実現する「食に	関する指導」			平野	
第3回	「食に関]する指導」の全体	計画、学習評価				平野	
第4回	「食に関]する指導」と子ど	も・教師・教材				平野	
第5回	「食に関]する指導」の授業	技術、情報機器の	効果的な活用の仕	方		平野	
第6回	「食に関]する指導」の学習	指導案の作成				児玉	
第7回	「食に関]する指導] の実践	的展開1(情報機器	器・教材を効果的に	活用した	模擬授業	児玉	
第8回	「食に関]する指導] の実践	的展開2(模擬授	業についてのまとぬ	か)		児玉	
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回								
第15回								
授業に含まれる活動 ―		ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発表	フィールドワーク		その他の活動 ※ICT教育等を含む	
	旦当教員の実務経験 栄養教諭の実務経験を活かして、学習指導案作成及び模擬授業について教授する。							
事前学習		参考図書を読む 学習指導案の計画・作成の準備 模擬授業の準備				時間(h)	15時間	
事後学習 模擬授業の振り返り 学習合計時間			時間(h)	15時間				

課題に対する フィードバックの 方法	必要に応じて個別に対応を行う。
質問・相談方法	授業の前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	平野 木曜日 16:10~16:25 講義室 (本館404号室) 児玉 木曜日 14:50~16:20 研究室 (南館104号室)
テキスト	食に関する指導の手引き - 第 2 次改訂版 - (平成 3 1 年 3 月、文部科学省) 小学校学習指導要領 (平成29年 3 月公示 文部科学省) 中学校学習指導要領(平成29年 3 月公示 文部科学省)
参考文献等	授業中に適宜配布
成績評価基準	到達目標に掲げた項目を理解すること。
成績評価の方法	受講態度(60%) 毎時間のレポート等の提出状況(40%)によって評価
GPA基準	
備考	

科目名		生徒指導科目ナンバーS21228						
担当者		松元 理恵子						
授業形式	<u>`</u>	講義 関連するDPの番号 ①						
配当年次	7	1		科目群	栄養教諭関連科目	3		
開講期		後期		卒業の選択・必修	<u> </u>			
単位数		1		担当形態	単独			
免許・資	格情報	必修:栄養教諭			•			
授業の概要		「子どもの生きる力を育てる」という観点より、一人ひとりの子どもが自分の持ち味、個性をいかせる生徒指導の教育的意義と課題について説明する。そして、豊かな自己実現を図る子どもたちを支援できるために、組織的に生徒指導をすすめていけるために必要な知識と実践力について学ぶ。						
授業の到達目標		1. 人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指した教育活動であると理解する 2. 学習指導と同様に重要な教育活動であることを理解し、実践するための流れを説明できる 3. 教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける						
授業計画	<u> </u>					担	 当者	
第1回	生徒指導	の意義と特質(生	徒指導とは何かを	 学ぶ)		松元		
第2回	学校内外	の組織体制(校務	分掌、チーム学校	と運営及び関係法	令を学ぶ)	松元		
第3回	生徒指導	 車の機能について(の組織体制(校務分掌、チーム学校と運営及び関係法令を学ぶ) 松元の機能について(生徒指導の目標、集団指導及び個別指導を学ぶ) 松元					
第4回	道徳教育	・特別活動におけ	る生徒指導の意義	と重要性(生活習	慣の確立と規範意	松元		
第5回	子どもの)発達プロセス				松元		
第6回	「いじめ	 o」の理解と対応に	ついて			松元	 松元	
第7回	特別な支		児童へのかかわり	について		松元		
第8回	栄養教諭		かわりについて		松元			
第9回						†		
第10回								
第11回						†		
第12回								
第13回								
第14回								
第15回						1		
		ディスカッション・討議	グループワーク	プレゼンテーション・発素	実習(実験・実技)・	その代	也の活動	
		ノイベル ノンコン · plast			フィールドワーク	ーク ※ICT教育等を含む		
10 W # 5 0 cb # 10 5 1			0					
担当教員の実務経験 と授業の関連		臨床心理士の実務経験を活かして、心理的援助について教授する。						
事前学習		次の授業でとりあげるテーマについて、授業で配布するレジュメを もとに予習をする 学習合計師			-時間(h)	15時間		
事後学習		レジュメを見ながら復習を行い、授業で配布した資料も参考にしな がら自分なりにノートをまとめる 学習合計時間(h)				15時間		

課題に対する フィードバックの 方法	課題を課した際に質問について受け付け、授業内でのフィードバック及び求めに応じて個別に対応する。
質問・相談方法	授業前後やオフィスアワー等で対応する。
オフィスアワー	火曜日・木曜日 12:05~12:55 研究室(西館305号室)
テキスト	特になし
参考文献等	『はじめて学ぶ生徒指導・進路指導』 広岡義之編 ミネルヴァ書房 2016年 2,200円(税抜) (ISBN 9784623075607)
成績評価基準	生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養について理解すること。
成績評価の方法	定期試験(70%)、講義で出した課題(レポート等)の提出状況(30%)で総合的に判定する。
GPA基準	
備考	